

教材教具名	ビー玉プットイン	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ビー玉を押し入れることができる。 ・集中力を保ちながら最後まで活動する。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ビー玉を枠の中に一つずつ入れておく。一つずつビー玉を穴に押し入れる。

<材料>

- ・ビー玉、板、プラスチック容器、カラーボード、空箱

<工夫点>

- ・ビー玉を一つずつ枠に入れて提示した。容器やビー玉入れを板に固定し、動かないようにした。

<効果>

- ・一つずつビー玉を取り出して、プットインすることができた。利き手ではない手が上手く使えなくても、安定して活動できた。

教材教具名	プットイン型リング通し	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • リングを一つずつ棒に通すことができる。 • 最後まで集中して活動する。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- リングを一つずつ棒に通し、最後に穴にプットインする。

<材料>

- 板、カップラーメンの容器、突っ張り棒（小）、カーテンリング

<工夫点>

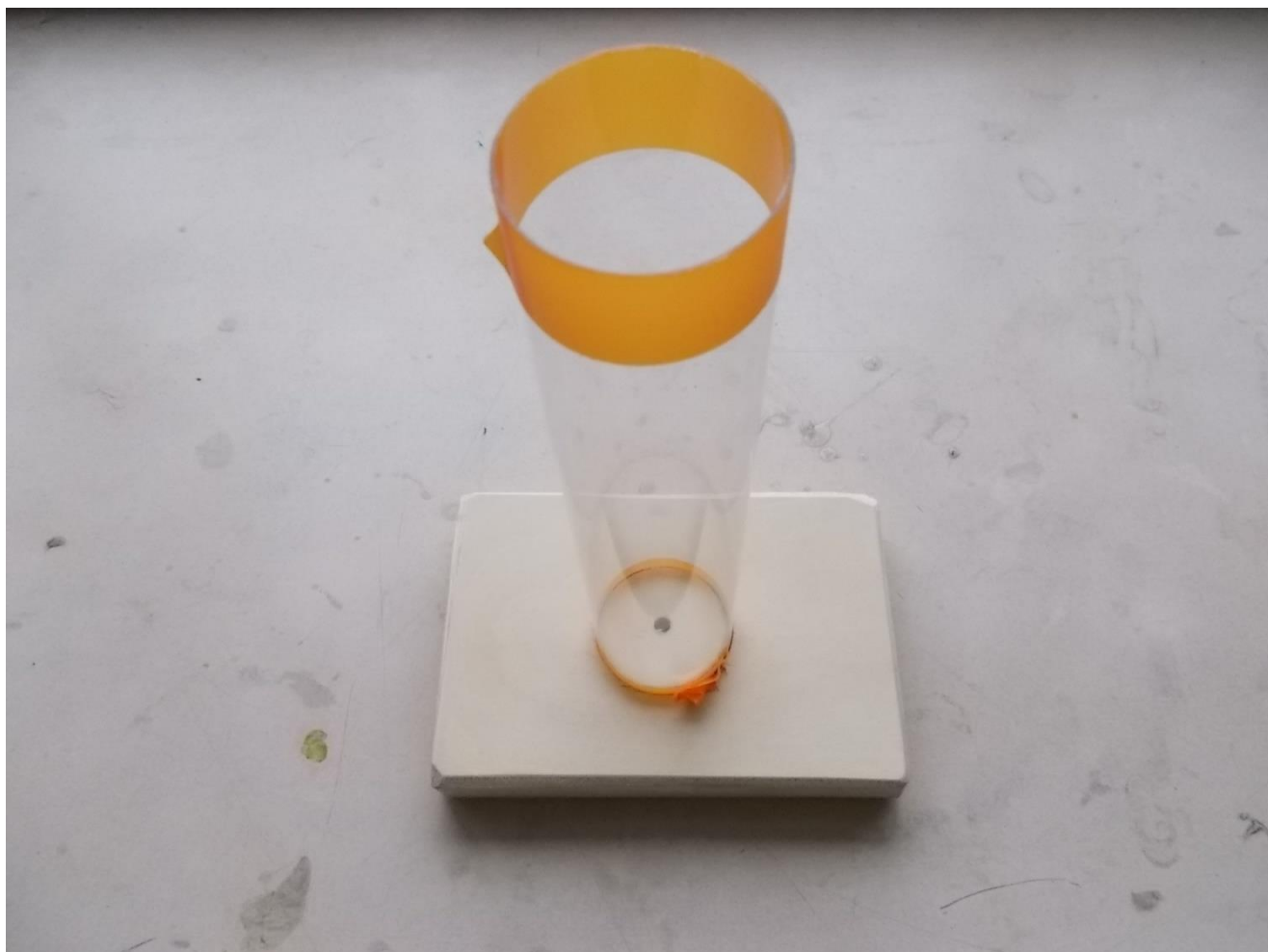
- リングに通した後に穴に落とすことで「終わり」が分かりやすいようにした。

<効果>

- 通したリングを気にすることなく、次のリングを通すことができた。
- 課題の終わりが分かり、最後まで集中して取り組むことができた。

教材教具名	球入れ	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応 ・対象物（ピンポン球）を追視することができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筒にピンポン球を入れていきます。

<材料>

- ・ひも、玉（夏季休業中に開催された、筑波大付属大塚特別支援学校の教材教具作りの研修で作ったものです。毎月1回教材作りを開催しているとのことです）

<工夫点>

- ・線は引いてませんが、球が5個、10個それぞれ入れられる筒があり、数字の学習もできます。

<効果>

- ・球に色を塗ったりシールを貼ったりすると、意欲をもって行うことができました。
- ・グラウンドで走っているときに、終わりが分かるためにこの教材を使ったことがあります。洗濯ばさみなど他の方法も試しましたが、この教材がもっとも理解できた経験がありました。

教材教具名	プットイン (マジックテープ)	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・手先の巧緻性、目と手の巧緻性。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・マジックテープをはがし、容器にプットインする。

<材料>

- ・マジックテープ ・タッパー ・透明の下敷きなど (台紙になるもの)

<工夫点>

- ・細々したものは遊んでしまうため、マジックテープにした。

<効果>

- ・マジックテープをはがしたり、プットインをしたりすることで、手元を見る力や手指の巧緻性が高まった。

教材教具名	プットイン (マジックテープ)	分類	操作の学習—目と手の協応
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・手先の巧緻性、目と手の巧緻性。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・マジックテープをはがし、容器にプットインする。

<材料>

- ・マジックテープ ・タッパー ・透明の下敷きなど (台紙になるもの)

<工夫点>

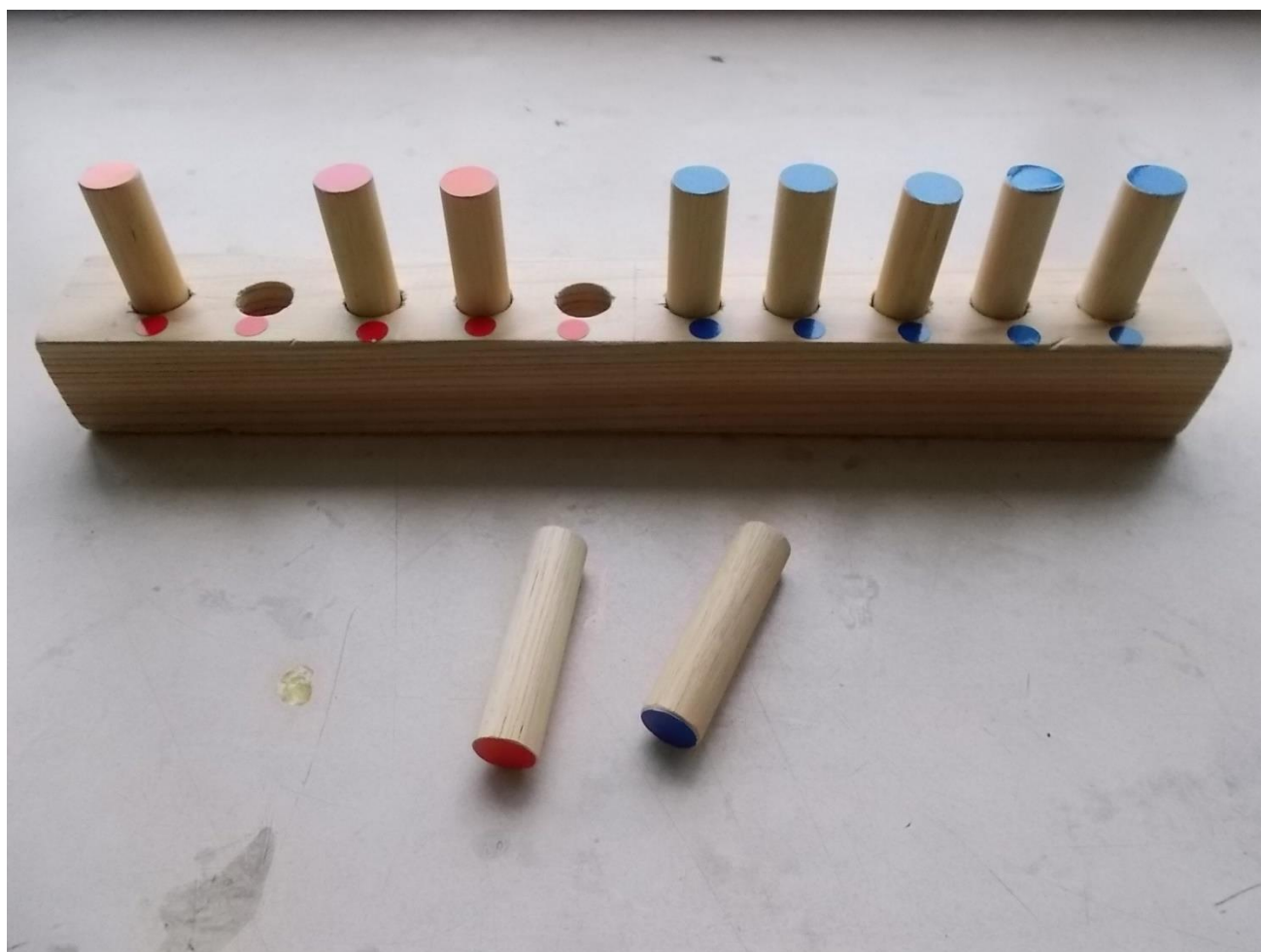
- ・細々したものは遊んでしまうため、マジックテープにした。

<効果>

- ・マジックテープをはがしたり、プットインをしたりすることで、手元を見る力や手指の巧緻性が高まった。

教材教具名	ペグ差し	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応 ・色のマッチング 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台の色と同じ側のペグを差していきます。

<材料>

- ・筑波大学大塚附属特別支援学校の研修で作ったものです。

<工夫点>

- ・色シールは実態に合わせて応用したものなので、最初はなくてもいいと思います。
- ・シールに数字を付けていけば数字の順番に差していく、など応用もできます。

<効果>

- ・違った色のペグを差しておく、アセスメントのときにやるような、片手で向きを持ち替えて差し直すことができた生徒もいました。

教材教具名	リングのプットイン	分類	操作の学習—目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・リングを外してから、容器に入れることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・つながったリングを外し、プットインする。

<材料>

- ・タッパーなどの容器、リング（西松屋）

<工夫点>

- ・プットインの前にリングを外すという工程を入れ難易度をあげた。

<効果>

- ・プットインの前に一工程入れたことで、より手元に集中できるようになった。

教材教具名	ひっぱって出そう	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・「引く」という動きを身に付ける。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・きらきらテープを引っ張って出す。

<材料>

- ・きらきらテープ ・タッパー

<工夫点>

- ・きらきらのひもを使って興味関心をもたせた。

<効果>

- ・手指の巧緻性にもつながった。きらきらテープを見ると意欲的に取り組めた。

教材教具名	引っこ抜く	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ペットボトルをおさえながら、引き出すことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ペットボトルからひもを引っ張って、抜き出す。

<材料>

- ・ペットボトル、フェルト、綿、ひも

<工夫点>

- ・綿をきつめに入れ、引き抜くとポンッと音が鳴るようにした。

<効果>

- ・多少力が必要なので、はじめは難しそうだったが、慣れてくるとペットボトルをおさえ、引き出すことができるようになった。

教材教員名	マジックテープはがし	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	国語・数学・自立活動（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> マジックテープのしくみを理解する。 一人で靴を脱げるようにするためのスモールステップ。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「はがして」という言葉かけに応じて、4本のマジックテープをはがして蓋を開けさせる。

<材料>

- ・プラスチックケース、マジックテープ、ビニールテープ、わりばし

<工夫点>

- ・プラスチックケースを靴に見立てて、マジックテープのはがす部分を側面にした。
- ・一度はがしたマジックテープが、元に戻らないように両面マジックテープにした。

<効果>

- ・透明のケースに本人の興味があるものを入れることで、「開けたい」という意欲を引き出すことができた。

教材教員名	くだものの木	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・マジックテープでついている果物の模型をつかんで、はがすことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・果物の模型（マジックテープ付）を手でつかんで取る。

<材料>

- ・フェルト、マジックテープ、ダンボール

<工夫点>

- ・掴みやすいように、子どもの手のひらサイズで果物の模型を作った。
- ・果物をつける高さを子どもの視線に合わせて、調整した。
- ・「もぎとる」ときの抵抗感を味わってほしかったので、マジックテープを使用し、取るときに力を入れられるようにした。

<効果>

- ・果物の模型を子どもの手のひら大にすることで、片手でつかんで、取ることができた。
- ・複数の果物の中から、自分の取りたいものを選んでとる姿が見られた。

教材教具名	バックル連結	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 日常生活で活用できる力をつける。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 電車を連結させるように、バックルをとめる。または、外す。

<材料>

- フェルト、バックル

<工夫点>

- 電車が好きな児童の実態に合わせて作成した。

<効果>

- 電車をモチーフにすることでつなげるということが分かり、一人で取り組むことができた。

教材教員名	バックル外しの練習	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・リュックのバックルを自分で外すことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・上から順番に外していく。1・2回目はリングに指をかけて練習し、3回目はリングなしで練習する。

<材料>

- ・ゴム、バックル、エジソン箸のリング（分解したもの）、結束バンド、布、綿、糸

<工夫点>

- ・バックルは2種類の色を購入し、2色で1セットになるようにした。
- ・指で押さえるところは、はっきりとした色になるよう、ゴムや布の色を薄いものにした。

<効果>

- ・リングを手掛かりに、押さえるところを意識することができた。
- ・バックルは物によっては固いものも多く、取り組みが思うようにいかなかったが、カッターで接着部を削って改善したことで、生徒自身が「外すことができる」と理解し、主体的に取り組むことができた。

教材教具名	ファスナー練習	分類	操作の学習—目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ファスナーをとめることができる。 ・目と手の協応の力をつける。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ファスナーをひっぱってしめる。

<材料>

- ・布、ファスナー

<工夫点>

- ・机上でできるように作成した。

<効果>

- ・ファスナーの持ち手を大きくするとしめやすい。
- ・やり方がわかってきた。

教材教具名	ゴムかけ	分類	操作の学習一目と手の協応
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・両手を使った活動を増やす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筒にゴムをかける

<材料>

- ・プラスチックのビン、水筒、シュシュ、スプリングゴム、ヘアゴム

<工夫点>

- ・活動への意欲がもてるよう、明るい色を取り入れた。
- ・種類ごとにゴムの強さを変え、難易度が高くなるようにした。
- ・摘みやすいシュシュを最初の取り組みで使った。

<効果>

- ・筒いっぱいゴムを通すことで、取り組みながら見通しをもつことができた。
- ・両手を使った活動時間が少しずつ長くなった。

教材教具名	玉通し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応 ・右左、上下、前後、斜めなどの玉を通すための操作ができる 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教員が紐の端と玉の端を持ち、つまんで動かしてほしい玉のみを指示する。

<材料>

- ・ひも、玉（夏季休業中に開催された、筑波大付属大塚特別支援学校の教材教具作りの研修で作ったものです。毎月1回教材作りを開催しているとのことです）

<工夫点>

<効果>

- ・慣れてくると、2個いっぺんにだったり、通し方にバリエーションを要求したりしても対応できるようになりました。

教材教員名	紐通し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・手指の巧緻性を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ペットボトルのキャップを紐に通す。

<材料>

- ・ペットボトルのキャップ・紐（固め）

<工夫点>

- ・丸くくりぬかれた木の板にキャップを並べることで活動の見通しを持ちやすくする。

<効果>

- ・最初は5つ通すのも難しかったが、数を重ねると20個通すことができるようになった。一段目が終わると、自分で二段目に取り組む姿が見られた。

教材教員名	ボタン通し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 日常生活で活用できる力をつける。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 葉っぱにボタンを通していく。

<材料>

- ボタン、紐、フェルト

<工夫点>

- フェルトを2枚重ねにすることで、扱いやすくした。

<効果>

- 好きなキャラクターにすることで、教材への注目が高まった。

教材教具名	スナップボタン	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形と色を合わせて、スナップボタンを留めることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スナップボタンの留め外し。

<材料>

- ・フェルト、スナップボタン、裁縫道具

<工夫点>

- ・小さいボタンは難しいため、大き目のボタンを使って作った。

<効果>

- ・形と色を合わせるのは難しいが、スナップボタンは留められるようになってきた。

教材教具名	ボタン通し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手先の巧緻性を高める。 • ボタンをとめることができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- フェルトの穴にボタンを通す。

<材料>

- フェルト、ボタン、糸、布、ゴム

<工夫点>

- 糸ではなくゴムでボタンがつながっているため、ボタンが通しやすい。

<効果>

- まだ難しかったため、ゴムを長くしたり穴を大きくしたりしたボタン教材に取り組んでいます。

教材教具名	ボタン留め	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ボタンの留め外しができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・机上でボタンの留め外しを行う。
- ・指先の動きが出来てきたら着用する。

<材料>

- ・ボタンがついている洋服
- ・Yシャツ

<工夫点>

- ・ボタンの大きさが違う2着を用意した。

<効果>

- ・繰り返し取り組み、ボタンの留め外しができるようになった。

教材教員名	醤油さしの分類	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> つまむ、回すの動きを通して手指の巧緻性を高める。 見本と同じように分類できるようにする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 醤油さしを開け、ふたとたれびんをそれぞれケースに入れる。

<材料>

- ケース×3、醤油さし、見本カード

<工夫点>

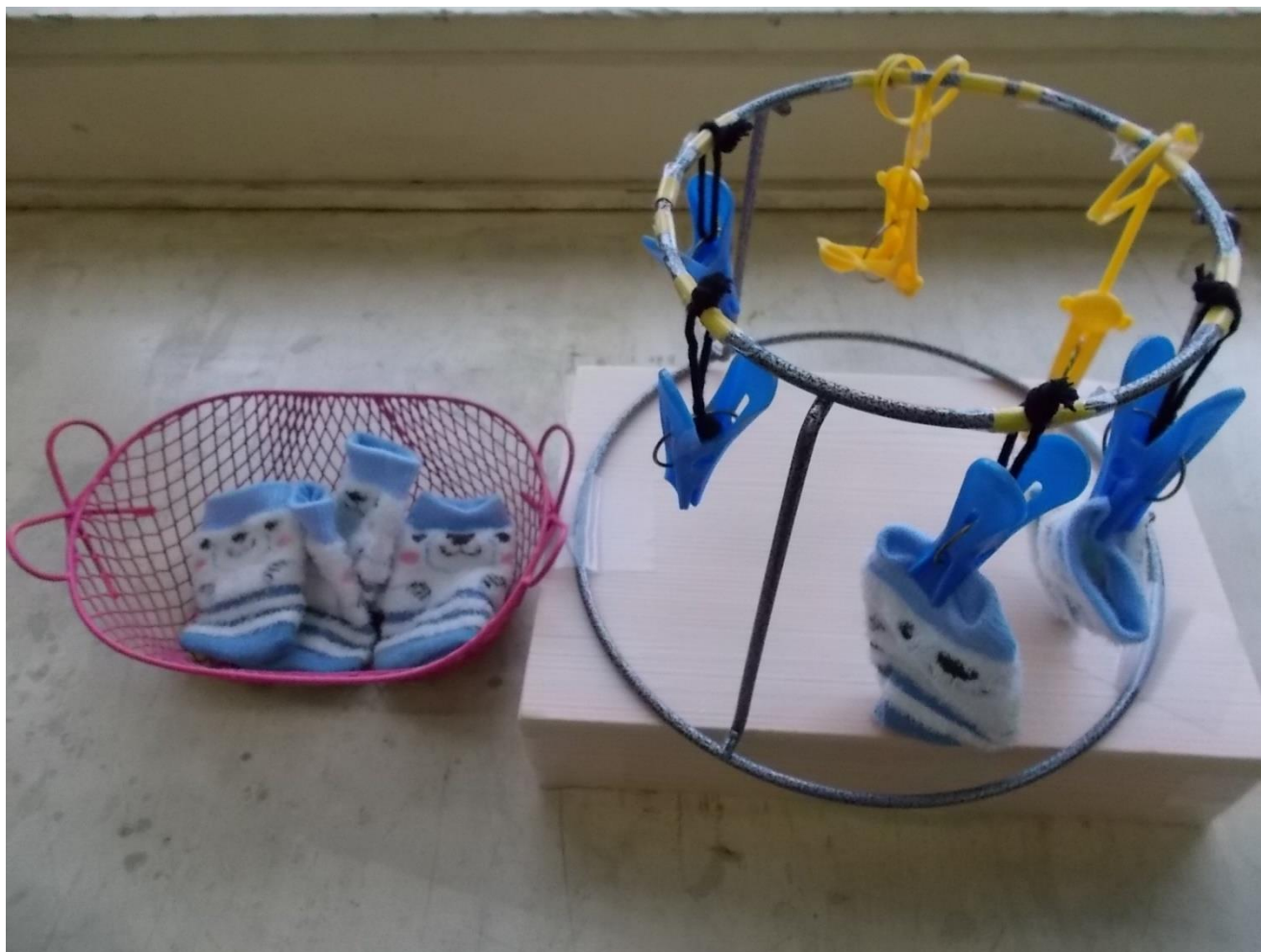
- やることを分かりやすくするために、つくりをシンプルなものにした。

<効果>

- 不器用さのある児童だったが、課題を繰り返すことで、直径5ミリ未満の細かいふたを回し外すことがスムーズになった。

教材教具名	洗濯物干し	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	国語・数学 個別課題学習（中学部）
ねらい	・洗濯ばさみではさむことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教材を提示して、洗濯物を干す。

<材料>

- ・とじひも 洗濯ばさみ 椅子カバー 靴下を入れるケース 園芸用プランタースタンド

<工夫点>

- ・机に置いてみると、生徒の視線よりも洗濯ばさみが低かったので、空き箱をつけて高さをつけた。
- ・洗濯ばさみは少ない力でも、大きく開くことができるものを使用した。

<効果>

- ・はさむ場所がバラバラで、落ちてしまうことがあったが、挟む場所に印をつけたり、わかりやすい柄や色のものを使用したりすることで、しっかりとはさむことができるようになった。

教材教員名	スプーンの練習	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・スプーンを使う技術の向上を目指す。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スプーンを使ってマカロニをお皿から別の容器に移す。

<材料>

- ・スプーン・マカロニ（乾燥）・すくいやすいお皿・タッパー

<工夫点>

- ・成功体験を得られるように、すくいやすい重さ、形のマカロニを選択した。

<効果>

- ・勢いよくスプーンを入れてマカロニをこぼすことがあったが、最後の一粒までスプーンを使うことができるようになった。

教材教具名	トングの練習	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める • 箸の前段階の学習 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- トングを使って、小さい消しゴムをつまみ、隣の容器に移動させる。
- トングの持ち方は、実態に応じてよい。

<材料>

- トング ・ 消しゴム ・ 容器

<工夫点>

- トングの大きさやバネの強さを実態に合ったものを用意した。

<効果>

- トングを三指持ちで持たせることで、箸の練習につながった。

教材教具名	箸の練習	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・箸で物をつまむことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・練習箸を使って、デコレーションボール等をつまんで別の容器に移す。

<材料>

- ・練習箸、お箸サポート、デコレーションボール、アイスキューブ、製氷皿、タッパー、ケース

<工夫点>

- ・本児の手の大きさに合った長さの箸を使用した。
- ・重みがあるアイスキューブを使用し、しっかりつまめるようにした。

<効果>

- ・デコレーションボール、アイスキューブ共に色別、種類別にトレーに移すことができた。

教材教具名	箸の練習	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・手指の巧緻性を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・バリアフリー箸を使って、デコレーションボールをつまんでケースの指定された色の場所に入れていく。

<材料>

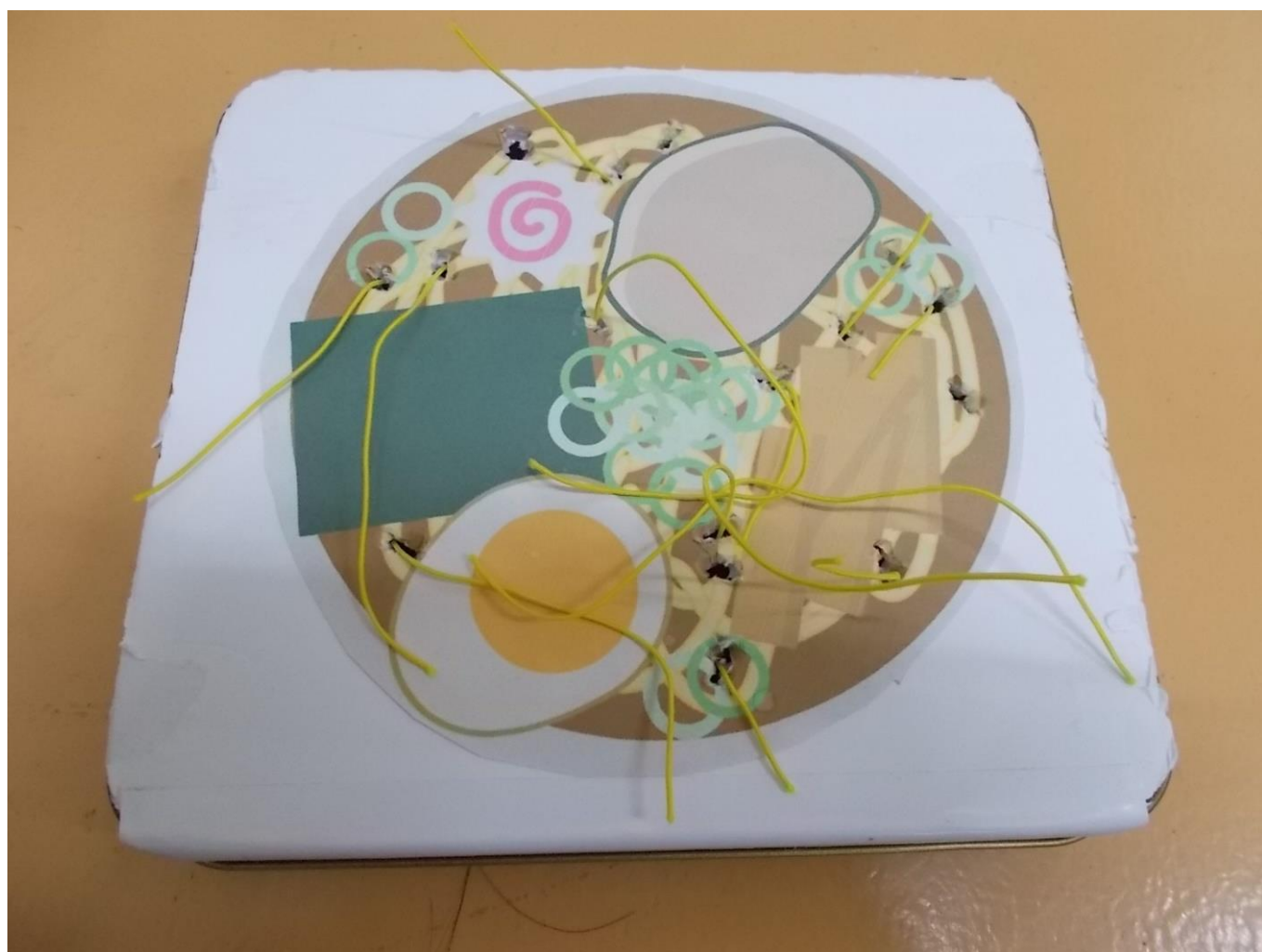
- ・箸、タッパ、デコレーションボール、色シール

<効果>

- ・色ごとに一つずつ箸を使って入れていくことで、箸の練習をすることができた。

教材教具名	箸の練習	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・箸の練習に意欲を持つ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・テグスを箸でつまんでとる。

<材料>

- ・テグス、ラーメンのイラスト、スポンジシート（蓋の裏）、缶、エジソン箸。

<工夫点>

- ・生徒の好きなラーメンのイラストで意欲を持てるようにする。テグスの長さを様々にして引く長さを変える。

<効果>

- ・手指の巧緻性の向上。

教材教具名	カラー輪ゴムかけ	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・カラーゴムの色分け、ゴムを伸ばしてかける。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・すべてのダボに正しく4色の輪ゴムを色分けしつつかけていく。

<材料>

- ・かご、ダボ、ダボの刺さる板、カラー輪ゴム

<工夫点>

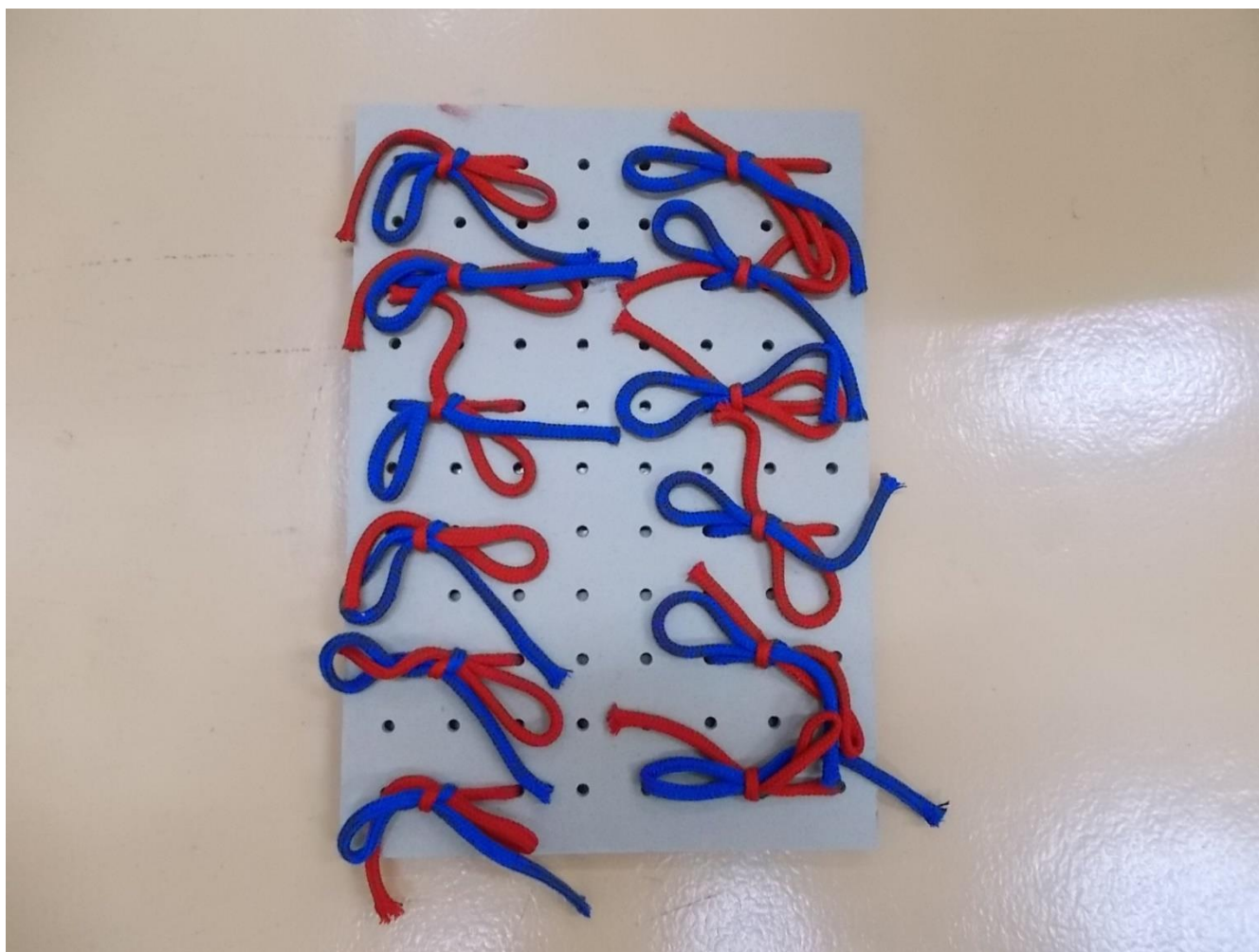
- ・一番初めの輪ゴムをあらかじめかけておき、分類する色がわかるようにする。また、どのように輪ゴムをかけるか、一目でわかるようにする。

<効果>

- ・色分け、微細運動に取り組むことができた

教材教具名	リボン結び	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・リボン結びの練習をする。 ・手指の巧緻性を高める。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・赤と青のひもをそれぞれとり、リボン結びを繰り返していく。

<材料>

- ・赤いひも、青いひも、板

<工夫点>

- ・赤と青のひもを使うことで、ひもの動きが目で見えてわかりやすい。

<効果>

- ・ひもの色を変えることで、スモールステップで練習ができる。
繰り返して練習することができる。

教材教具名	靴紐結び	分類	操作の学習—より複雑な操作
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・靴紐の蝶結びができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・机上で靴紐結びをしたり、実際に履いて靴紐結びをしたりします。

<材料>

- ・赤と青の靴紐、運動靴

<工夫点>

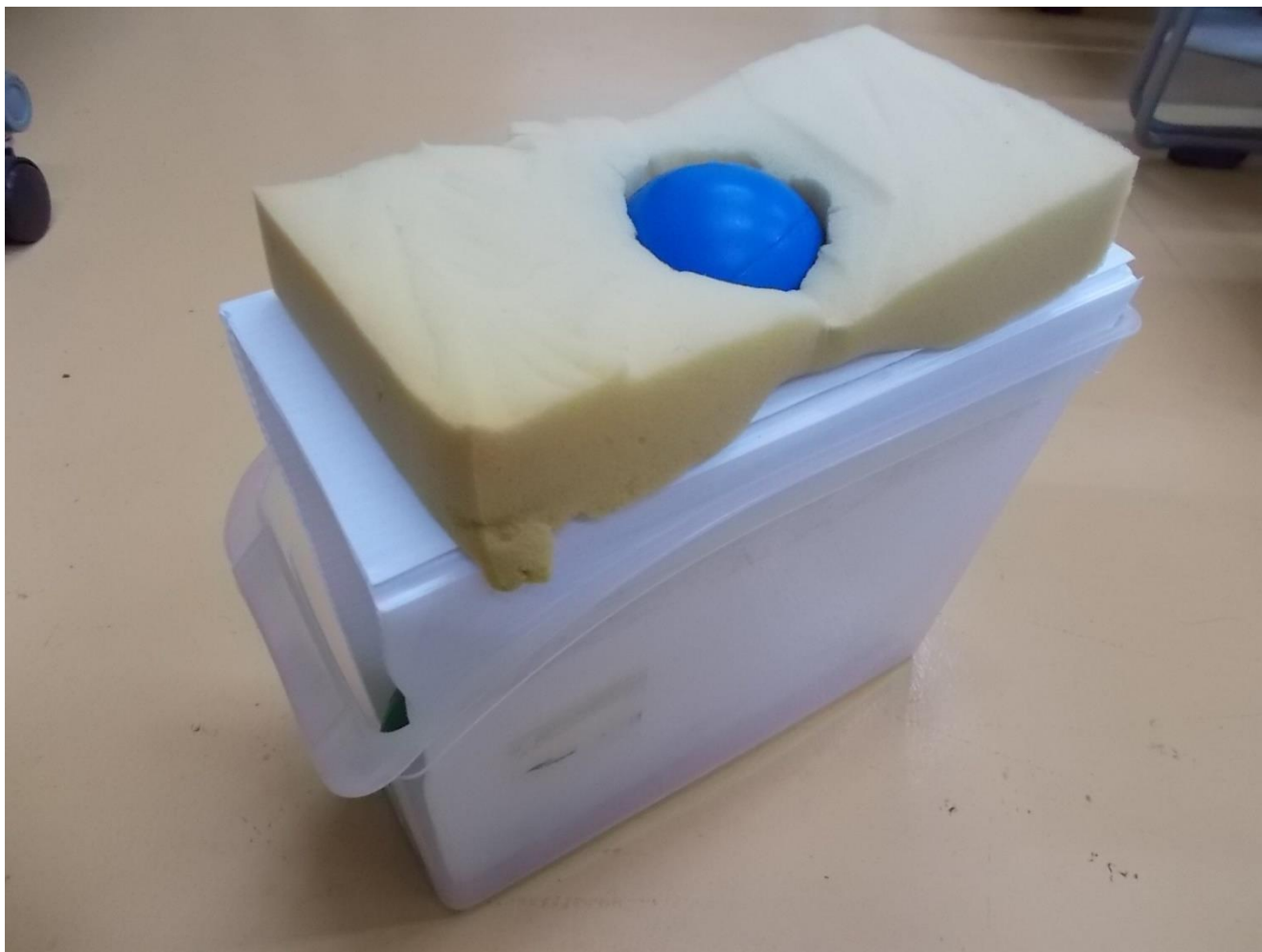
- ・結ぶ2本の紐を色違いにしています。

<効果>

- ・靴紐の色が違うことにより、紐がある程度結びやすくなった。

教材教具名	ボールウォッシャー	分類	操作の学習—工程の作業
		授業名	校内実習（高等部）
ねらい	・ボール拭きの作業を自立して行える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ウレタンを霧吹きで水をかけて濡らしておく。

<材料>

- ・プラスチックケース、ウレタン、プラスチックダンボール、両面テープ

<工夫点>

- ・押し込むことでボールが拭き上げられるサイズの穴をあけた。

<効果>

- ・プットインができる生徒が自立して行える作業となった。

教材教員名	クラフトパンチの自助具	分類	操作の学習—工程の作業
		授業名	個別課題学習
ねらい	・押すとパンチされ、紙が出てくる因果関係の学習		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・紙をセットする。
- ・パンチングをすると、受け皿にパンチされた紙が出てくる。
複数たまったら、取り出す。

<材料>

- ・メガクラフトパンチ、ウッドボックス、ベニア、フロアマット、プラスチックケース（紙ナフキン入れ）

<工夫点>

- ・パンチされた紙が滑り出るようにしたことで、操作と結果の因果関係をわかりやすくした。

<効果>

パンチすると紙が見える部分にでてきたので、意欲的にパンチングの作業ができた。

教材教具名	色・数の分類	分類	操作の学習—文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読んで、フェルトボールを正しく選び取ることができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 袋に書かれている文字を読み、フェルトボールを袋詰めする。

<材料>

- フェルトボール（4色）、チャック付きビニール袋、文字シート（写真シート）

<工夫点>

- 文字シートをめくったところに写真シートを貼り、答え合わせができるようにした。

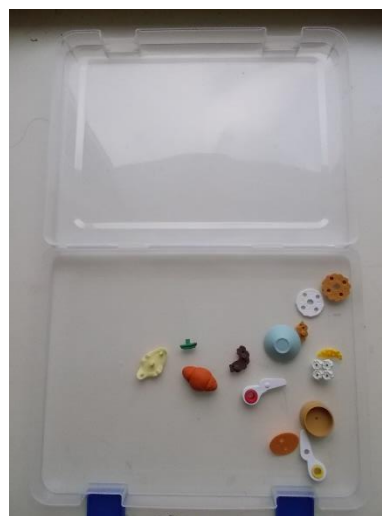
<効果>

- 答え合わせができることで、自分で正誤に気づき、直すことができた。

教材教員名	消しゴムの組み立て カテゴリー分け	分類	操作の学習—文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題学習（小学部）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・手順書を見ながら作業することができる。 ・写真と同じ消しゴムを組み立てることができる。 ・物の名称を理解することができる。 ・組み立てた消しゴムを仲間分けすることができる。
-----	--

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・見本と同じように消しゴムを組み立てる。袋に入れる。
- ・組み立てた消しゴムを仲間分けする。袋に入れる。
- ・教員と一緒に、正しく組み立てているか、仲間分けできているか、物の名称の確認をする。全て終わったらケースにしまう。

<工夫点>

- ・作業課題として取り組ませたかったので、これまでに行ってきたものを合わせて行った。
- ・回数を重ねるごとに、量や難しいものを入れたり、ステップアップして行った。

<効果>

- ・集中して課題に取り組むことができた。
- ・知らなかった物の名称を覚えることができた。

教材教具名	プチブロックの組み立て	分類	操作の学習—文字数字を扱う作業
		授業名	余暇
ねらい	・少し難しいブロックを自分で組み立てる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手順表を見ながら、手順と同じ番号のケースの蓋をあけて組み立てていく

<材料>

- ・プチブロック、ピルケース、書類ケース、ラミネートシート、リング

<工夫点>

- ・細かいブロックをあらかじめ手順に合わせて分類しておくことで、取り組みやすくした。

<効果>

順番を数字と手順書で示すことで、スムーズに組み立てることができた。

教材教具名	プラ容器の分類	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色や形、模様の違いに気付く		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・容器を提示し、同じ容器の上に重ねていく。

<材料>

- ・プラスチックの皿、器、コップ、シール

<工夫点>

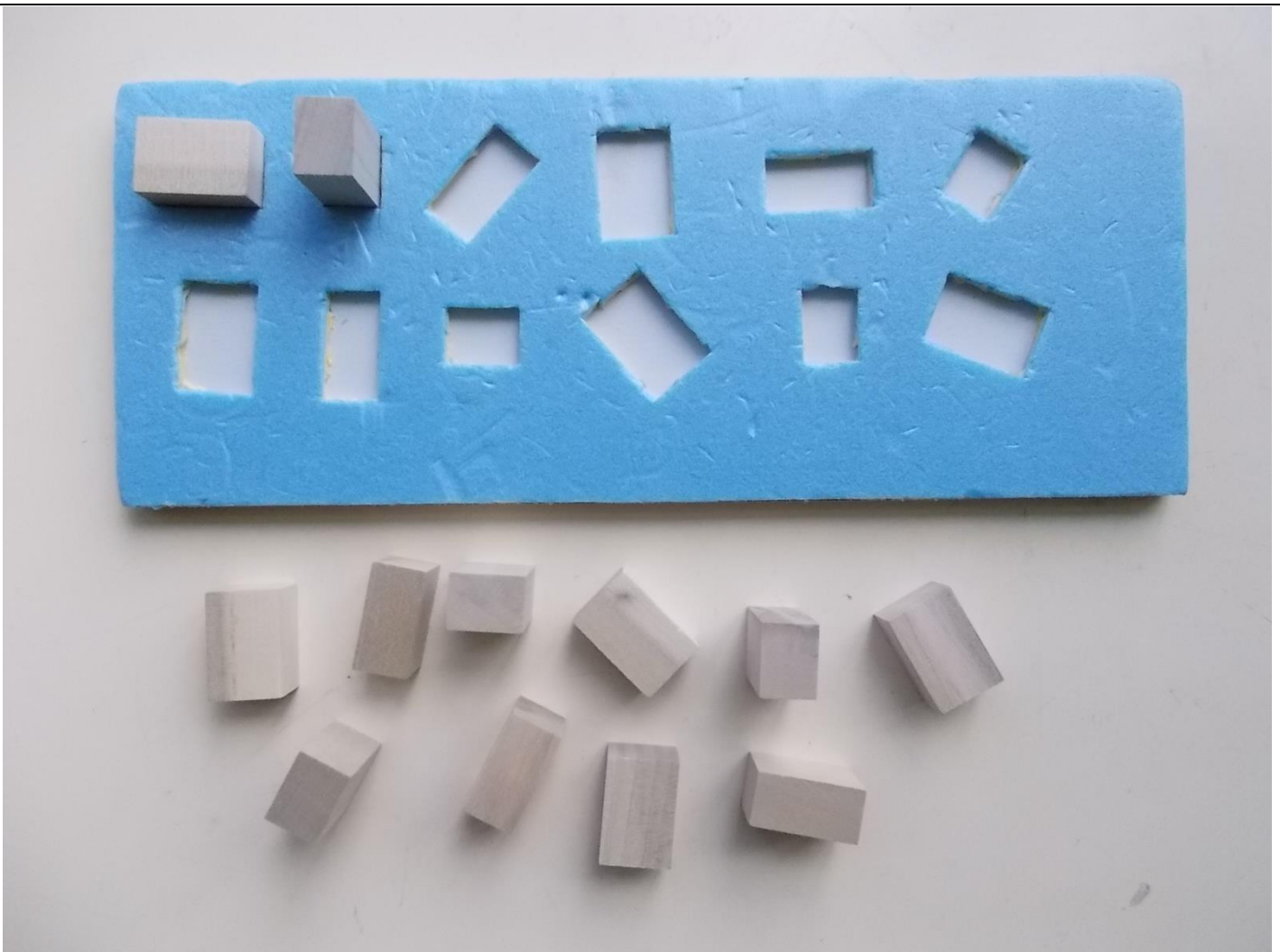
- ・割れない様に、プラスチックの容器を使用した。
- ・模様は真ん中だけではなく、縁にも模様を付け、難易度をつけた。

<効果>

- ・給食の下膳時に同じ皿を重ねられるようになってきた。

教材教具名	ブロックの1対1対応	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・型に合わせて向きを変えることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ブロックを型にはめる。

<材料>

- ・スチレンボード、ブロック

<工夫点>

- ・様々な面の型を用意し、型に合うようにブロックの向きを変えなければいけない点。

<効果>

- ・ブロックを平面で見るのではなく立体的に見るようになり思考力アップ

教材教具名	フォークとスプーンの分別	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形を見て分類をする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・スプーンとフォークをイラストが描かれた箱の中に分別して入れる。

<材料>

- ・プラスチックスプーン&フォーク・お菓子の箱・スプーンとフォークのイラスト

<工夫点>

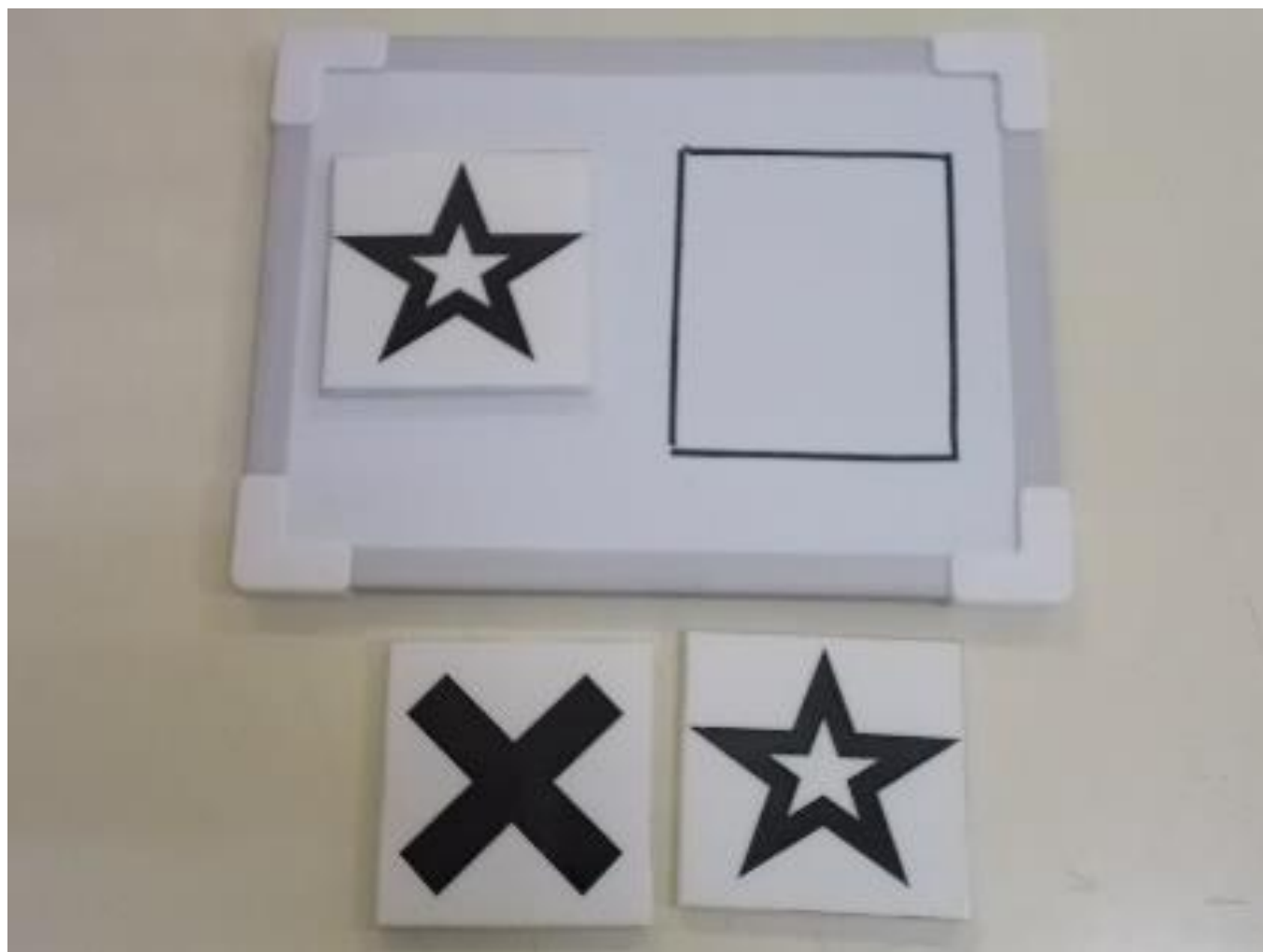
- ・イラストの下地を黒くすることで見やすくした。

<効果>

- ・スプーンとフォークがぴったり入る大きさの箱を用意することで学習しやすい様子があった。

教材教具名	○×☆のマッチング	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・図形に注目し、同じものを選ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ホワイトボードに貼られている図形と同じものを選び、隣に貼る。

<材料>

- ・図形、ハレパネ、ホワイトボード、マグネットシート

<工夫点>

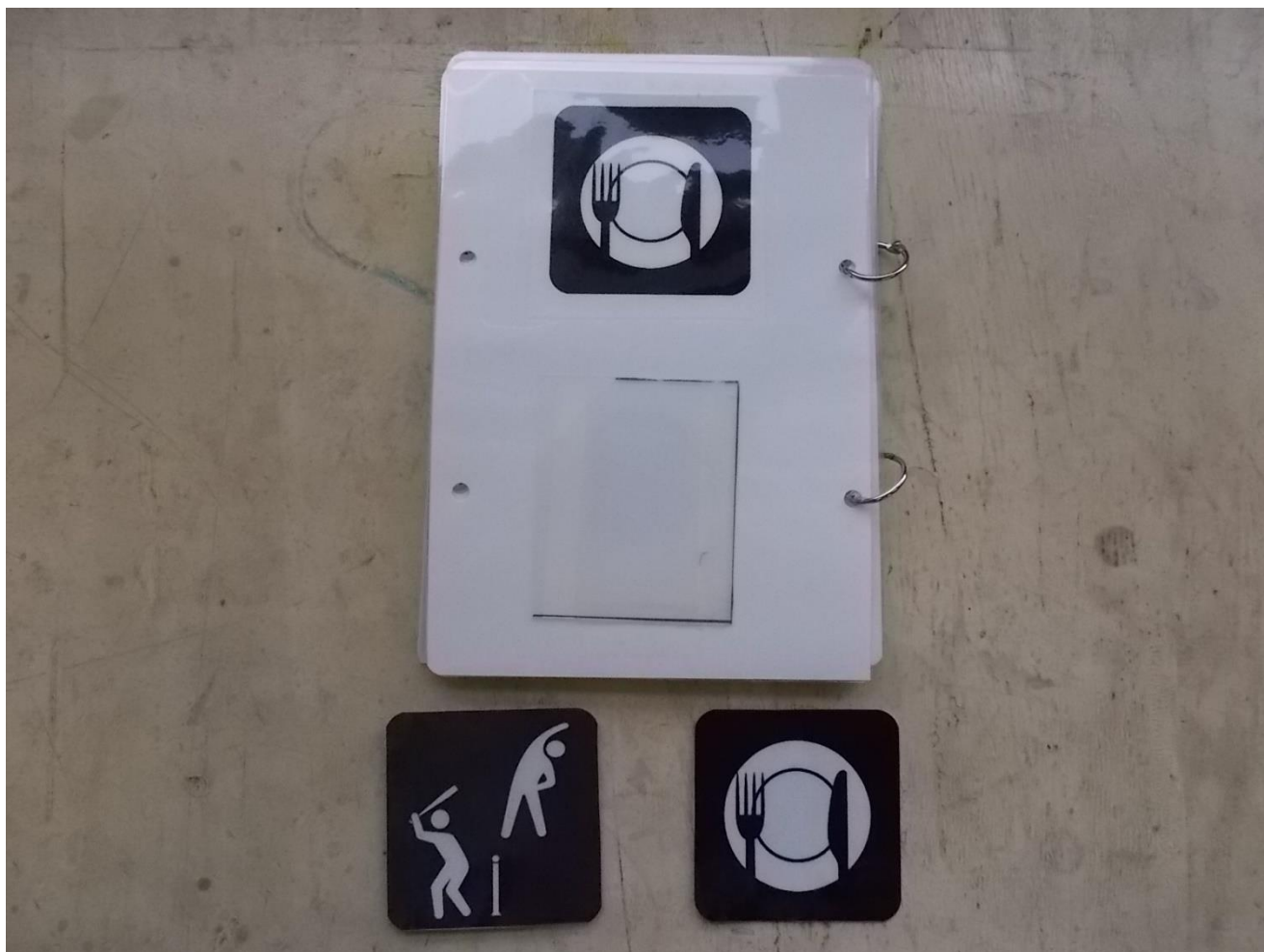
- ・図形の線を太くすることで見やすくした。扱いやすいように厚みのあるものにした。

<効果>

- ・違いが分かりやすい図形の2択から取り組むことで、やり方を理解できるようになった。

教材教員名	ピクトグラムのマッチング	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学 個別課題学習（中学部）
ねらい	・ピクトグラムのマッチングができるようになる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教材を提示して、2択で選択させる。

<材料>

- ・A6用紙 ラミネートフィルム クリアファイル（透明）

<工夫点>

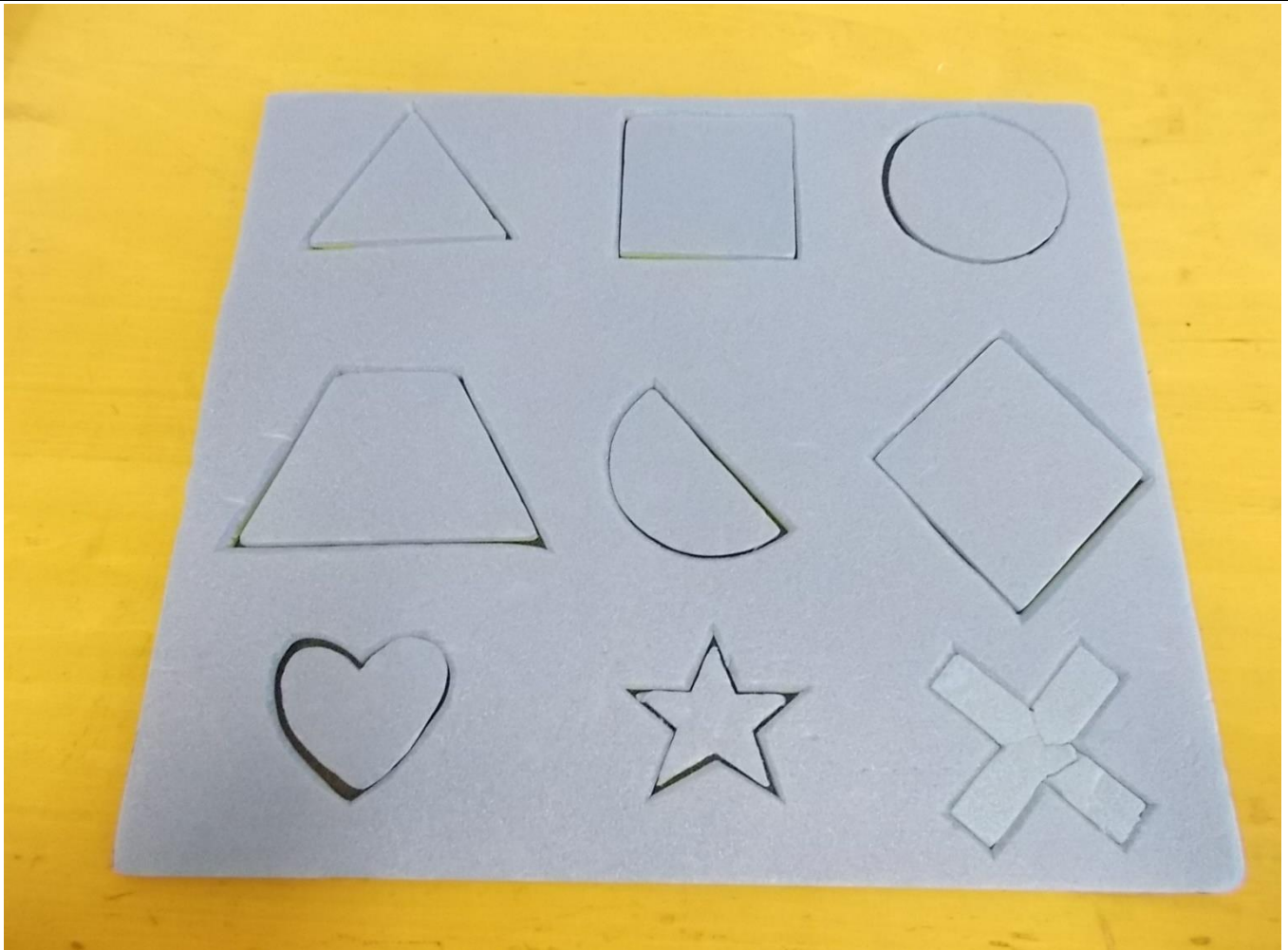
- ・もともとマジックテープではる課題にしていたが、手の力が弱く誤答の時にはがすことが難しかったことと、上に重ねて貼ってしまうと答え合わせが難しいことから、カードをクリアファイルに挟む課題にした。

<効果>

- ・はじめはカードを入れることが難しかったが、切込みを手掛かりにクリアファイルをめくり、カードを入れることができた。慣れてくると一人で入れることができるようになった。

教材教具名	基本図形の型はめ	分類	記号の学習ー形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・形の違いに気付く		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・はめる物を入れ物に入れ、型にはめる。

<材料>

- ・カラーボード、両面テープ

<工夫点>

- ・下地の色を黒にし、はめる所を見やすくした。
- ・はめやすいように、はめる物を少し小さくしたり面取りをしたりした。

<効果>

- ・○や☆など違いが分かりやすい型は、すぐにはめられた。□と◇は間違えることが多いが、ピッタリはまっていないことを伝えるとはめ直すことができた。

教材教具名	かたはめ	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・長さの違う木の弁別、型にはめることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・同じ長さの木を台紙にはめる

<材料>

- ・スチレンボード、木

<工夫点>

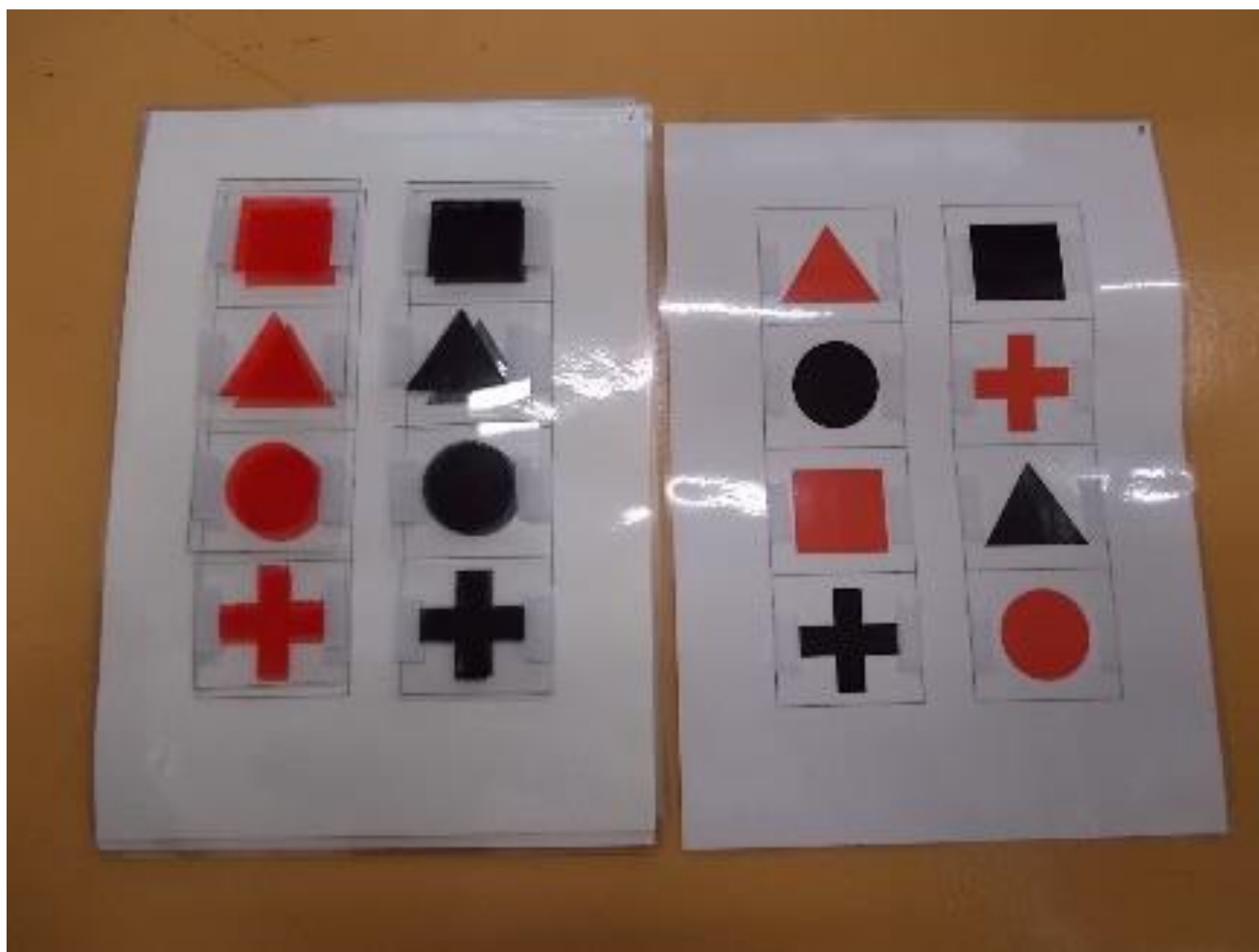
- ・方向を縦と横のみにした。また、長さ同じものが連続してかたはめできるようにした。

<効果>

- ・形の弁別、微細運動に取り組むことができた

教材教具名	マッチング	分類	操作の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・二色のマッチングに取り組みさせることで、手元への注目を促す。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・2色の形のカードを同じ色形のところに貼り付ける。

<材料>

- ・下敷き、ラミネートフィルム、紙、両面ファスナー

<工夫点>

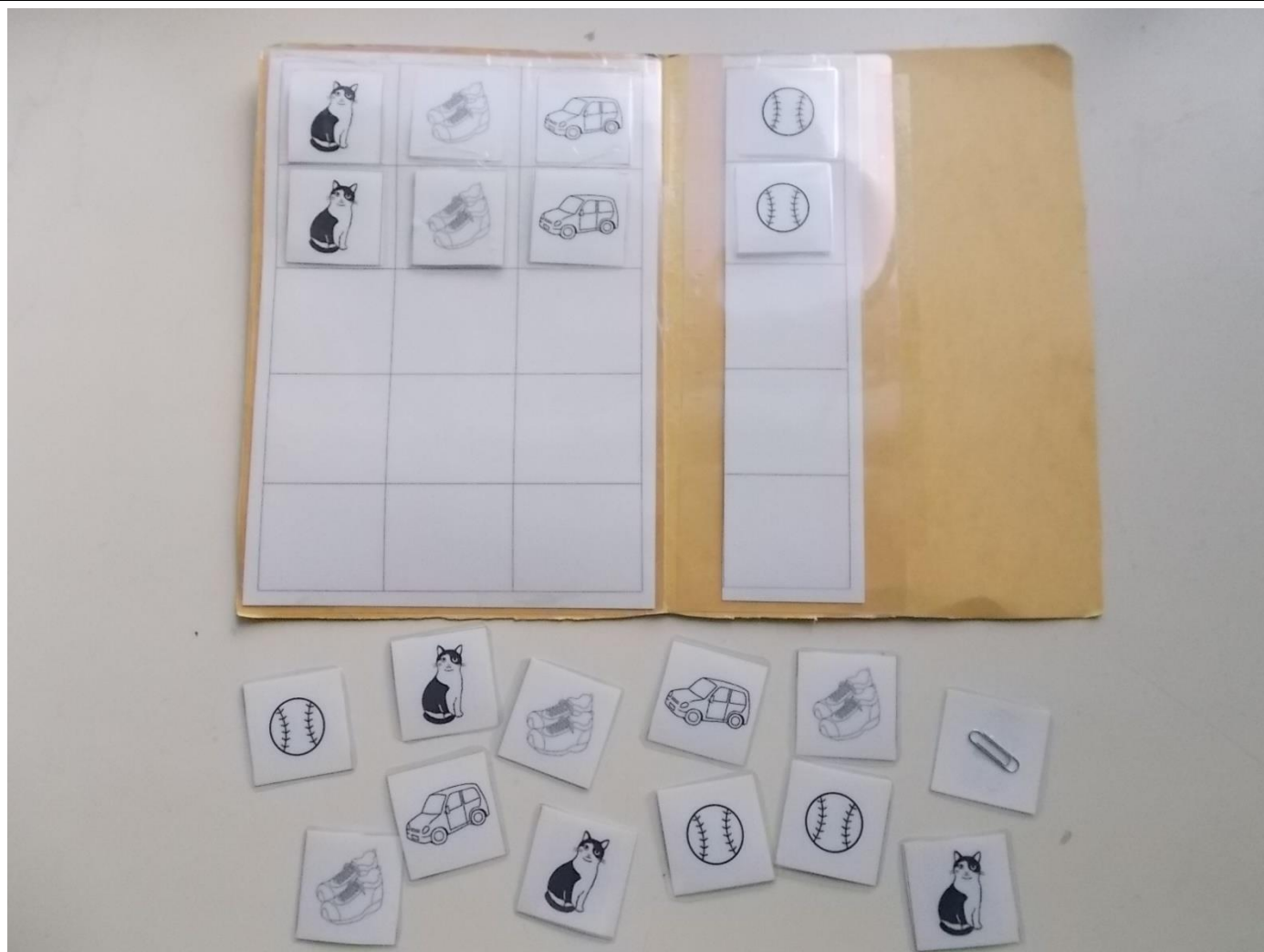
- ・配置を入れ替えて取り組ませるようにした。

<効果>

- ・日常生活で手元を見なかったが、この課題に取り組むことで手元を見るようになった。

教材教員名	カードの弁別	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・絵や写真カードを種類別に分類することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1番上の見本を見て、同じカードごとに分類する。

<材料>

- ・カード、画用紙、磁石、クリップ

<工夫点>

- ・台紙に磁石、カードにクリップをつけ、くっつく感覚で置く場所をわかるようにした点。

<効果>

- ・磁石があることで自信をもってカードを置くようになった。

教材教具名	2切片パズル	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 絵を手掛かりに縦・横の向きにはめることができる。 型にはめることができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 絵を見て、型にはめる。

<材料>

- カラーボード、両面テープ、イラスト

<工夫点>

- 下地の色を黒にし、はめる所を見やすくした。
- はめやすいように、はめる物を少し小さくしたり面取りをしたりした。

<効果>

- 絵を手掛かりに枠の中に型をはめていた。
- 横向きと縦向きを用意したので、向きを変える等、難易度を上げることができた。

教材教具名	2切片パズル	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・見本をみて、パズルを完成させることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・見本をみて、生徒がパズルを完成させる。

<材料>

- ・スチロール板、パズルにしたい絵、ラミネート、両面テープ

<工夫点>

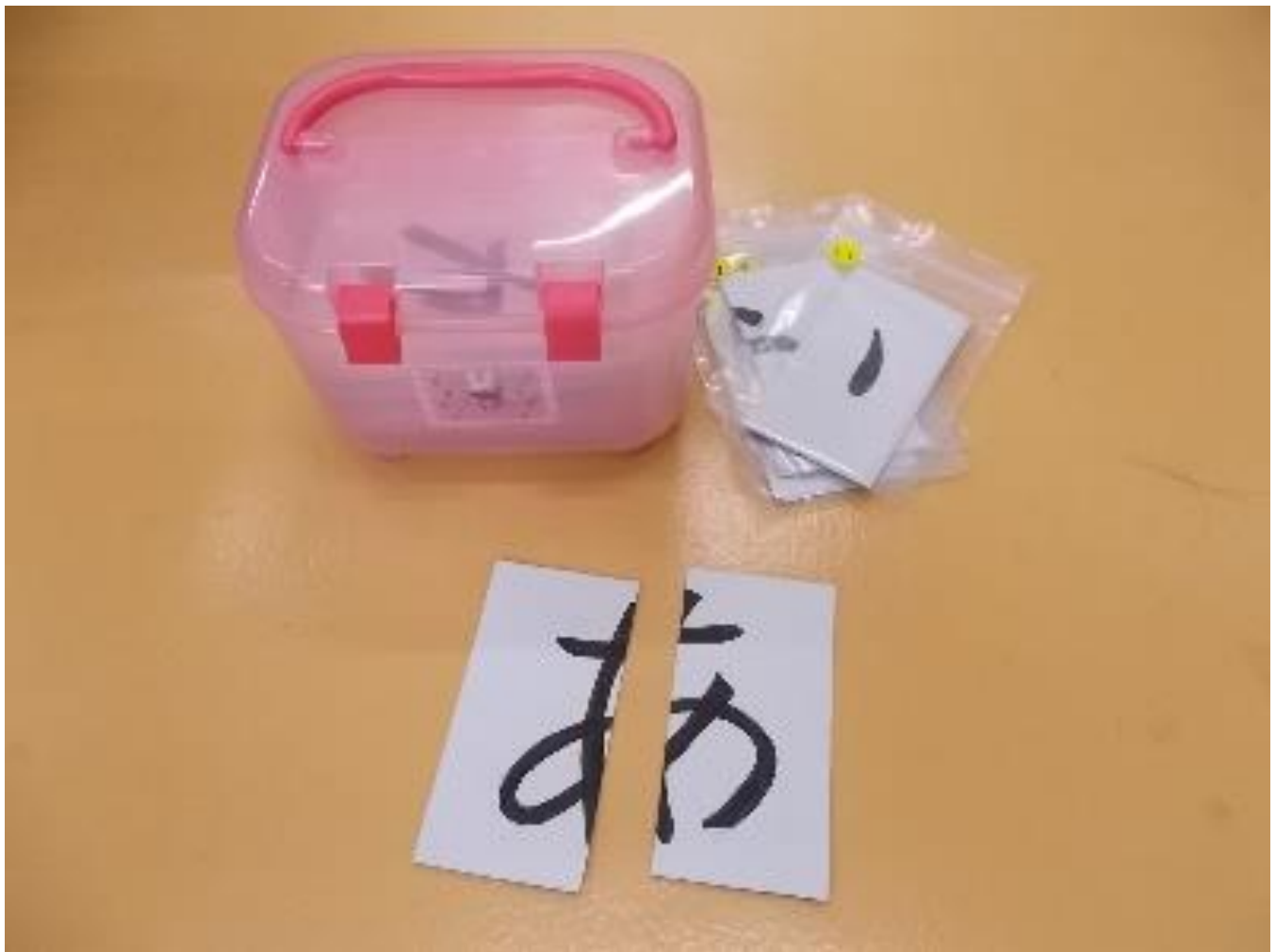
- ・見本を完成形として意識できるように、見本の枠と生徒が行う枠を近くした。

<効果>

- ・最初から2つをはめることは難しかったので、顔の部分だけを生徒がはめるようにしたところ、意欲的に取り組めるようになった。
- ・慣れてくると、たくさんの種類の動物カードから見本をみて、必要なピースを選ぶことができるのではないかと考えている。

教材教具名	ひらがなパズル	分類	記号の学習ー形から文字へ
		授業名	個別課題学習
ねらい	・パズルとして取り組みながらひらがなの形に親しむ		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・バラバラにしたピースを組み立て、ひらがなを作る

<材料>

- ・厚紙

<工夫点>

- ・苦手な文字がないようにまんべんなく出題する。

<効果>

- ・文字を見慣れ、認識しやすくなった。

教材教具名	平仮名・数字マッチング	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・同じ文字や数字のポケットに入れることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ランダムでカードを抜き出しておき、同じ文字や数字を探してポケットに入れる。

<材料>

- ・ポケット付きカレンダー、粘着タイプのゼッケン（下地の数字隠し用）、文字・数字カード

<工夫点>

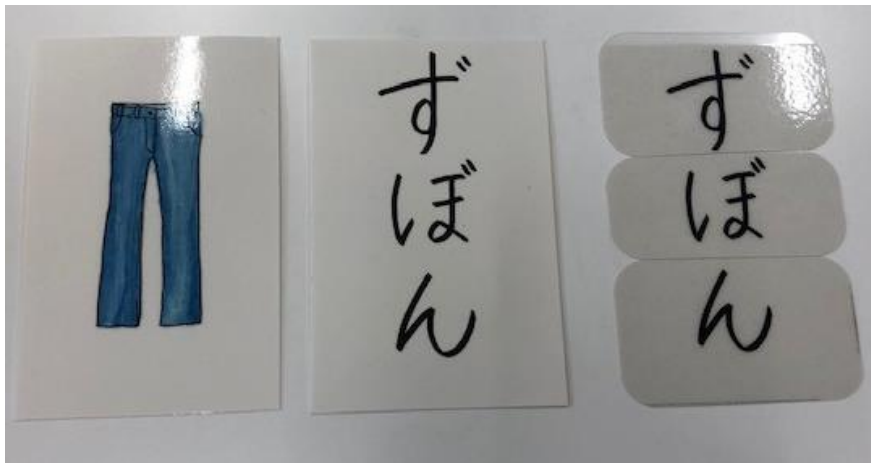
- ・プットイン課題が好きなことと、上に重ねるやり方だと難しかったため、ポケットに入れるやり方の教材にした。

<効果>

- ・ポケットに書かれた文字と重ね合わせることで、似た文字も間違いに気が付いて正しく入れることができるようになった。

教材教員名	文字カード	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	国語・数学（高等部）
ねらい	・「ひらがな2～3文字の単語カード」から「ひらがな一文字」ずつを認識する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1枚の「絵カード」を提示し、机上の5枚の「文字カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・1枚の「文字カード」を提示し、机上の5枚の「絵カード」の中から選ばせる。正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・口頭で読み上げた単語を、机上の5枚の「文字カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・口頭で読み上げた単語を、机上の5枚の「絵カード」の中から選ばせ、正解したら教員が口頭で文字カードのひらがな一文字ずつを指さししながら確認する。
- ・『「絵カード」と対になる「文字カード」を隣同士並べた物』を机上に5セット用意し『その5セットの「文字カード」を一文字ずつに切った、ばらばらのひらがなチップ』からマッチングで「文字カード」の上に並べさせ、並べた一文字を口頭で確認する。
- ・『「絵カード」と対になる「文字カード」を隣同士並べた物』を机上に5セット用意し、「文字カード」だけひっくり返し白紙の状態にする。『その5セットの「文字カード」を一文字ずつに切った、ばらばらのひらがなチップ』から、「文字カード」の上に並べさせ、並べた一文字を口頭で確認する。分からないときは、ひっくり返した白紙の「文字カード」を提示する。並べた一文字を口頭で確認する。

<材料>

- ・市販の文字・絵カード、文字カードのコピーを一文字ずつに切った物

<工夫点>

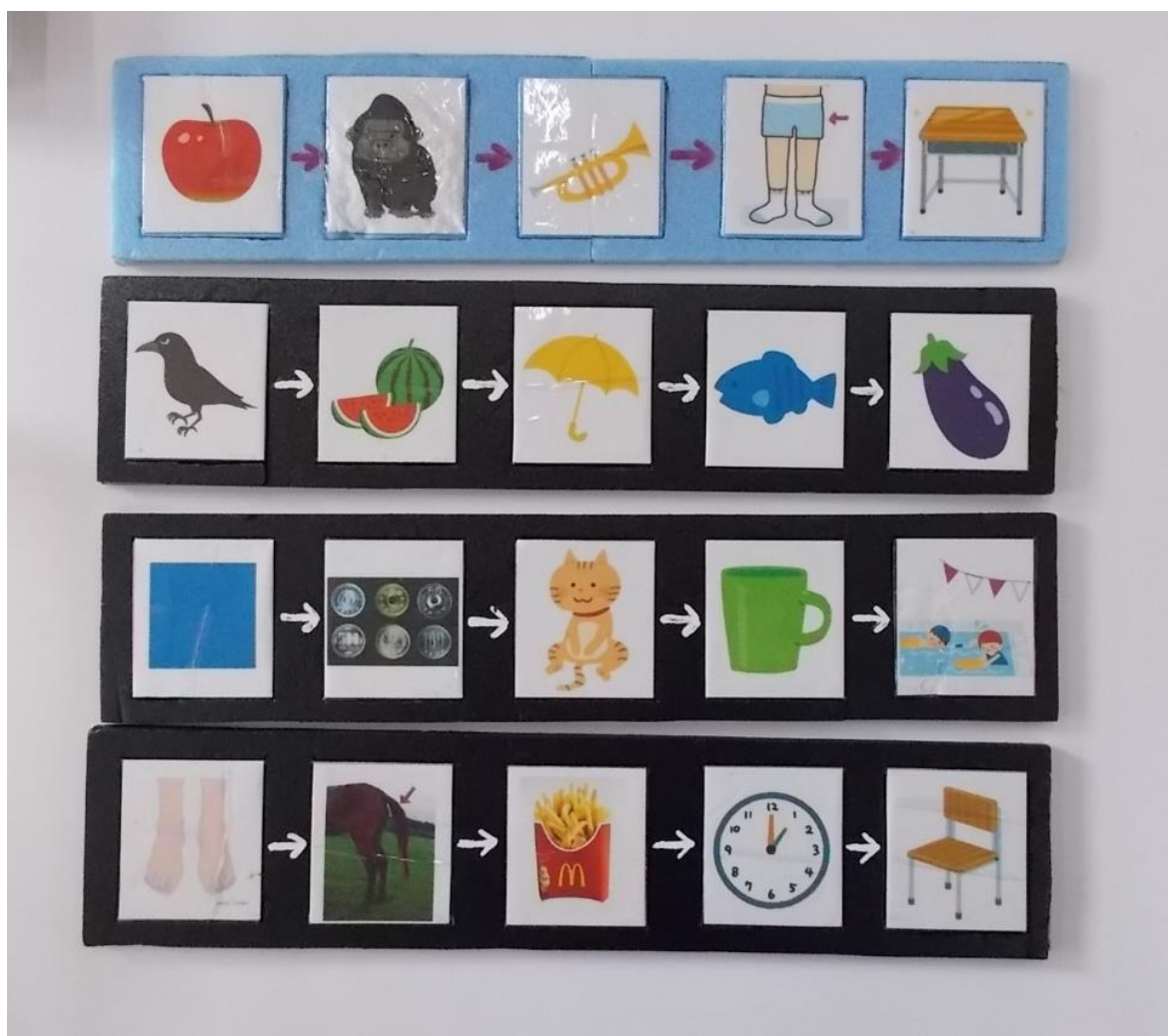
- ・使い慣れた絵・文字カードから「ひらがな一文字」ずつを認識できるようにした。

<効果>

- ・50音表で、口頭で聞いたひらがな一文字ずつを指さしてほぼすべて答えられるようになった。

教材教具名	しりとり練習	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・しりとりの規則性を理解する ・身近なものの言葉を覚える 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・しりとりが完成するよう、型にイラストのピースをはめていく。

<材料>

- ・イラスト、プラスチックボード

<工夫点>

- ・虫食い問題や入れ替え問題など、様々なパターンで練習できるように、イラストのピースを取り外しできるようにした。

<効果>

- ・言葉の頭文字を意識して、課題に取り組むことができるようになってきた。

教材教具名	あいうえお	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・文字の習得		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストを見て、名前の頭文字のひらがなを選んで貼る。

<材料>

- ・ラミネート ・ファイル ・リング ・マジックテープ ・台紙

<工夫点>

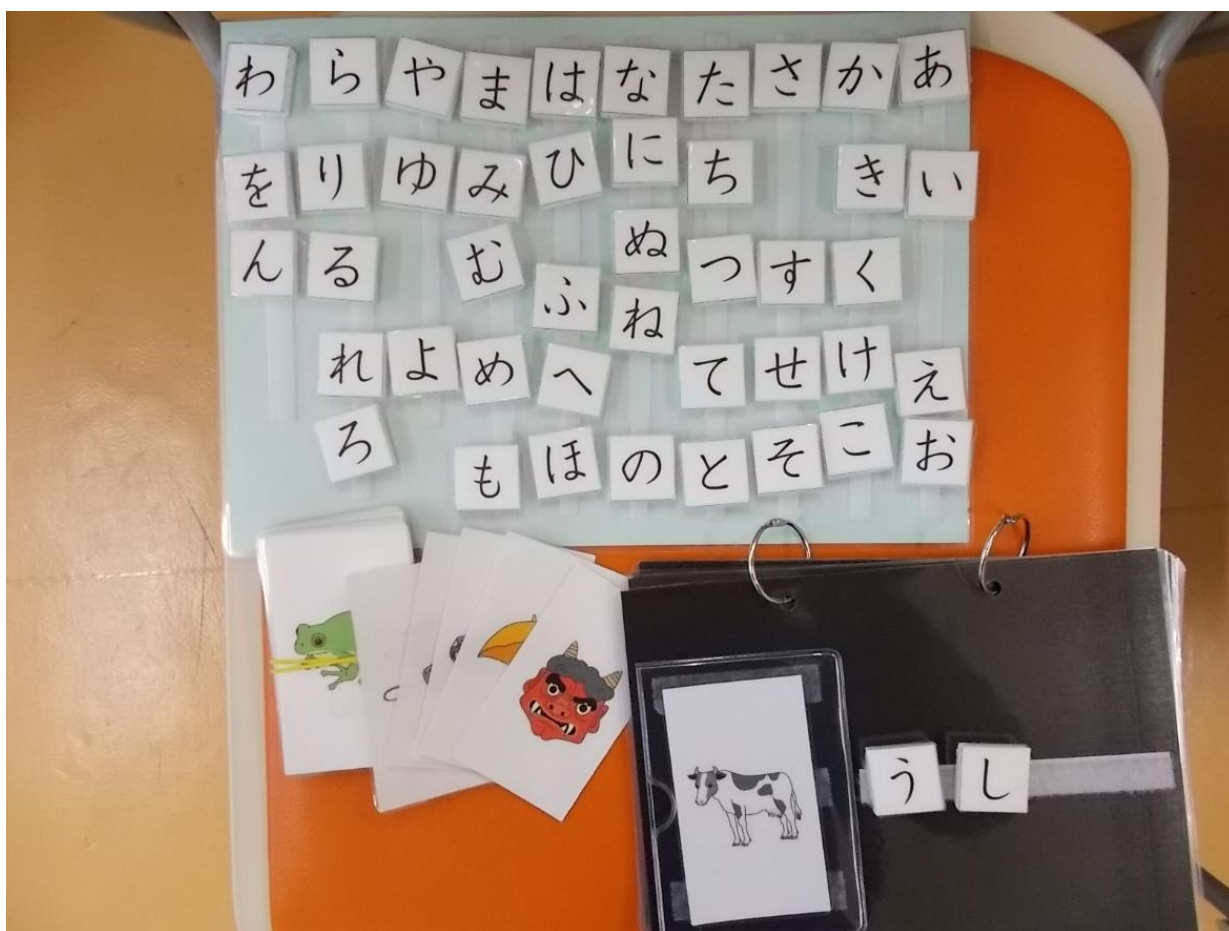
- ・イラストは、児童の知っているもの、好きなキャラクターなどを使って作った。

<効果>

- ・単語のまとまりでなく、一文字ずつの理解が深まった。

教材教員名	単語構成	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て文字チップを並べる活動を通して、文字を正しく構成する力を養う。 イラストと物の名前、文字と音の一致を定着させる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- イラストカードを複数枚並べ、「〇〇はどれだ？」と質問し、1枚選ばせる。正解したカードは構成シートのポケットに入れる。このやり取りを複数回繰り返す。
- 文字チップを提示する。「〇〇、つくってください」と伝え、構成シートに文字チップを並べさせる。
- 誤りがあった場合は、イラストカード裏を見ながらやり直させる。

<材料>

- 画用紙、ラミネートフィルム、マジックテープ、ソフトカードケース

<工夫点>

- ゲーム感覚で行えるように、クイズから取り組み、モチベーションにつなげた。

<効果>

- 物の名前への興味が高くなったようで、指差しで名前を聞くやり取りが増えた。

教材教具名	漢字フラッシュカード	分類	記号の学習一形から文字へ
		授業名	国語
ねらい	・漢字の字形を捉え、想起する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・MD ケースに形カード1枚と漢字カード数枚をセットし、漢字の一部を見せ、何の漢字か答えさせる。
- ・答えた漢字カードを順に抜いていく。

<材料>

- ・MD ケース、ラミネートした形カードと漢字カード

<工夫点>

- ・形カードをいくつか用意することで難易度を変えることができる。
- ・形カードは小さめに作ることで漢字カードがケースから抜きやすくなる。

<効果>

- ・プリント学習よりもゲーム感覚で漢字の学習ができる。

教材教員名	漢字プリント	分類	記号の学習—形から文字へ
		授業名	国語・個別課題学習（中学部）
ねらい	・学校で使用することばの漢字を学習させる		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筆順に留意しながらなぞり書き、写し書きをさせる。

<材料>

- ・プリント

<工夫点>

- ・筆順に合わせて、赤系、緑系の色分けをした。

<効果>

- ・形だけでなく、筆順も意識して書くことで字形が整いやすくなった。

教材教具名	名札をかける色のマッチング	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・色のマッチングができる。 ・手指の巧緻性を高める。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・名札を色ごとにフックにかけていく。

<材料>

- ・木の板・L字フック・名札・フォトフレーム

<工夫点>

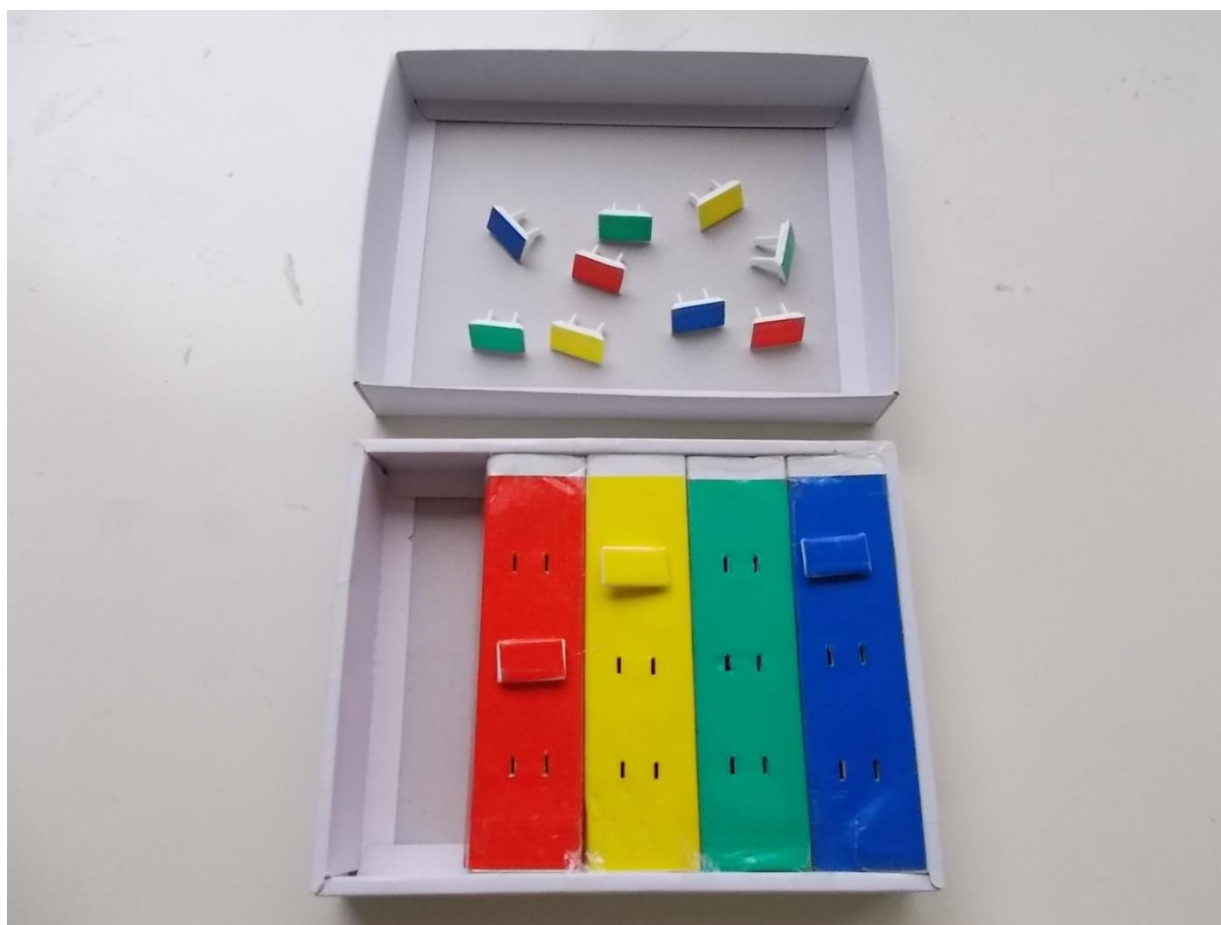
- ・カチッとハマること、達成感を得られるようにした。

<効果>

- ・回数を重ねること、色のマッチングも、フックに名札をかける手先の動きも向上し、スムーズに課題を進めることができるようになった。児童の様子によって、名札の枚数を増やすなどして対応した。

教材教具名	色マッチングプットイン (コンセントカバー)	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・土台と同じ色のコンセントカバーを選ぶことができる。 ・コンセントカバーの先を穴に合わせ、指先に力を入れてはめることができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・箱を開けて課題をはじめ。色マッチングをしながら、コンセントカバーを土台にはめていく。全てできたら箱を閉めて課題が終了。

<材料>

- ・空き箱・板目紙・折り紙・クリアテープ・コンセントカバー

<工夫点>

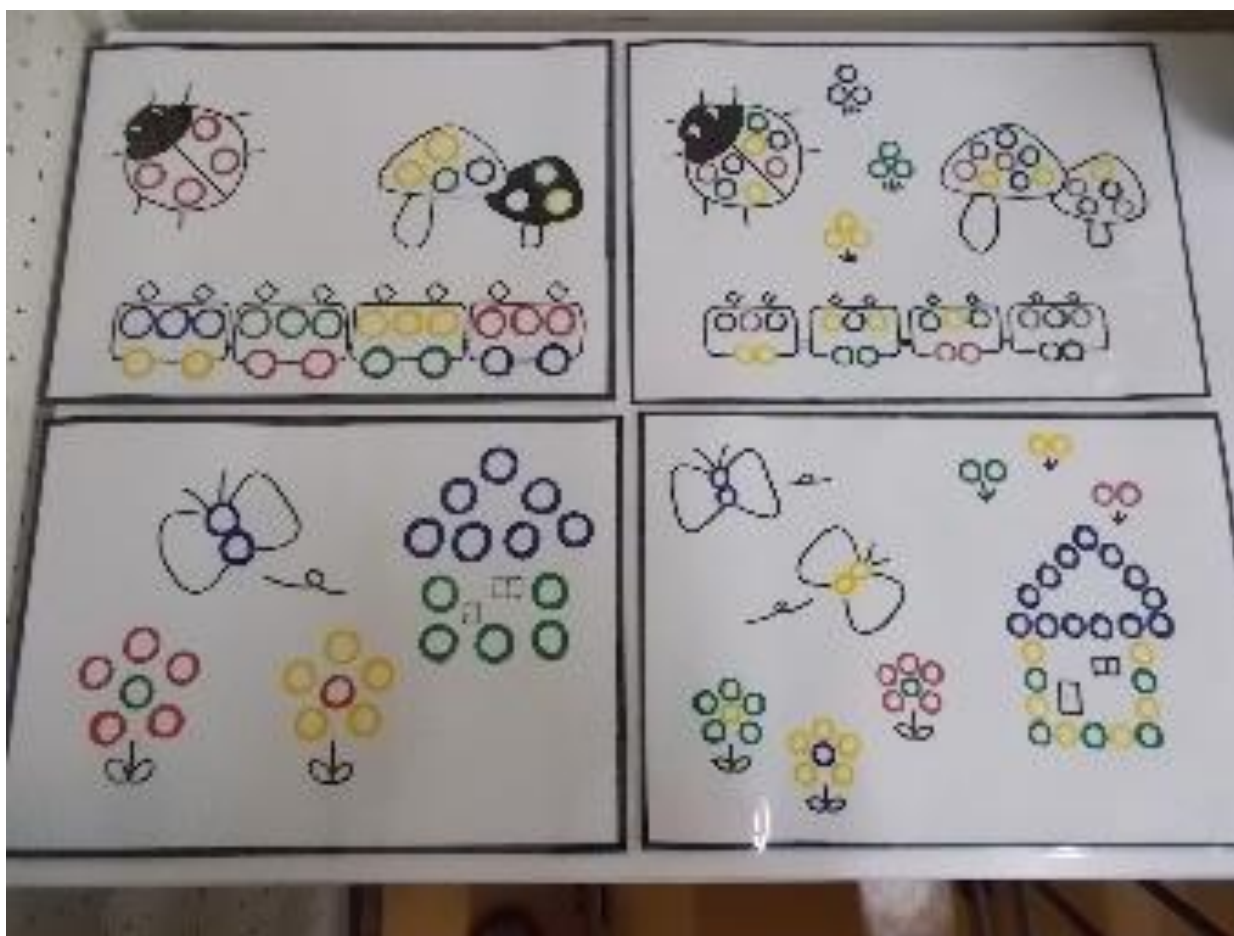
- ・4色の土台を固定し、1つの箱の中で課題が完結するようにした。
- ・色マッチングにプットインの要素を加えた。

<効果>

- ・「あか、おなじ」と言葉かけをしながら学習を重ねることで、色のマッチングができるようになってきた。
- ・既に色のマッチングができる児童にも、集中して取り組める自立課題になっている。

教材教具名	ドットシール貼り	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・見る力を養う。 ・色の弁別ができるようになる。 ・手指の巧緻性を高める。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台紙、使用する色・枚数のみがあるシールシートを渡し、取り組ませる。

<材料>

- ・A4用紙 ・ペン ・ラミネートフィルム ・ドットシール

<工夫点>

- ・繰り返し使えるようにラミネートをかけた。
- ・2色のシールを用いる小さい台紙から取り組ませ、徐々にシールの色や種類を増やした。また、ドットシールの大きさも徐々に小さくした。

<効果>

- ・色の弁別が確実になったうえ、シールをはがす際に両手を使うことから、手元をよく見て活動するようになった。

教材教具名	いろをあわせよう	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・色の識別 ・手指の巧緻性 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・○を移動させながら、色を合わせる。

<材料>

- ・丸い箱 ・割り箸 ・ビーズ ・シール ・丸い板など ・下敷き ・グルーガン

<工夫点>

- ・単純な色合わせではなく、少し考えて取り組めるようにした。

<効果>

指先を使い、試行錯誤しながら色のマッチングの学習ができた。

教材教具名	色弁別	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・赤、黄、青、緑、オレンジ、紫の色に分けることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストをそれぞれの色の台紙に分けて貼る。

<材料>

- ・イラスト、台紙、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- ・ものが違っても、色弁別ができるように、イラストはバラバラのものを用意した。

<効果>

- ・色弁別ができるようになり、身近なものの色を聞いても答えられるようになった。

教材教員名	どんな色が好き？	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色名を覚える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「どんな色が好き？」の歌に合わせて、台紙にクレヨンを貼っていく。

<材料>

- ・クレヨンのイラスト、各色の台紙

<工夫点>

- ・歌が好きな児童の実態に合わせて作成した。

<効果>

- ・歌に合わせて行うことで、教員とのやり取りも楽しみながら学習することができた。

教材教具名	ぬり絵	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・絵を見て色をイメージすることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・絵を見て、何の絵かを児童に聞く。その後、色を聞き、色鉛筆を選び、色を塗る。

<材料>

- ・イラスト、色鉛筆

<工夫点>

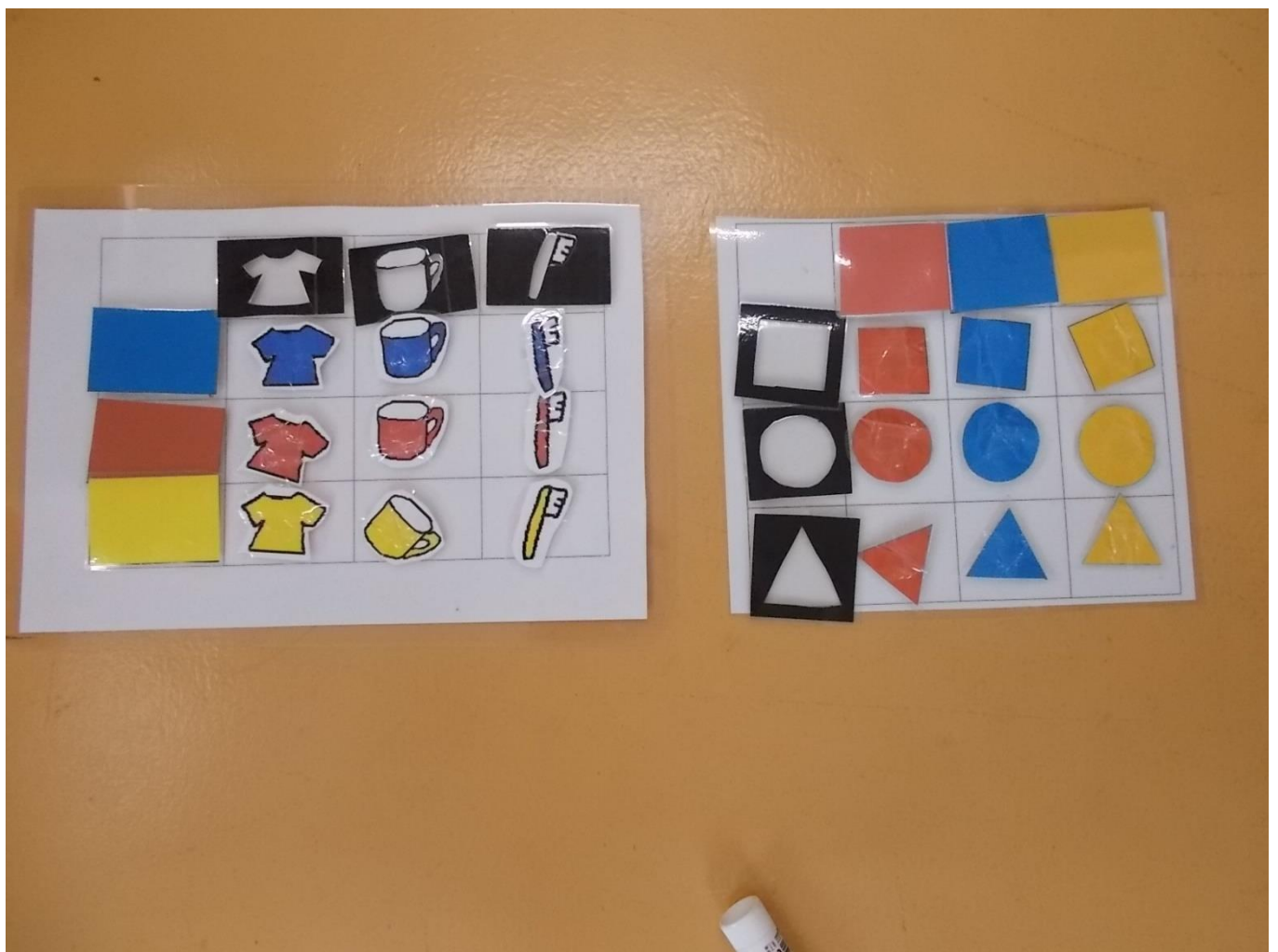
- ・児童の負担にならないようにイラストの大きさを小さくした。

<効果>

- ・表出の少ない児童も質問に答え、色を塗ることができた。

教材教具名	マトリックス	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・色と形がわかり、表を埋めることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色と形の表を埋める。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

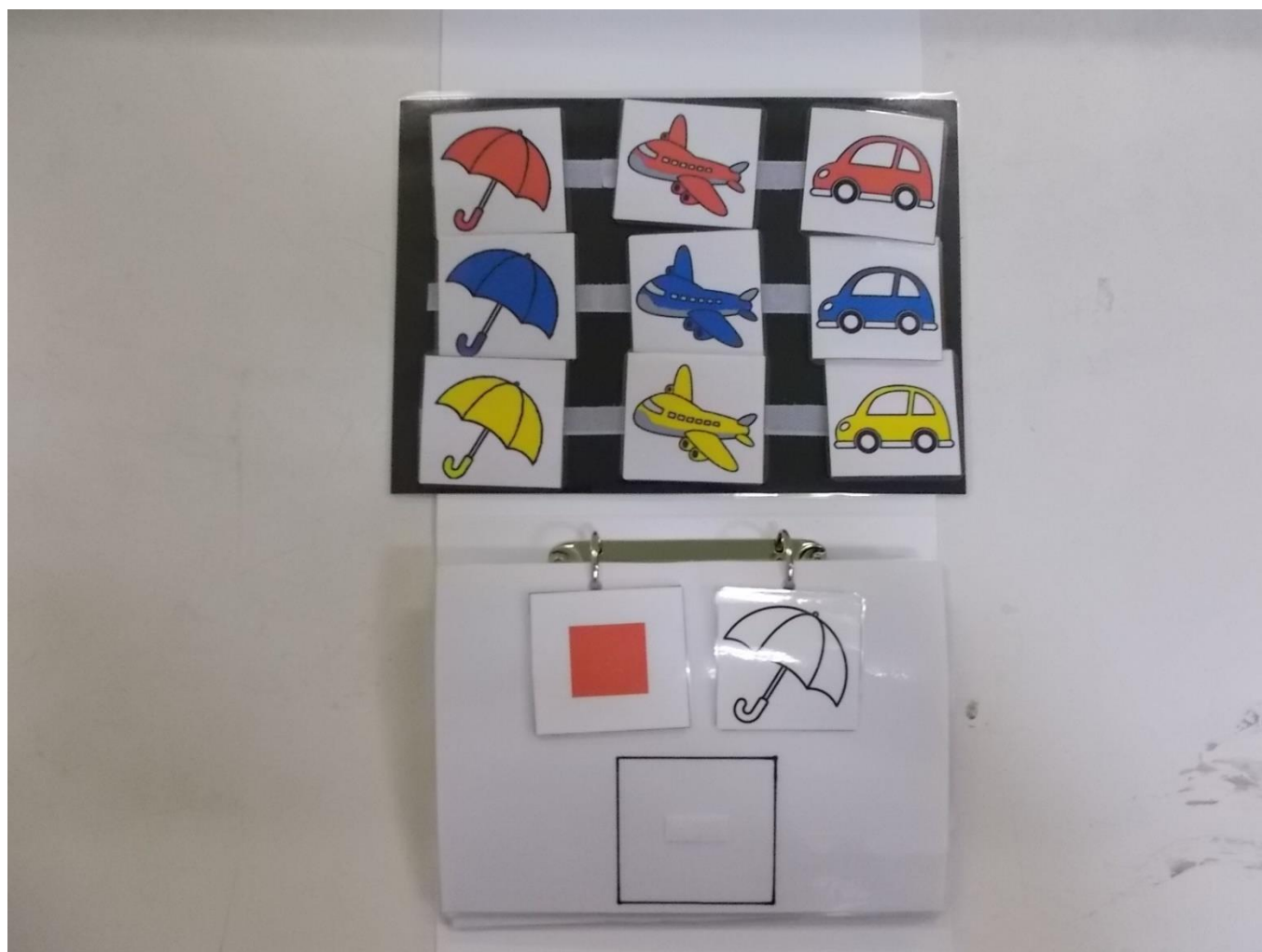
- ・色と形を合わせたときに、正解がわかる。

<効果>

- ・はじめは難しいが、少しずつわかるようになってきた。
- ・やり方がわかってきた。

教材教具名	色と形の統合	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・色カードと白黒のイラストを見て、その二つが統合したものを選ぶ。 ・色の名前を覚える。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色カードと形のカードが貼られたものの下にある黒枠に、その二つが統合されたカードを貼る。

<材料>

- ・2リングファイル・色カード・白黒のイラストカード・色付きイラストカード

<工夫点>

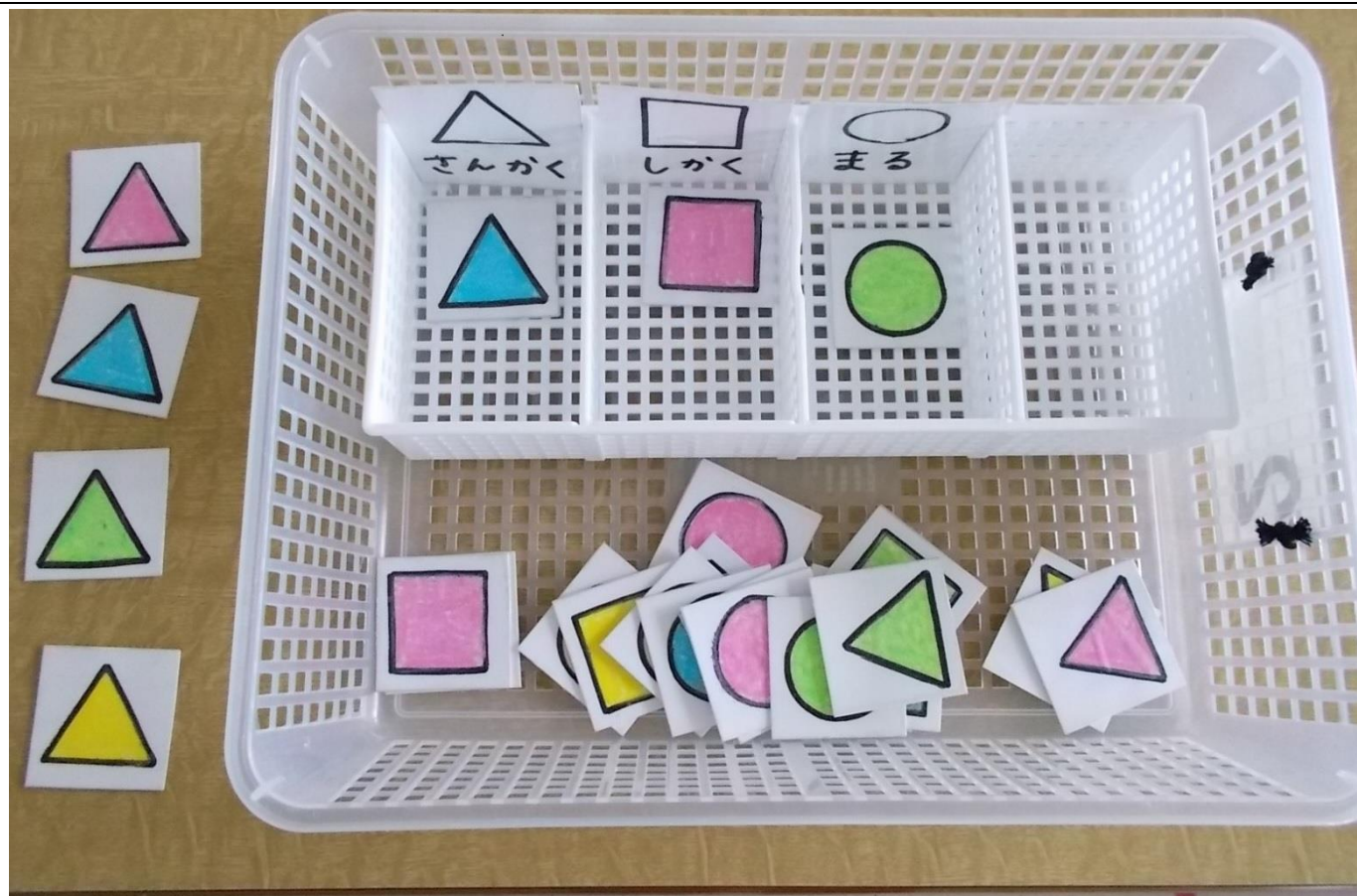
- ・ブック式にすることで、一人で学習に取り組めるようにした。

<効果>

- ・一人で学習に取り組むことができていた。色の名前とイラストのものの名前を言いながら学習していた。

教材教員名	○・△・□の分類	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・3種類の図形を正しく分類することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・選んだカードを○・△・□それぞれ該当するケースに入れる。

<材料>

- ・ケース、板目紙、カバーフィルム

<工夫点>

- ・やることを分かりやすくするために、つくりをシンプルなものにした。

<効果>

- ・見本カードに重ね合わせてから分類する様子が見られた。現在は3種類の形の分類を行っているが、4色の色の分類でもやってみたい。

教材教員名	仲間集め	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・多数の選択肢の中から仲間を選んで分類をする。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・表の上側に示されているイラストを参考に、選択肢の中から仲間を探して貼っていく。

<材料>

- ・2リングファイル・イラストカード・表

<工夫点>

- ・ブック式にすることで、一人で学習を進められるようにした。
- ・選択肢が貼ってある紙を黒にすることで見やすくした。

<効果>

- ・一人でどんどん学習を進めることができていた。好きなものや知っているものの名前を言いながら学習に取り組むことができた。

教材教員名	ジャンル弁別	分類	記号の学習ーことばの土台
		授業名	個別課題学習
ねらい	・食べ物、乗り物、動物に分けることができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストをそれぞれの台紙に分けて貼る。

<材料>

- ・イラスト、台紙、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- ・イラストは本児の知っているものを用意した。
- ・台紙の背景をそれぞれのジャンルに結びつくようなヒントになっている。

<効果>

- ・それぞれの台紙に間違えずに貼れるようになった。

教材教具名	仲間分け	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な種類の帽子・かばん・机を分類することができる。 • 分類する物を答えることができる。 • 分類した物の文字を選ぶことができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 各ページに1枚貼ってあるイラストの名前を答える。次にイラストカードを同じ種類ごとに仲間分けする。最後に分類した物の文字を選択し貼る。

<材料>

- ラミネートした用紙、マジックテープ、イラストカード、文字カード

<工夫点>

- 身近な物を選び、本児が答えやすいようにした。

<効果>

- 「これはなに？」とイラストを指さしながら聞くと、「ぼうし」等と答えることができた。
- 様々な種類の帽子・かばん・机を分類することができた。

教材教具名	カテゴリー分け	分類	記号の学習—ことばの土台
		授業名	個別課題
ねらい	・カテゴリーの理解		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・カードを複数枚並べ、カテゴリーに当てはまるものをかごの上に置いていく

<材料>

- ・ラミネートしたカード、マグネットシート

<工夫点>

- ・買い物かごの上に提示されたカテゴリーのものを置いていくことで、単にカテゴリー分けをするのではなく、モチベーションを高めながら学習することができる。

<効果>

- ・カテゴリーの学習をくり返し行うことができる

教材教具名	丸磁石でなぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・溝に沿って丸磁石を手順通りに動かすことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・鉛筆で溝に沿って丸磁石を動かす。

<材料>

- ・カラーボード、ホワイトボード、丸磁石、鉛筆

<工夫点>

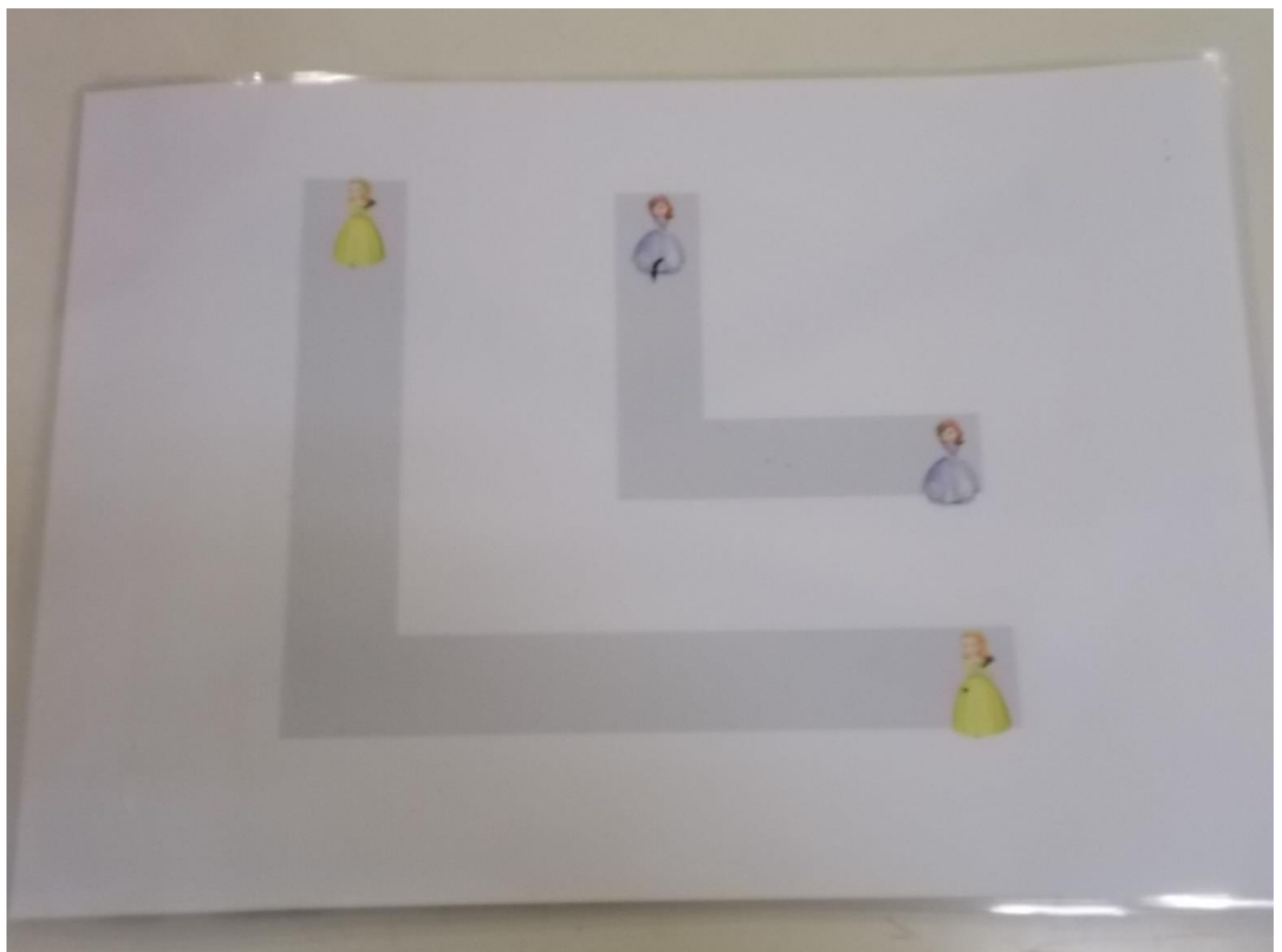
- ・数字の形に溝を作ることで、数字の形や書き順が一緒に練習できるようにした。書き順ごとに丸磁石の色を変えた。

<効果>

- ・鉛筆でマグネットを動かすことで、手指への力の入れ方を練習できた。数字の形や書き順の確認ができた。

教材教具名	なぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・ 枠線の内側からはみ出さずに線を書くことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ キャラクターからキャラクターまで線を書く。

<材料>

- ・ プリント、ラミネート、ホワイトボードマーカー

<工夫点>

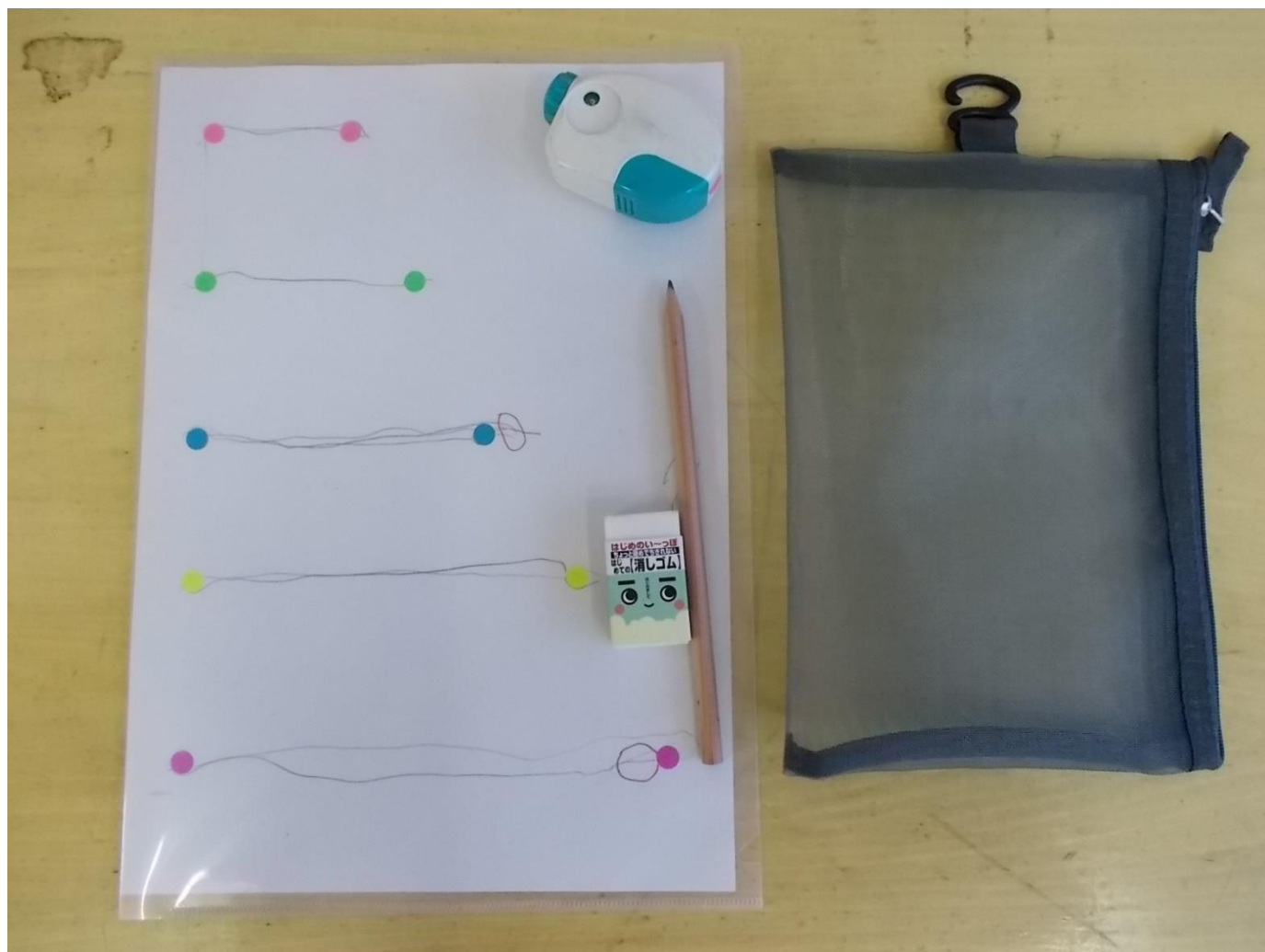
- ・ 好きなキャラクターを取り入れることで、楽しみながら学習できるようにした。

<効果>

- ・ 「〇〇から〇〇までタッチ！」と言葉をかけると始点と終点を意識して取り組むことができた。

教材教具名	点繋ぎ	分類	記号の学習－書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 点と点を繋ぐことができる。 鉛筆を使って、線を引くことができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・同じ色の点を鉛筆で繋ぐ。

<材料>

- ・点繋ぎ・なぞり書きの用紙、三角鉛筆、消しゴム、鉛筆削り

<工夫点>

- ・手指の力が弱い本児が持ちやすいよう、三角鉛筆を使用した。
- ・短い点から段々引く長さを伸ばした。

<効果>

- ・鉛筆を使って、概ね真っ直ぐ線を引くことができた。

教材教具名	数字のなぞり書き	分類	記号の学習—書字にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・線の上をなぞり書きすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・マジックペンで、板磁石の数字をなぞる。

<材料>

- ・板磁石、ホワイトボード、マジックペン

<工夫点>

- ・板磁石で数字の形を作ることで、線の上とそれ以外に段差をつけた。

<効果>

- ・線からはみ出した際に、自ら気が付き修正することができた。

教材教具名	一対一対応	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・マス目にひとつずつカードを並べ、一対一対応を学ぶ		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・マス目にカードを並べさせる。

<材料>

- ・ホワイトボード、カード、テープ、シール

<工夫点>

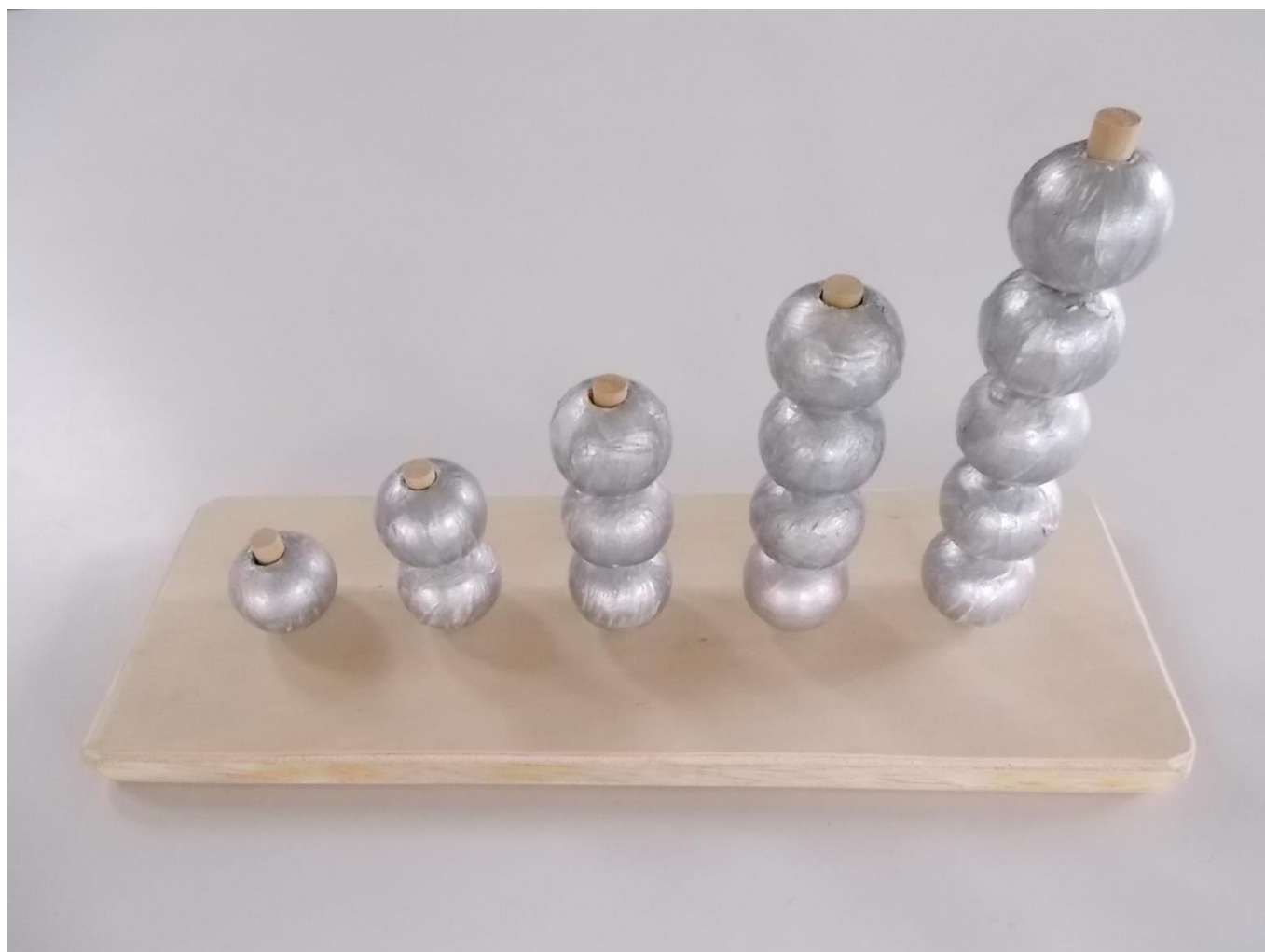
- ・カードを本人が好きな電車にした。

<効果>

練習を重ねると、枠の中に写真カードを並べることができた。

教材教具名	球入れ	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・目と手の協応 ・（応用）1～5までの学習 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・棒に指定した数の球を入れる。（棒は1～5までのパターンと5×5本のパターンと高さが選べます。）

<材料>

- ・筑波大学付属大塚特別支援学校で購入（球は東急ハンズで売ってます）

<工夫点>

<効果>

- ・最初は長さの異なるものから取り組んでいったほうが混乱しなくて良いと思います。
- ・終わりが分かりやすいので、集中して取り組んでくれます。

教材教具名	大小の分類	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・大小の違いに注目することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ①やり取り課題：大小それぞれの同じイラストチップを提示し、『おおきいボード』『ちいさいボード』に分類する。
- ②自立課題：イラストカードを大小に分類させる。カード裏を見て答え合わせをする。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、ホワイトボード、ケース

<工夫点>

- ・同一のイラストで活動が異なる2種類の課題を設定した。

<効果>

- ・同一種類で大きさが異なるものであれば、身近なものでも大小を分類することができるようになった。

教材教具名	太さの学習	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・太さの違いを理解する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

黒い面に土台と円柱（必要分）をセットする。
穴の太さと円柱の太さを見比べてはめていく

<材料>

木材、箱

<工夫点>

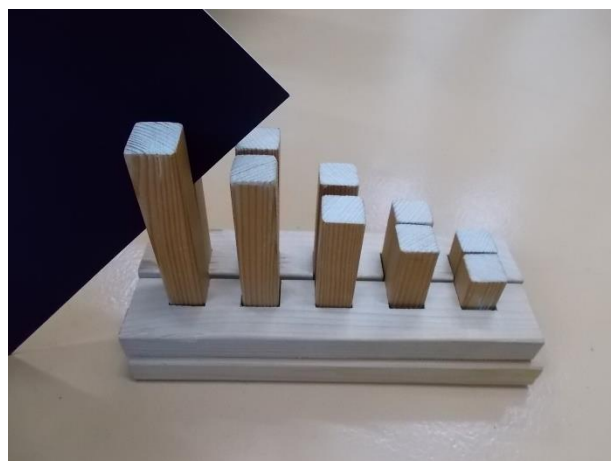
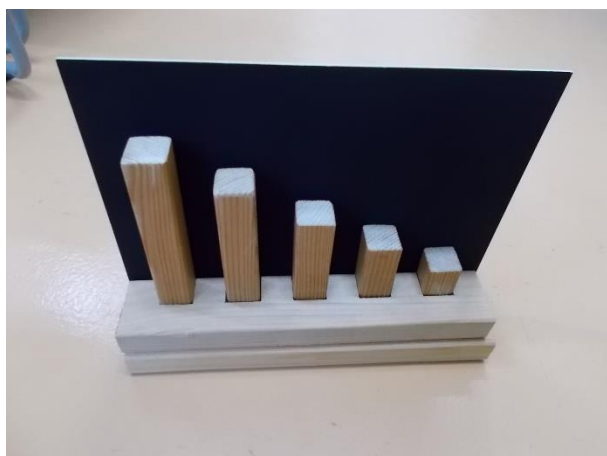
黒い面に円柱を置くことで太さに注目しやすくした。

<効果>

試行錯誤しながら同じ大きさの円柱をさがし、はめることができた。

教材教具名	長さの学習	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	国語・数学 個別課題学習
ねらい	・長さの段階的な違いを理解する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

A 透明の板を使用して

- ① 透明の板と見本の棒をセットする
- ② 見本に合わせて同じ長さの棒をさしていく

B 黒の板を使用して

- ① 黒の板と正解の棒をセットする。また一番短い、または長い棒を端にあらかじめはめておく。
- ② あらかじめはめてある棒から順に長くまたは短くなるように棒をさす。

<材料>

- ・木材、プラスチック板

<工夫点>

- ・板を外して、正解を実物と照らし合わせて確認できるようにした。

<効果>

正解と照らし合わせることで、答え合わせが容易になった。

教材教具名	数列パズル	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	・数列を学習する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・数を数えながら、カードを順に裏返していき、パズルを完成させる。

<材料>

- ・ホワイトボード、マグネット、スチレンボード

<工夫点>

- ・厚みのあるカードにすることでめくりやすい。
- ・児童・生徒の好きな絵を用いることで、10まで数えることへのモチベーションがあがる。

<効果>

- ・数列の理解につながる。

教材教員名	数字の読み方	分類	記号の学習一数の理解にむけて
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・数字の読み方を理解する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「数字の歌」に合わせて、イラストの下に数字チップを貼る。すべて数字を貼ったら1から10まで読む。

<材料>

- ・ホワイトボード・数字のイラスト・数字チップ

<工夫点>

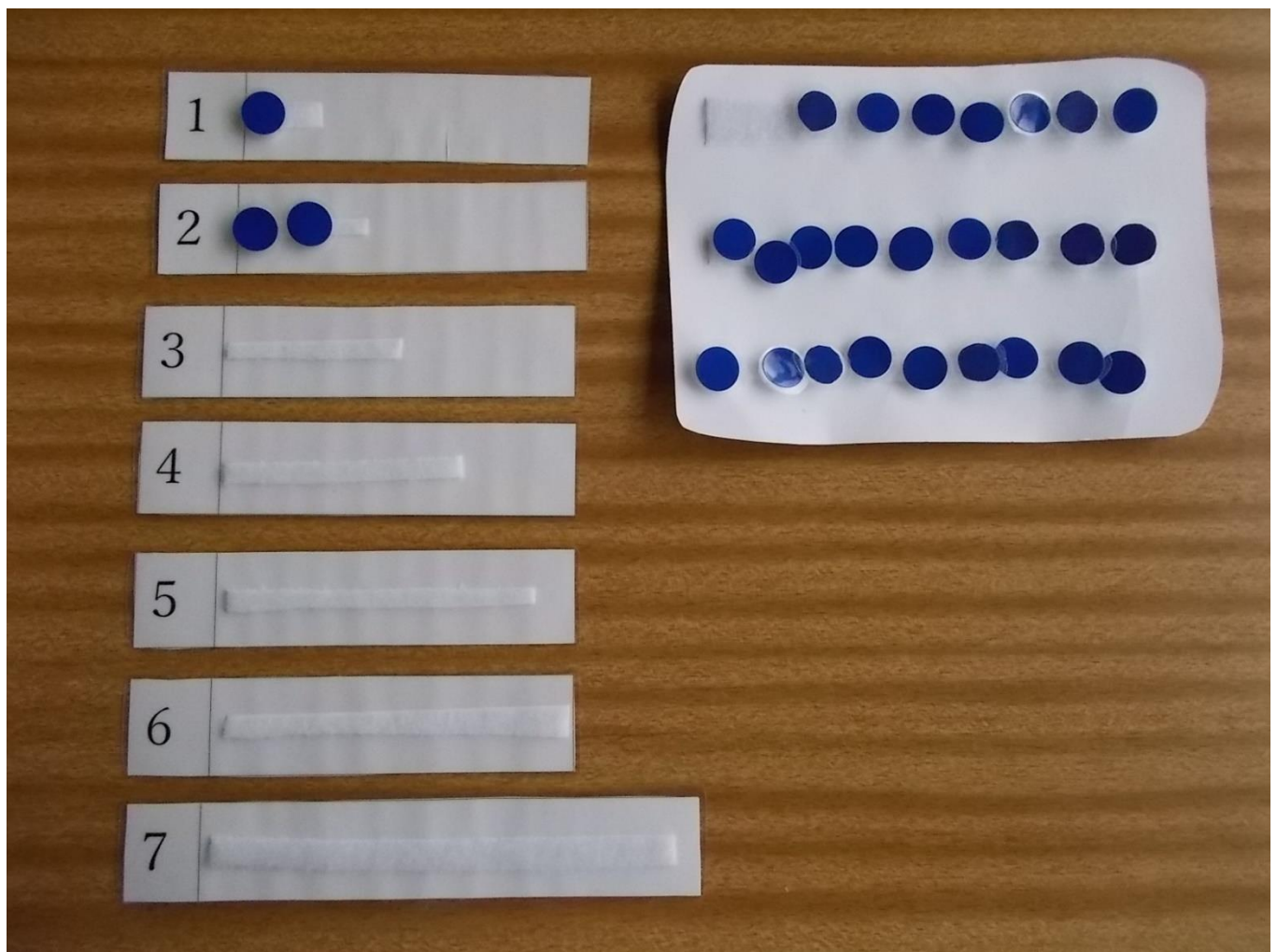
- ・歌が好きな児童が楽しく学習できるように、歌を通した学習方法を選択した。
- ・イラストを描くことで歌の内容や数字をわかりやすくした。

<効果>

- ・教員と一緒に歌を歌いながら楽しく学習することができた。

教材教具名	数1～7	分類	記号の学習—数の理解にむけて
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・数1～7の概念を定着する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・指定された数のドットチップをシートに貼る。

<材料>

- ・色シール、マジックテープ、ラミネートフィルム、紙

<工夫点>

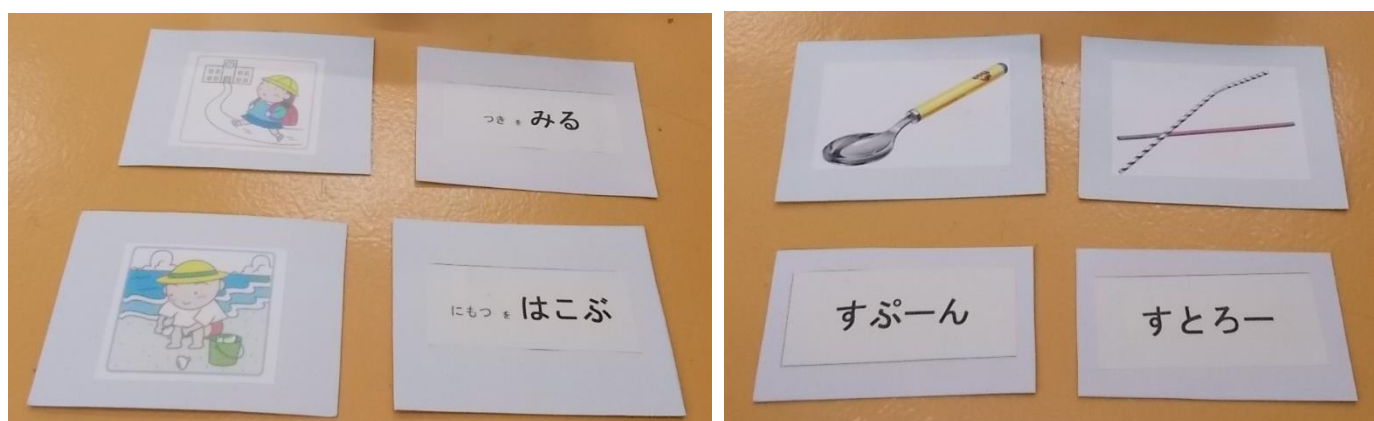
- ・マジックテープの長さをヒントに取り組めるよう調整した。

<効果>

- ・1～7を数えられるようになってきた。

教材教具名	ことばのカード	分類	記号を使う学習—単語
		授業名	国語 個別課題学習
ねらい	・名詞、形容詞、動詞の学習および文構成の学習。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・絵カードを見せ「何?」「何してる?」と問い、答えさせる。
- ・文字カードと絵カードのマッチングをさせる。

<材料>

- ・厚紙、イラスト

<工夫点>

- ・身近なことばを集めた。

<効果>

- ・理解できる語が広がり、表出することばが増えた。

教材教具名	動詞パズル 動詞マッチング	分類	記号を使う学習—単語
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を増やす。 ・動詞を知る。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・『動詞パズル』 イラスト合わせから取り組む。イラストを合わせた後に声に出して読む。
- ・『動詞マッチング』 イラストを見て、対応しい単語カードを選ぶ。反対に、単語を読んで、対応しいイラストカードを選ぶ。

<材料>

- ・画用紙、ラミネートフィルム、ファイル、マジックテープ

<工夫点>

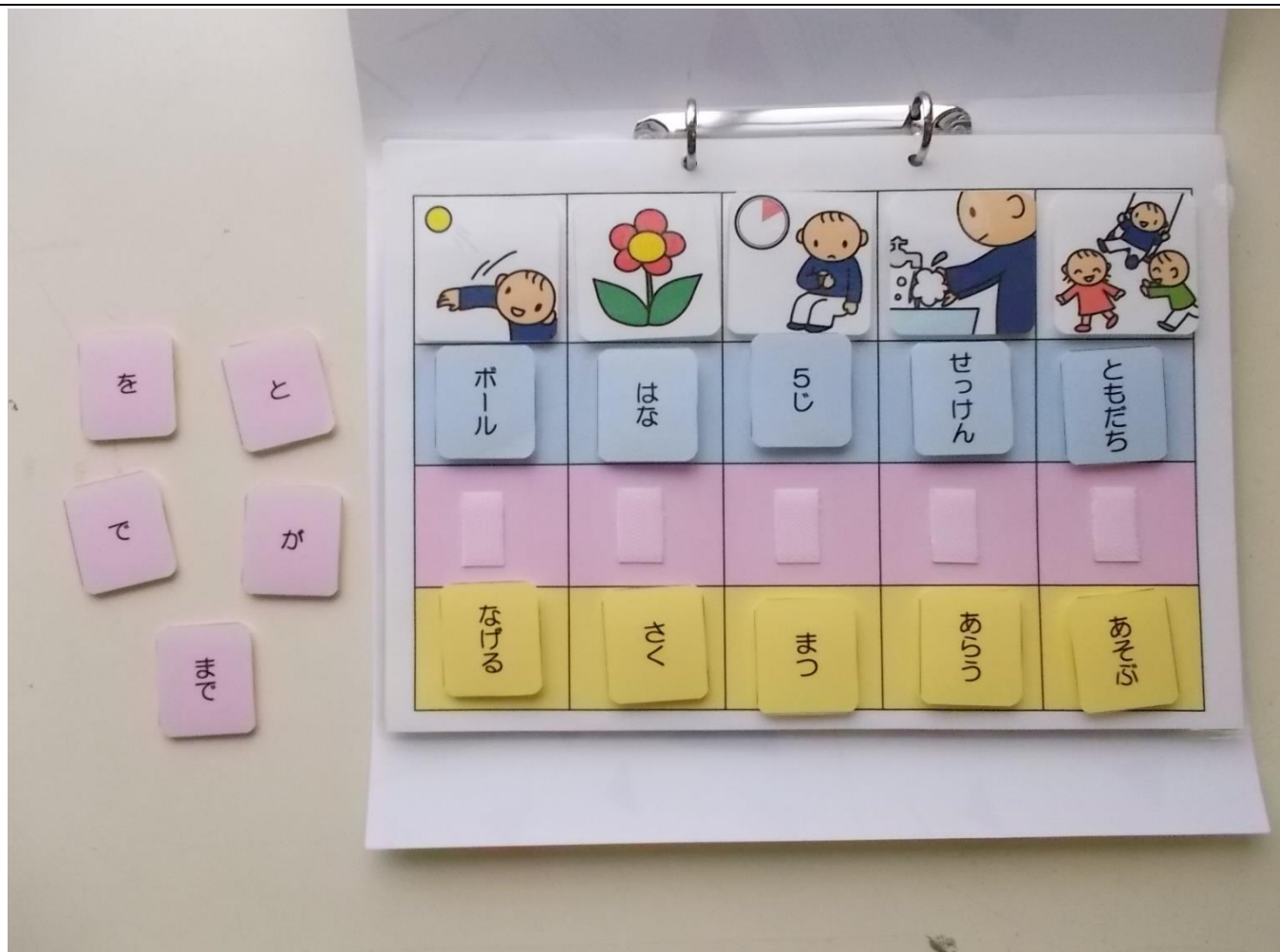
- ・ゲーム感覚で行えるように、パズルから取り組んだ。

<効果>

- ・絵柄の異なるカードや絵本でも、対応しい動詞を答えることができるようになった。

教材教具名	動詞・助詞の学習	分類	記号を使う学習—文章
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・イラストに合う動詞や助詞を選ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・児童の実態に合わせて、動詞もしくは助詞のチップを外しておく。
- ・イラストに合う動詞もしくは助詞を選ぶ。
- ・完成した分を声に出して読む。

<工夫点>

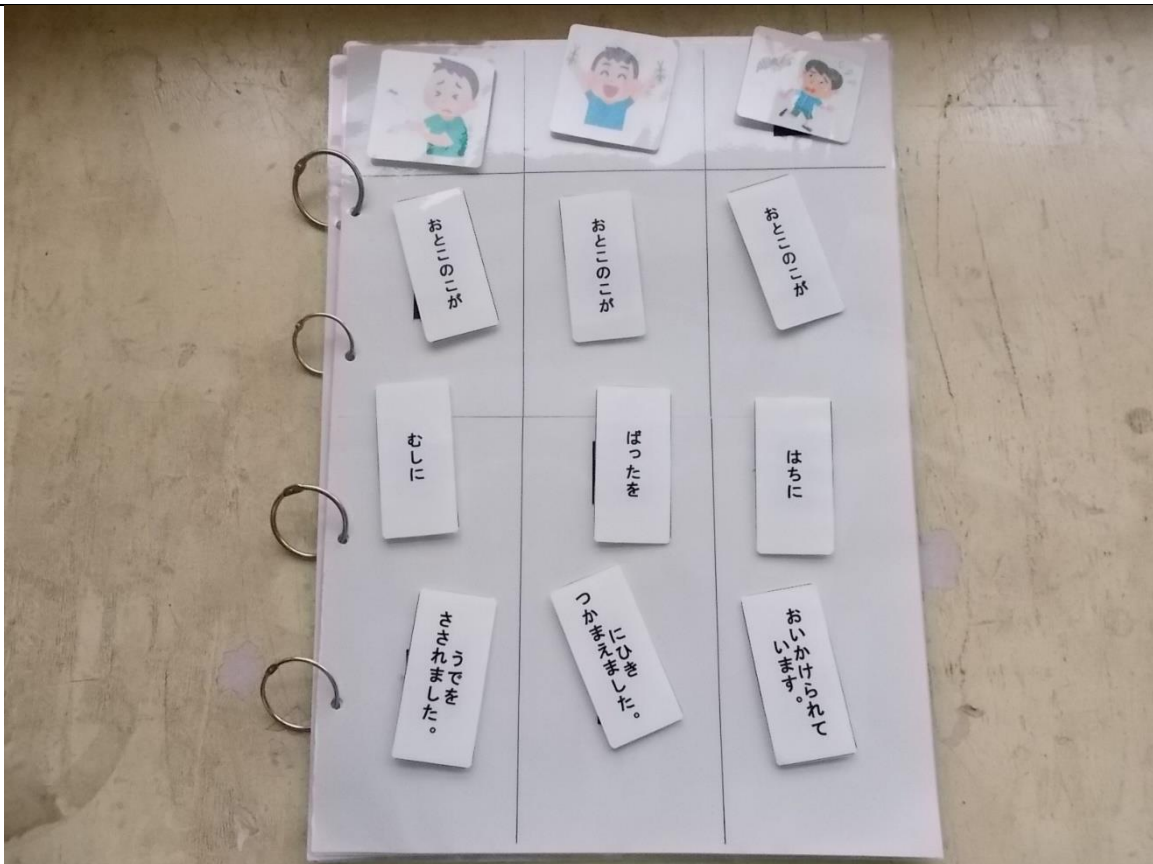
- ・児童の実態に合わせて、動詞か助詞の学習ができるように、文字チップを分けた。
- ・色を3色に分けて分かりやすくした。

<効果>

- ・担当している児童は、助詞の学習をしていた。はじめは間違いも多かったが、練習を重ねることで正しく助詞を選ぶことができた。日常生活でも正しく使えるようになるとうい。

教材教員名	三語文をつくろう	分類	記号を使う学習—文章
		授業名	国語（中学部）
ねらい	・イラストをみて文をつくることことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・イラストを提示して、単語カードを用意する。

<材料>

- ・A3用紙 ラミネートフィルム マグネットテープ 穴あけパンチ リング

<工夫点>

- ・「だれが」「なにを」「どうした」をページごとに区切っておくことで、ひとりで取り組める課題になった。すぐに出来てしまう場合は問題数を必要に応じて増やしたり、単語カードのダミーを入れたりすることで、自分で悩んで考える場面を作ることができた。

<効果>

- ・マジックテープで作ることで、誤答してもすぐに生徒が自分ではがし、貼りなおすことができた。
- ・プリント学習では、間違えると消しゴムで消すことが難しく（力のかけ具合の調節が上手ではないため）プリントがくしゃくしゃになってしまったり、破れてしまったりしたが、この教材を使用してからには集中して取り組む様子がみられた。

教材教具名	小銭が混ざらない財布	分類	記号を使った学習ーお金
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・財布の中で小銭が混ざっていることで支払いの苦手意識、エラーを無くす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・分別してお金を入れる、金種をわかりやすく入れる

<材料>

- ・固いスポンジ、ポーチ、お金

<工夫点>

- ・固いお金にお金を差し込めるようにし、金種がわかりやすく、財布の中で混ざりにくくすることで支払いしやすくした。

<効果>

- ・買い物学習の支払いがスムーズになった

教材教具名	お金のまとめり	分類	記号を使った学習ーお金
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・金種の変化を一目でわかるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・板をはがす。

<材料>

- ・木の板、お金の模型、ファスナーテープ。

<工夫点>

- ・1円が5枚集まると5円になる等のお金のまとめりが一目でわかるようにした。

<効果>

- ・金種やまとめりの理解。

教材教員名	お金の学習	分類	記号を使った学習—お金
		授業名	数学（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 提示された金額に対して同額になるように硬貨を選ぶ。 • 金額の大小関係を覚える。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 商品カードから 1 枚選び、金額を確認する。その後、金額に合わせてぴったり合う硬貨を選び、教員に硬貨を支払う練習をする。
- 机上の両端に〇×を置き、真ん中にお小遣いとして硬貨を置く。商品カードを順番に提示し、お小遣いの範囲で買えるか買えないかを選び、〇×に分けていく。

<材料>

- 商品のイラスト（商品名、金額、イラスト）
- 〇×カード
- 硬貨（本物、カード）

<工夫点>

- 同じ教材で商品の支払い練習や大小関係の理解など幅広く学習を展開できる。

<効果>

- 繰り返し学習を行うことで定着をはかれる。カードゲーム感覚で学習に取り組むことができる。

教材教員名	すうじのうた	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストをめくって見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びたり、数字に興味をもつ児童も増えたりした。

教材教具名	おはようくれよん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストを見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教員名	いっぽんでもにんじん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせて、ページをめくっていく。

<材料>

- ・イラスト ・ラミネート

<工夫点>

- ・めくりやすいように、リングでまとめた。

<効果>

- ・注目できる時間が延びたり、数字に興味をもつ児童も増えたりした。

教材教員名	まあるいたまご	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、演じる。

<材料>

- ・厚紙 ・マジックテープ ・リング ・ラミネート

<工夫点>

- ・注目できるような仕掛けを作った。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教員名	くいしんぼうのありさん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストを見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教具名	おべんとうバス	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・歌を歌いながら、パーツを動かし物語を演じる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート ・マジックテープ

<工夫点>

- ・マジックテープでお弁当のパーツを貼れるようにした。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教具名	くいしんぼうおばけ	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・歌を歌いながら、パーツを動かし物語を演じる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート ・マグネット ・ひも ・プラ段

<工夫点>

- ・一つひとつのパーツをマグネットで付くようにしている。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教員名	あいうえおにぎり	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会（小学部）
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、割ピン、マジックテープ。

<工夫点>

- ・曲に合わせて動かせるように、割ピンで固定している。

<効果>

- ・前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。

教材教員名	さっと逃げました (手袋シアター)	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会 (小学部)
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・カラー手袋、フェルト、グルーガン、裁縫道具。

<工夫点>

- ・オオカミは、手の形で顔が完成するようになっている。

<効果>

- ・前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。

教材教員名	キャベツの中から	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会（小学部）
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、割ピン

<工夫点>

- ・曲に合わせて動かせるように、割ピンで固定している。

<効果>

- ・前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。

教材教具名	着替え手順書	分類	教科
		授業名	日常生活の指導（小学部）
ねらい	・手順書に沿って一人で着替えができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・着替え前に児童机にセットする。一つ終わるごとにカードを外す。

<材料>

- ・着替えカード、ゴム

<工夫点>

- ・机上は服をたたむ際に使用するため、幅を取らずに、付け外しが簡単なつくりにした。

<効果>

- ・自分で指さし確認をして着替えるようになった。

教材教具名	配膳グッズ	分類	教科
		授業名	給食前（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・集中しておぼんに牛乳を置くことができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・かごにつけてひもを首から下げる。かごに牛乳等を入れておぼんに配る。

<材料>

- ・カラビナ、ひも、タオル

<工夫点>

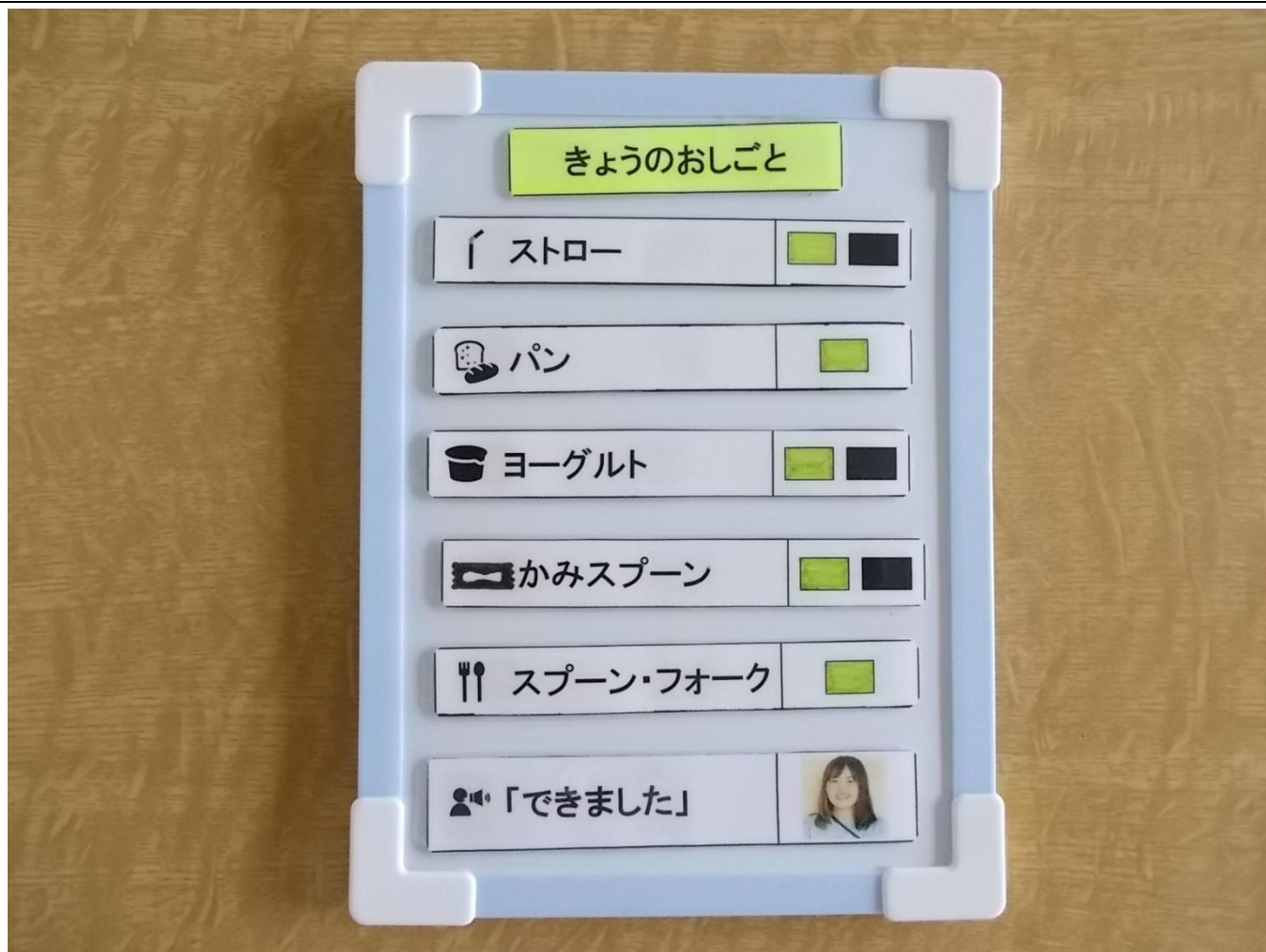
- ・売り子スタイルなので、両手があいた状態で配膳ができる。

<効果>

- ・たくさんの牛乳等を運びながら配れるようになり、効率・集中力アップ。

教材教員名	配膳ボード	分類	教科
		授業名	給食（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 色別のトレーに正しく配膳することができる。 • 手順書に沿って配膳し、最後に報告することができる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 給食メニューに合わせてカードを組み、当番の児童に提示する。

<材料>

- ミニホワイトボード、メニューカード

<工夫点>

- 児童分と教員分では配膳するものが異なるため、配膳する・しないをトレーの色で示した。
- 毎日の献立に対応できるように付け外しができるものにした。

<効果>

- 「スプーンフォークは緑だけ」「ゼリーは緑と黒」と口頭説明だけでは難しかったが、視覚的に提示することで混乱なく配膳できるようになった。

教材教具名	荷物しまい	分類	教科
		授業名	国語・数学 日常生活（高等部）

ねらい

・荷物がすべて収まるように、リュックにしまうことができる。

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・提示された順番で、すべての荷物が収まるようにリュックに入れる。

<材料>

- ・リュック、連絡袋、水筒、ビニール巾着袋×2

<工夫点>

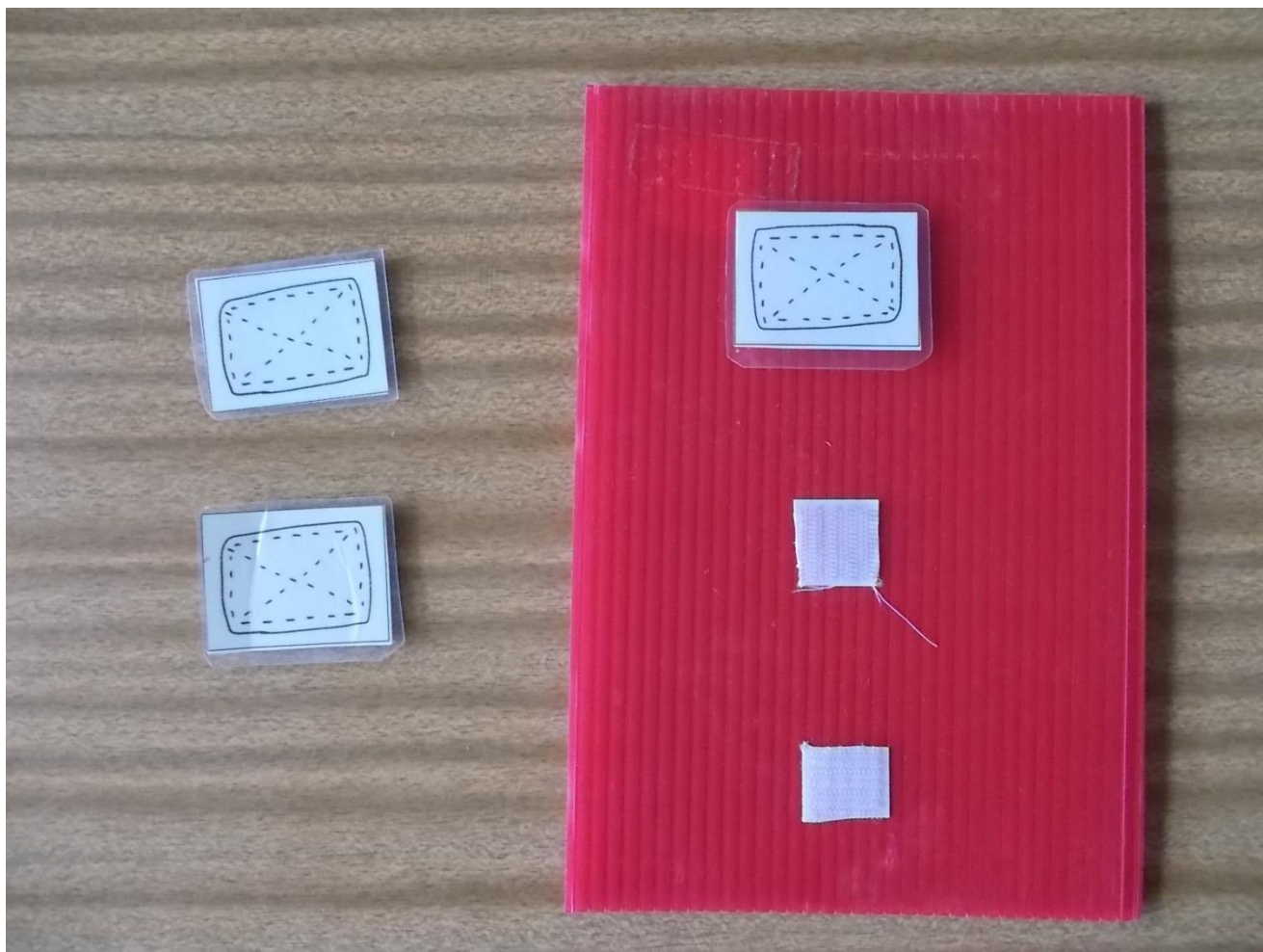
- ・連絡袋→水筒→ビニール巾着の順でしまうと、うまくリュックに収まるようになっている。

<効果>

- ・提示された順番で、すべての荷物が収まるようにリュックに入れることで、リュックにすべてが収まる入れ方を覚える。

教材教員名	雑巾がけ あと何回？	分類	教科
		授業名	クラス清掃（中学部）
ねらい	・3往復することになっているクラスの雑巾がけに対して、見通しを持たせる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・全員を壁側に椅子で座らせて、2人ずつ順番に雑巾がけを3往復する。1往復毎にカードを1枚渡して貼らせる。3枚貼ったら雑巾を教員に渡して着席する。

<材料>

- ・プラ板、頭巾カード、マジックテープ

<工夫点>

- ・自分でカードを貼っていくことで、視覚的に見通しを持たせようとした。

<効果>

- ・カードを受け取り自分で貼ることと、終わった時の教員の称賛の言葉かけで、活動に見通しとやる気を持たせることができた。

教材教具名	とんでったばななくん	分類	教科
		授業名	音楽（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターに注目することができる。 ・曲に合わせて声を出したり歌詞を覚えて歌ったりすることができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・パネルシアターの導入と、お話の中で使う。
- ・発語や発声を誘う。

<材料>

- ・フェルト（黄色、白、赤、茶色）、糸、裁縫セット、目玉シール

<工夫点>

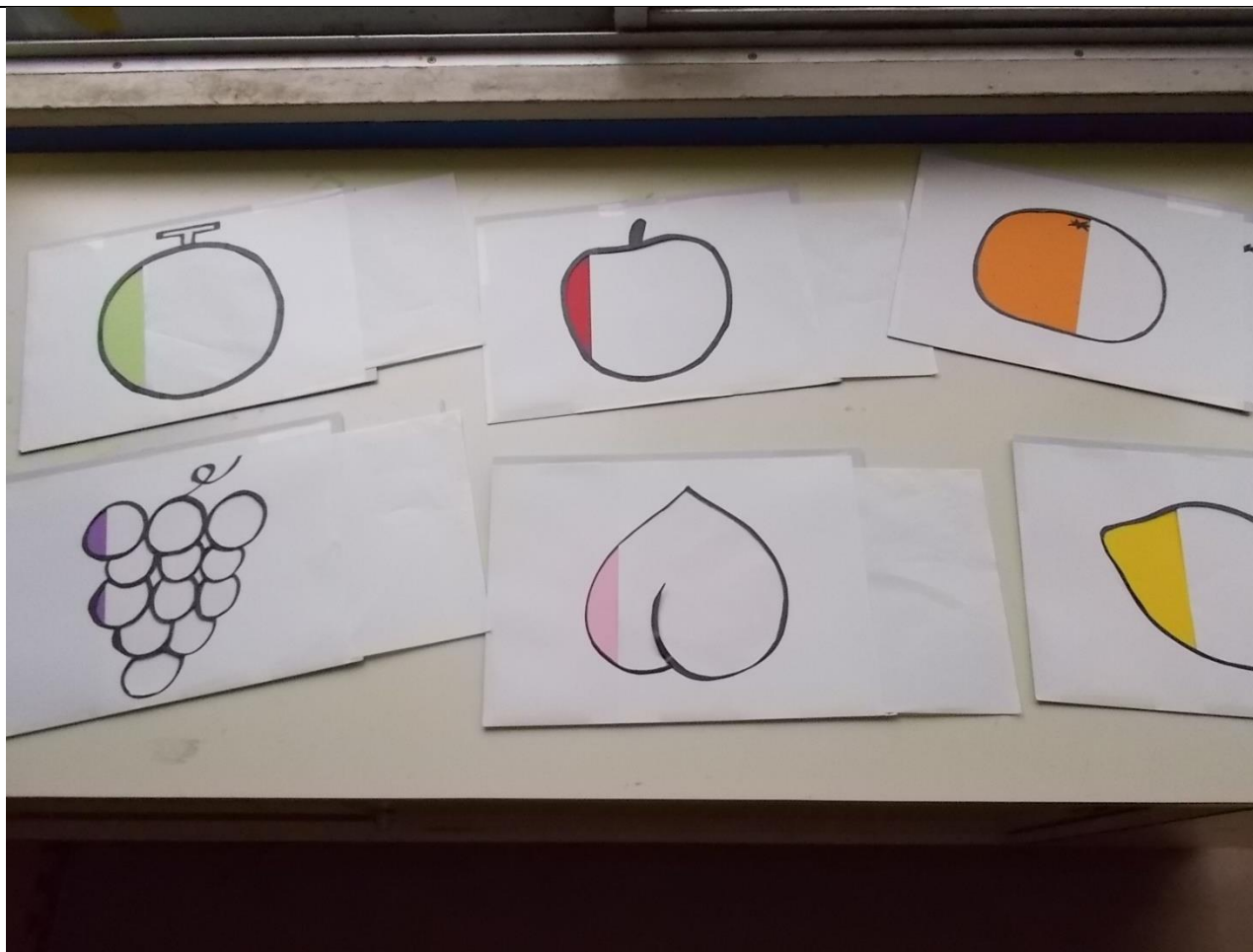
- ・ばななが飛んでいけるように、ばななの皮から本体を取れるようにした。

<効果>

- ・立体的にしてお話の中から飛び出るようにすることで、児童の注目度や意欲が増した。

教材教具名	いろいろたペープサート	分類	教科
		授業名	図工 色あそび（導入）（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・果物の色が出てくる様子に注目することができる。 ・色の名前を言うことができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・いろいろたを歌ったり曲を流したりしながら白い紙を抜き、果物の色が出てくる様子に注目させるようにする。

<材料>

- ・板目紙・色画用紙

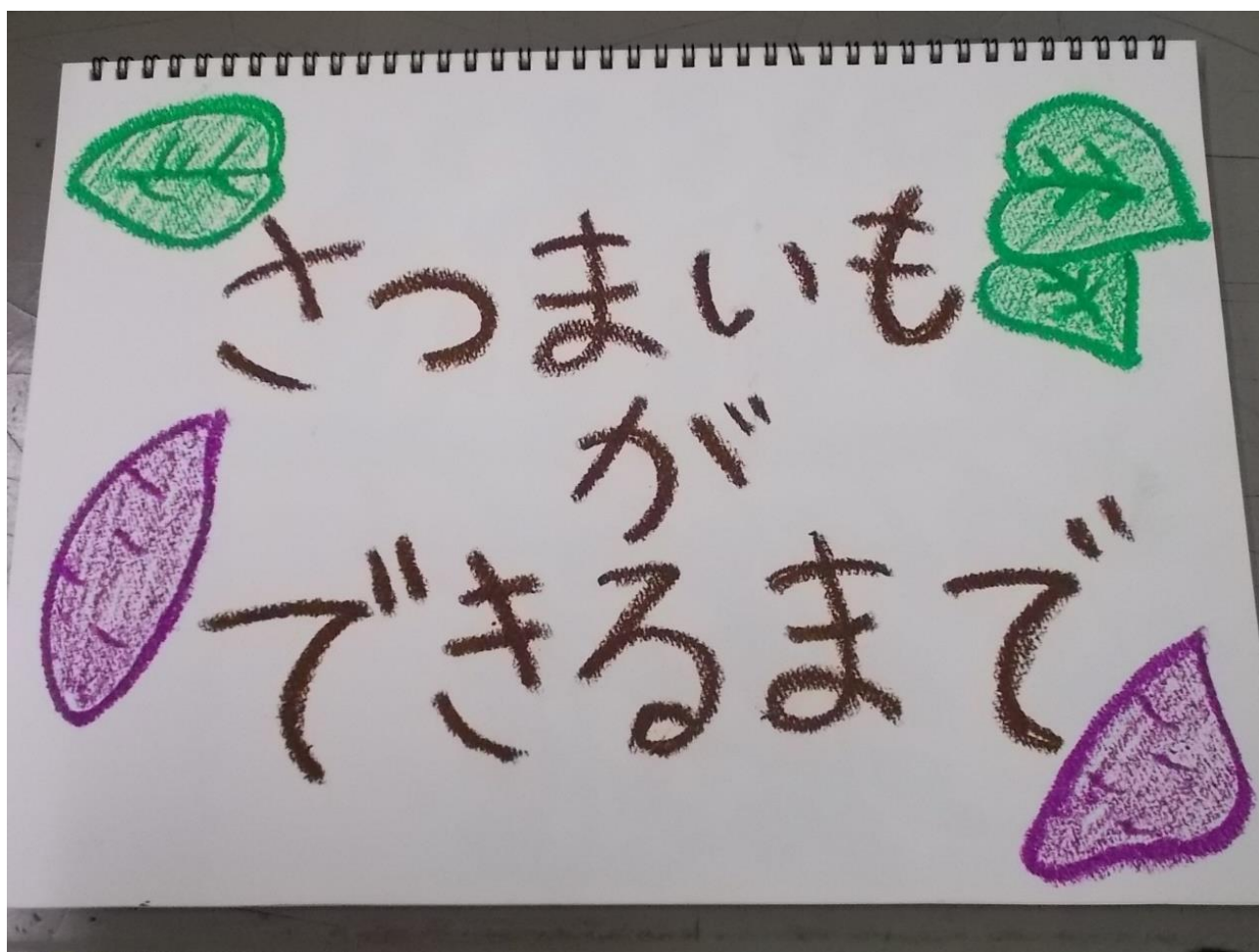
<工夫点>

<効果>

- ・果物の色が出てくる様子に注目していた。
- ・途中で「りんごは…？」と児童の反応を待つと「あか」など、いくつかの色を答えることができた。

教材教員名	やさいのそだてかた ～さつまいも、とまと編～	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・土の中に植えることが分かる。 ・土と太陽と水の力で育っていく様子が分かる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・園芸の授業の導入で使用する。実際の苗も見せながら使うとつながりやすい。
- ・スケッチブックシアターの要領でめくって見せる。

<材料>

- ・スケッチブック、クレヨン

<工夫点>

- ・太陽と水をページを分けてめくることで注目できるようにした。

<効果>

- ・苗の状態だと“何ができるのか”が分かりにくいので、土に植えることで何の作物がなるのか見通しをもつことができる。

教材教員名	ホットケーキを作ろう ～たまご編～	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・ホットケーキ作りのごっこ遊びをすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

・ひもに手をかけて、たまごを持って引っ張ることでたまごを割る。慣れてきたらひもがないたまごで行う。

※たまごを割る前に机にトントン!とたたいてから割るとよりリアル☆

※実際の授業の流れ

①たまごを割る②牛乳(空牛乳パック+白ひも)③粉(ホットケーキミックス空袋+シュレッダー)④まぜる
⑤焼く(おもちゃフライパン+絵具入り洗濯のり)⑥鑑賞

<材料>

・スライム入りたまご(セリア)、洗濯ネット、フェルト(黄色)、ホールケーキ型紙、折り紙

<工夫点>

・たまごにひもをつけた。

<効果>

・実際の調理も同じ工程で行ったことで、見通しを持って活動することができた。

教材教具名	どんぐりころころ まつぼっくりころころ	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・木の実の転がる様子を楽しみ遊ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・どんぐりや木の实を入れ、転がす。

<材料>

- ・ペットボトル、結束バンド、板

<工夫点>

- ・転がる様子が見えるように筒は透明のもので作った。
- ・たくさんのどんぐりを一気に入れる、一粒ずつ入れるなど入れ方を工夫できるように入れる場所を複数個用意した。

<効果>

- ・転がる木の实が途中で止まったり、筒から外れて落ちたりすることもあったが、児童が工夫して遊んでいた。

教材教具名	ミトンテニス	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールとの距離感や、ラケットの面を意識してボールを打つ。 ・テニスの事前学習で打つ感覚をつかむ。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・利き手にはめて、スポンジボールを打つ。

<材料>

- ・ジョイントマット2枚、テグス。

<工夫点>

- ・柔らかく軽い素材で屋内でも使用できるように工夫した。

<効果>

- ・ボールとの距離を自分で動いて打てる生徒が増えた。
- ・屋内ゲームを通じてラリーを楽しめるようになってきた。

教材教員名	ターゲットテニス	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスでボールを勢いよく打つ事を楽しむ。 ・点数をつける事でねらって打つ意識を持たせる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・エンドライン上に置き、教員の球出しやサーブをレシーブしてネット及び得点版を狙わせる。

<材料>

- ・防球ネット、養生テープ、得点版4枚、鈴4個、ミニフープ1個。

<工夫点>

- ・鈴をつけ、ネットにボールが触れた際に音を出す事で聴覚的にも実感を持たせた事。

<効果>

- ・ネットに届かせようと、ラケットを勢いよく振れる生徒が増えてきた。
- ・点数を出し競う事でテニスの楽しさに触れる機会を増やす事ができた。

教材教具名	雪だるま 鏡餅 手順書	分類	教科
		授業名	美術（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って取り組む。 ・手順を確認しながら一人で制作を進める。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手順を確認する。

<材料>

- ・新聞紙、排水溝ネット、セロテープ、和紙、のり、フェルト、スパンコール。

<工夫点>

- ・生徒が自分の力で制作に取り組みやすい材料の使用。

<効果>

- ・教員に質問をする前に、自分で手順を確認することができる。

教材教員名	キャップ移しの自助具	分類	教科
		授業名	作業（リサイクル班）
ねらい	・キャップ移し作業の“操作と結果”を明確にし、理解して操作を行う。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・桶にキャップを入れてセットする（教員）。
- ・桶のバーを持って傾け、キャップをバケツに移す。

<材料>

- ・桶、バケツ、木材、プラダン

<工夫点>

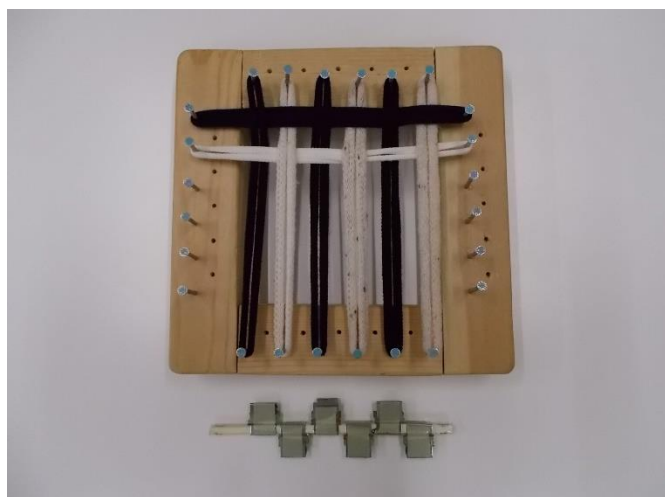
- ・桶とバケツのサイズを合わせてぴったりはまるようにした。
- ・バケツの持ち手を斜めに切った木材に固定することで最低限の加工で済むようにした。

<効果>

- ・全介助でキャップ移しを行っていた生徒が、自分で操作をして作業をすることができるようになった。

教材教具名	靴下コースター用 そうこう	分類	教科
		授業名	校内実習（高等部）
ねらい	・コースターを編むときに、横糸の通し方をわかりやすく示す		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・靴下コースターの枠を載せ、回転させながら使う。

<材料>

- ・割り箸、ガチャ玉、養生テープ

<工夫点>

- ・だれでも簡単に作れる方法を模索した。
- ・端にシールを貼って、向きの変化をわかりやすくした。

<効果>

- ・縦糸の上下はあまり段差がつかなかったが、好きな色の構成で作りたい生徒が、通し方を間違えないように使っていた。

教材教員名	ビニールロケット発射台	分類	教科
		授業名	理科 ビニールロケットをとばそう (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 空気ので、物が動くことがわかる。 • 空気のがさが変わると、物が動く様子も変わることに気付く。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 発射筒にビニールロケットをセットし、反対側にあるひもを引っ張り、手を放す。手でひもを離すことが難しい生徒は、ひっかけを使用する。握りの部分を引っ張ると、ある程度のところで外れるようになっている。

<材料>

- ダンボール、筒、ビニールテープ、ビニール袋、ひも

<工夫点>

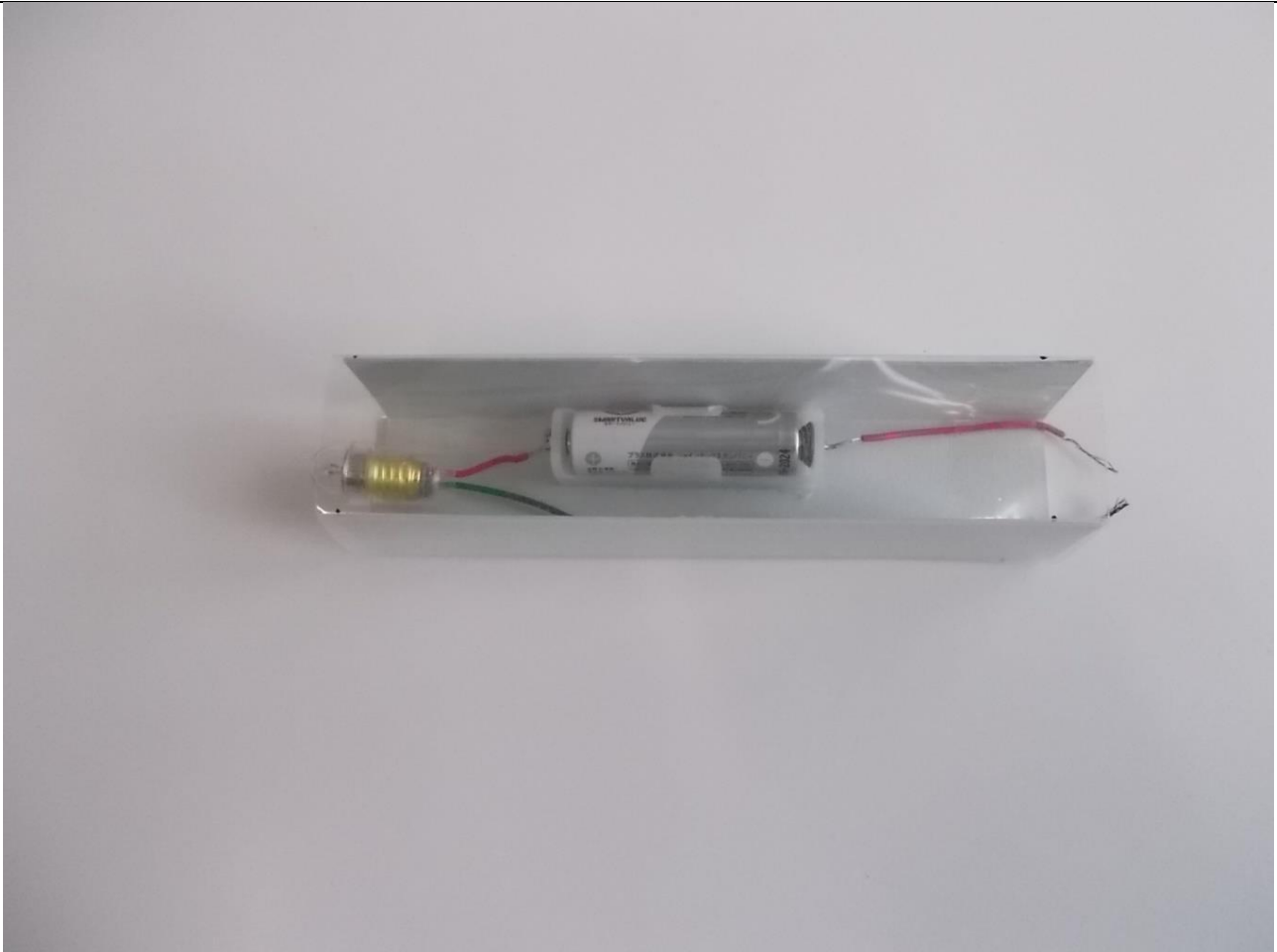
- 手でひもを離せない生徒も、ビニールロケットを飛ばすことができる点。

<効果>

- 参加者全員がビニールロケットを飛ばすことができる。

教材教具名	電気チェッカー	分類	教科
		授業名	理科 電気を通すものを探す (中学部)
ねらい	・電気を通すものを身近な物の中から探すことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・導線の部分に物を置き、電気が通るか調べる。

<材料>

- ・導線、豆電球、電池、電池ボックス、画用紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

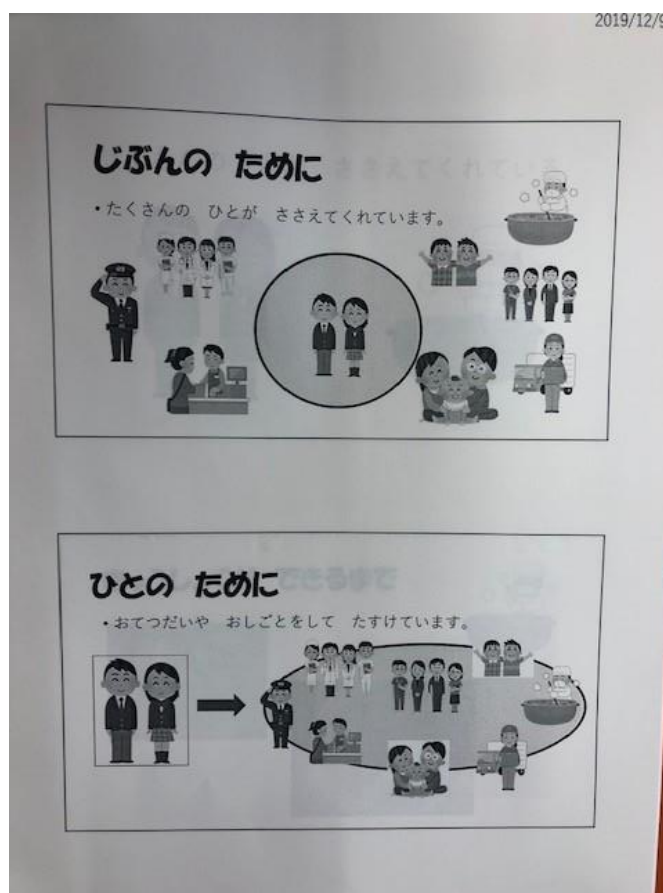
- ・生徒が力を入れすぎて壊れないように画用紙とラミネートフィルムでカバーした。
- ・中身は見えるようにしたかったため、ラミネートフィルムを使用した。

<効果>

- ・生徒がいろいろなものを自発的に置き、豆電球を見て、一人で結果を確認することができるようになった。

教材教員名	お仕事・お手伝いについて	分類	教科
		授業名	家庭生活（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 人のお世話になっていること、自分が人のためになっていることをイメージする。 • 身近な仕事をしている人の様子を知る。 • 仕事・お手伝いをすると報酬があることをイメージする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- テレビに大きく映して、説明しながらスライドショーをする。

<材料>

- フリー画像・調理員さん等の写真

<工夫点>

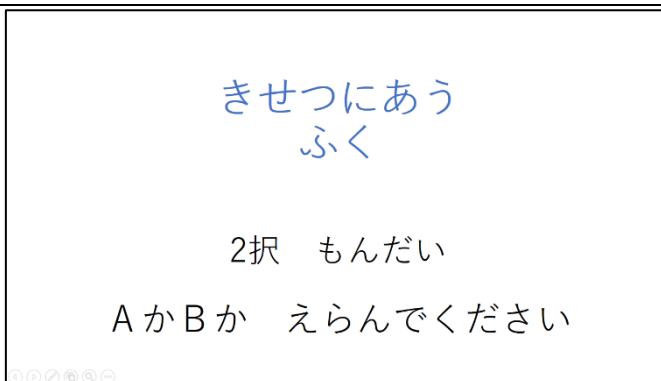
- イラストで自分と他の人の関係をイメージしやすくした。
- 栄養士さんの協力を得て、調理員さん等の仕事の写真を使用した。
- 具体的なイラストと掃除、報酬の流れを繰り返すことで報酬をイメージできるようにした。

<効果>


- 3回授業で、お手伝いと報酬の流れ繰り返すことで、活動にスムーズにのれるようになった。

教材教員名	パワーポイント きせつにあうふく	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら季節に合う服装を学習する。		


教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



あたたかい ふくはどっち？



A マフラーあり



B マフラーなし

あたたかい くうきが かぜでとばないように ふたをするのは どっち？



A モフモフセーター



B ウィンドブレーカー

ここからは きおんにあうふくを えらびましょう

②
10℃
くもり



<使用方法>

- ・各自が A と B の札を持ち、クイズに答える。アニメーション効果でクイズの答えや空気の逃げる方向を出しながら学習する。
- ・あわせて実物の洋服を選んでコーディネートしたり、温度計のプリントで確認した。

<材料>

- ・パワーポイント、A と B の札、いろんな季節の洋服、温度計のプリント

<工夫点>

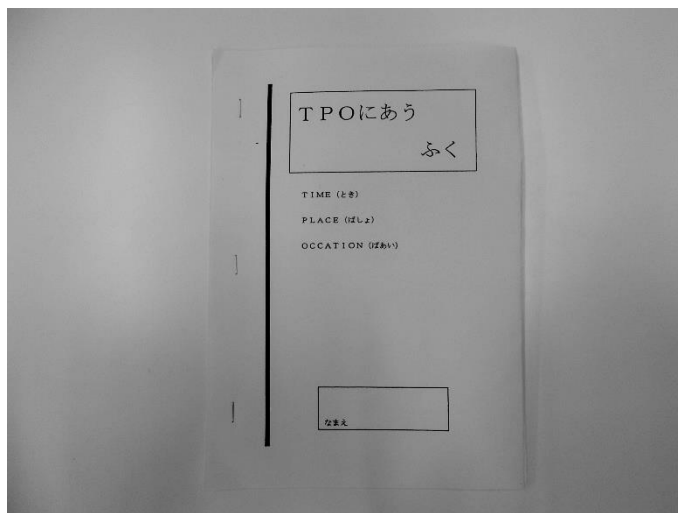
- ・一人ひとりの生徒が考え、活動できるようにした。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教具名	着せ替えノート	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・TPOにあった服装を楽しみながら学習する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色塗り→とじこみ→はさみカット→ページをめくって組み合わせを確認

<材料>

- ・紙

<工夫点>

- ・塗り絵をして楽しめるように考えた。
- ・最後のページは自分で顔を書いて塗るようにした。

<効果>

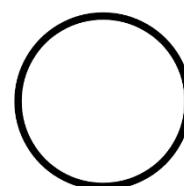
- ・自分で顔を書き込むページを楽しんで塗ってくれる生徒がいた。

教材教員名	パワーポイント 実習のみだしなみクイズ	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら実習にふさわしい服装やみだしなみを学習する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）

じっしゅうの
みだしなみ
○×クイズ

かおを あらった



ひげが はえている



<使用方法>

- ・各自が○と×の札を持ち、クイズに答える。あわせて同じ内容をプリントで確認した。

<材料>

- ・パワーポイント、○と×の札、クイズの確認のプリント

<工夫点>


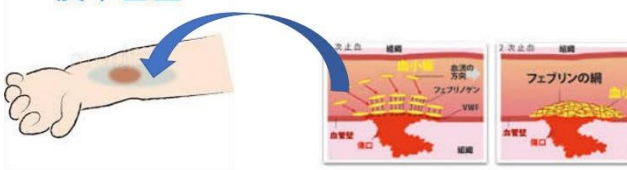


- ・一人ひとりが活動できるようにした。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教員名	パワーポイント 怪我の手当て	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら怪我の種類や手当てを学習する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）

<p>①だぼく（うちみ）</p> 	<p>①だぼく のしくみ</p> <p>皮下出血</p> 
<p>クイズ すりきずなのであてでいちばんにするのは？</p> <p>☆ばんそこうやガーゼ ☆みずであらう ☆しょうどく</p> 	<p>クイズ きりきずなのであてでいちばんにするのは？</p> <p>☆ばんそこうやガーゼ ☆みずであらう ☆ちをとめる ☆しょうどく</p> 

<使用方法>

- ・各自が A と B の札を持ち、クイズに答える。アニメーション効果で怪我の症状名やクイズの答えやを出しながら学習する。あわせて実物の消毒液等で教員の腕を手当てして学習した。

<材料>

- ・パワーポイント、A と B の札、保冷剤、シップ、消毒液、ガーゼ、テープ等

<工夫点>


- ・実際に生徒の身に起きている怪我をとりあげた。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教員名	パワーポイント 調子が悪い時、伝えよう	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・不調を伝える表現を学習する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）

<p>ちょうしがわるいとき つたえよう</p> 	
 <p>あたまが いたいです</p>	 <p>かなしくて げんきができません</p>

<使用方法>

- ・不調を表す絵を見て考えてから、アニメーション効果で絵にあう言葉を出す。

<材料>

- ・パワーポイント

<工夫点>

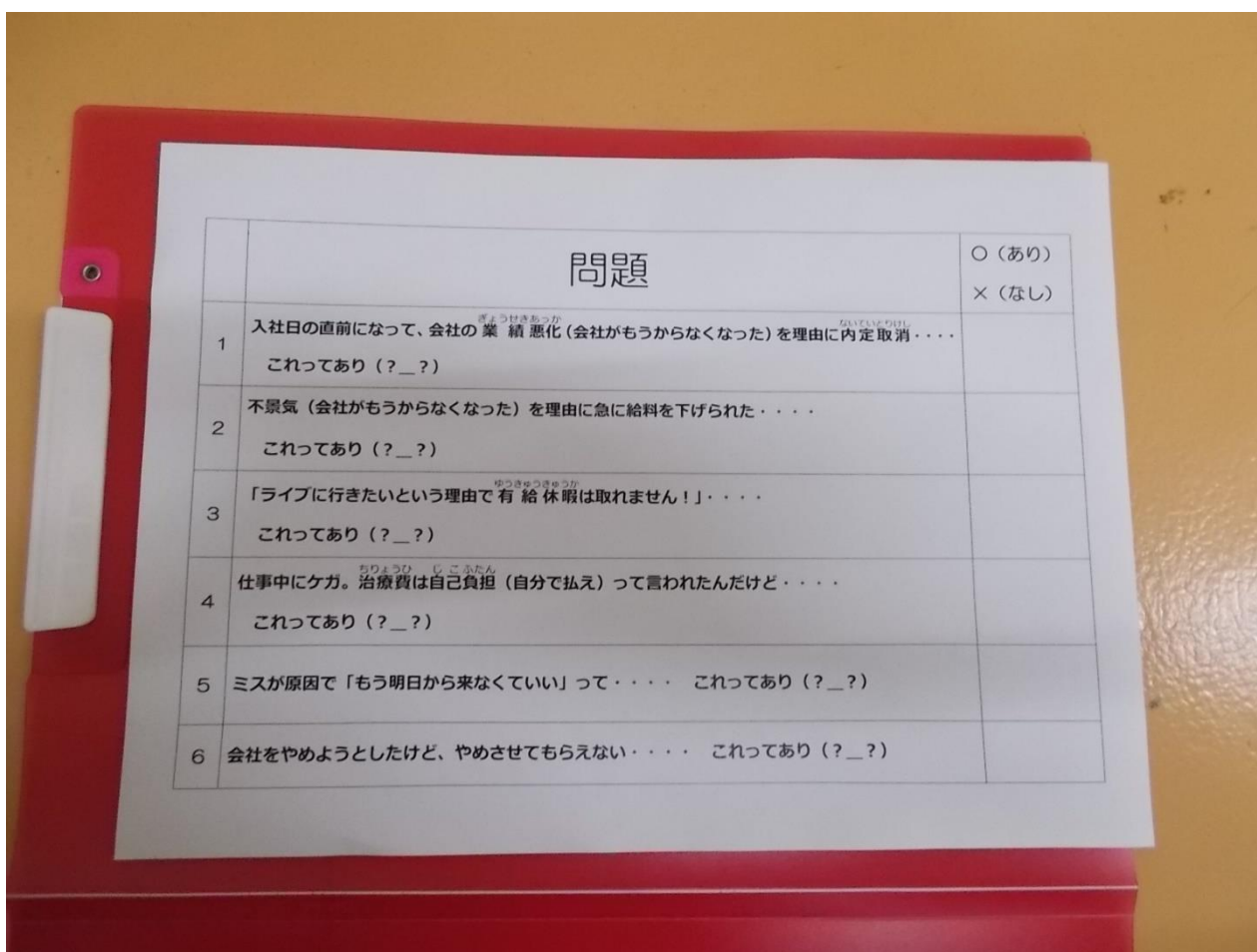
- ・一人ひとりの生徒が考えるようにした。
- ・日常の中で訴えることができなかった怪我をとりあげた。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教員名	ワークルール学習 ワークシート	分類	教科
		授業名	生活総合 ワークルールを学ぼう (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後、被雇用者として働く中で、自分の権利を守る、また主張できるようにするため、労働法規の基礎を身に付けさせる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

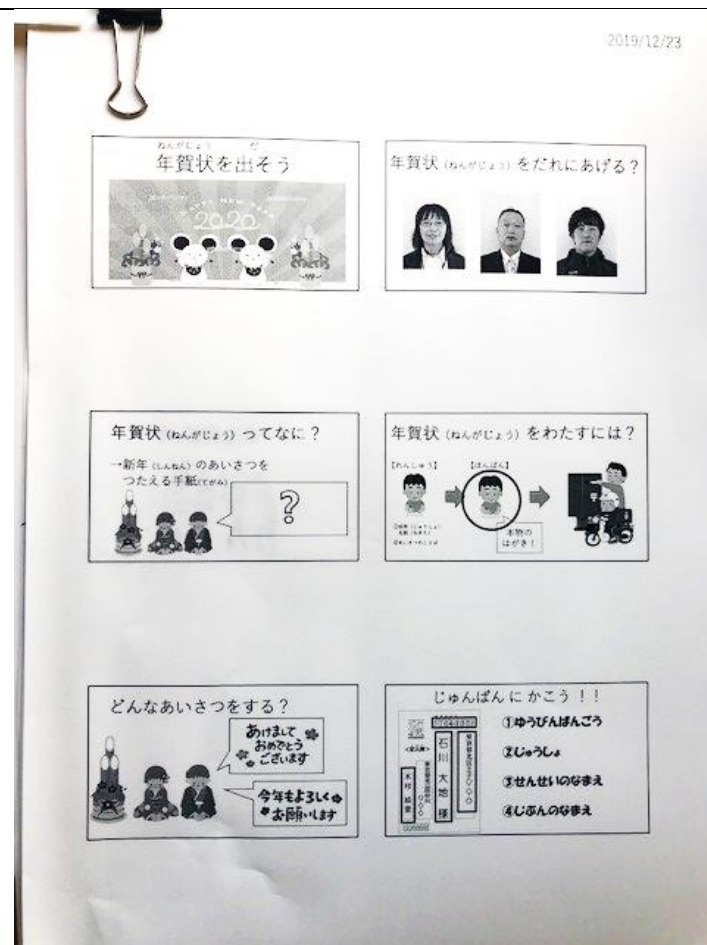
- 授業の中で手持ちのプリントとして使用する。
- クイズ形式なので生徒にとっては取組みやすい。
- 答えが全て、×（なし）なので、特別支援学校の生徒にとって分かりやすい。

<効果>

- 一回だけでは知識の定着は困難だと思われるが、この授業をきっかけに自分が苦しい立場の時に、周りの大人（保護者、出身校の教員、支援機関の職員等）に相談するきっかけになるとよい。

教材教員名	年賀状を書こう	分類	教科
		授業名	生活総合 国語（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 年賀状を相手に贈ることを意識する。 宛名や新年のあいさつを正しく書く。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・パワーポイントの資料を見ながら説明を聞き、年賀状の意味と学習の流れを確認する。
- ・見本をもとに漢字で宛名を書く練習を行う。
- ・はがきサイズの紙に漢字で宛名を書く練習を行う。

<材料>

- ・パワーポイント資料、宛名の漢字練習表、実際のはがきサイズの枠

<工夫点>

- ・まず、実際のはがきサイズよりも大きな枠で漢字練習を行ってから、実際のはがきサイズに移行することで漢字の形に慣れてから記入に臨むことができる。
- ・年賀状は贈るものということを意識できるように贈る相手を毎時間確認し、生徒自身がPCをタッチすることで教員の写真が浮かび上がるようにアニメーションを付けた。

<効果>

- ・相手に送る意識は毎回確認したり、生徒自身がPCに触れる機会を作ったりすることで意識づけられた。
- ・漢字を大きく書いてから実際のサイズに移行したことで枠をはみだすことなく記入ができた。

教材教具名	個別課題ボックス (ワークシステム)	分類	学習システム
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 課題が終わるごとに「できました」と報告することができる。 • 見通しを持って活動することができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 1から順番に取り組む。報告をすることでもらえるはなまるカードを課題ケースに付ける。

<材料>

- (課題ケース,) 台紙、はなまるカード、マジックテープ

<工夫点>

- はなまる (もしくは児童の好きなイラスト) を使用することで課題へのモチベーションを高められるようにした。

<効果>

- 「〇〇先生」と呼びかけ、「できました」と報告することができるようになった。できた課題にはなまるカードをつけることで評価が分かりやすく、達成感を感じているようだった。

教材教員名	ワークシステム	分類	学習システム
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・課題や見通しを分かりやすく提示する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・本日の課題についてシートで確認する。
- ・ボックスの上から順に課題に取り組む。
- ・課題を終えたら、シート上で一つずつ「おしまい」カードを貼る。
- ・すべて「おしまい」カードが貼られたら課題終了。

<材料>

- ・ボックス…2段カラーボックス（¥1,200-くらい）、A4 かが×6（¥660-）、ブックスタンド×4（¥440-） 計¥2,300-くらい

<工夫点>

- ・カラーボックスにも重いものと軽いものがあるので注意／角部分は安全に配慮。

<効果>

- ・壊れにくい

教材教具名	ワークシステム	分類	学習システム
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・自分で課題を取り出して取り組むことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色のカードを頼りに、次に行う課題を取り出す。

<材料>

- ・課題の箱、折り紙、クリアファイル

<工夫点>

- ・指の力が弱い生徒なので、マジックテープで貼る形ではなく、クリアファイルに入れる形にした。
- ・数の概念の理解はないので、色の区別で行えるようにした。

<効果>

- ・色のカードを入れて、課題の箱を出すことができた。

教材教員名	スイッチレバー (ミシン用)	分類	学習システム
		授業名	家庭 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 一人でミシンを動かす事ができる。 言葉かけを受けて「ON/OFF」ができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ミシン用のフットペダルを手で (机上で) 操作する。
- 手前に力がかかることで「ON」 / 手を離すことで「OFF」

<材料>

- フットペダル, 木材, 結束バンド, 両面テープ

<工夫点>

- 少しの力でもスイッチが入るように、ペダルよりもレバーの位置を長めに取りつけた。
- 握りやすくするため、上部は球場に、横は棒状に加工した。
- レバーが机上から落下しないようベニヤ板に固定し、その上にミシン本体を載せることで対応。

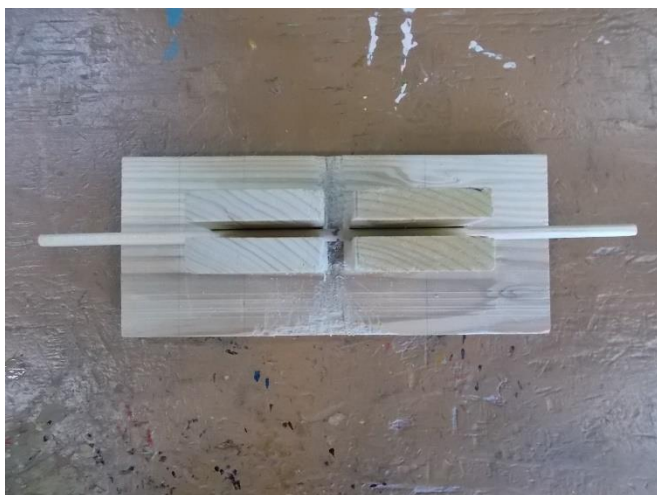
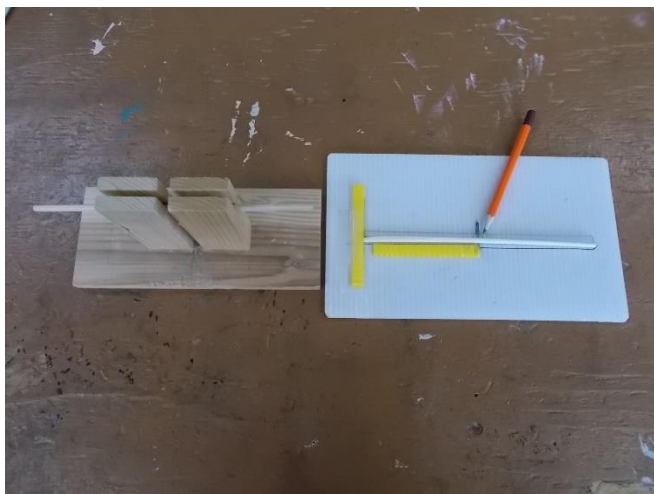
<効果>

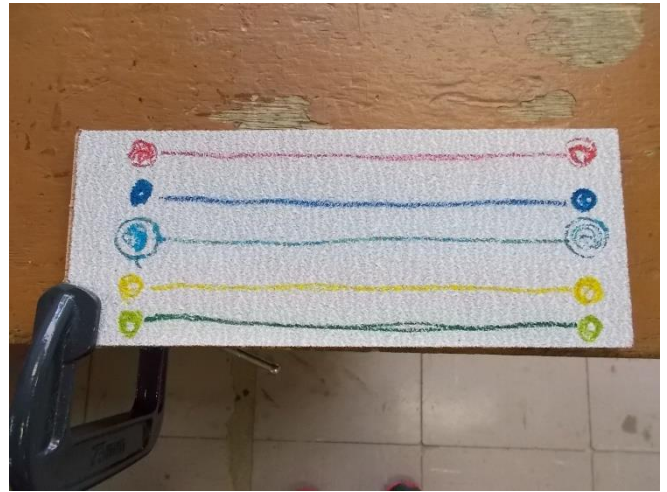
- 自分からレバーに手を伸ばす (興味・関心) 生徒が増えた。
- 「自分で動かしている」という感覚を経験することができた。

☆電化製品に対応するフットペダル (スイッチ) が既製品で販売されていることが分かった。
レバーを同じように加工して取り付けると、ミシン以外の電化製品にも対応できる。(と思われる。)

教材教具名	のこぎり支援教材 やすりがけ支援教材	分類	学習システム
		授業名	作業（木工）（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • のこぎりやすりがけの作業で、活動に見通しを持たせる。また、一人で行える活動部分を増やす。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）





<使用方法>

- 左手の抑えが難しい生徒は万力で固定して取り組ませる。左から材料を取って作業して右の箱に入れているなど、行った後に決められた箱に入れる手順ですべての活動をする。

<材料>

- のこぎり…廃材、プラ板、段ボール箱
- やすりがけ…ベニア板、マジック

<工夫点>

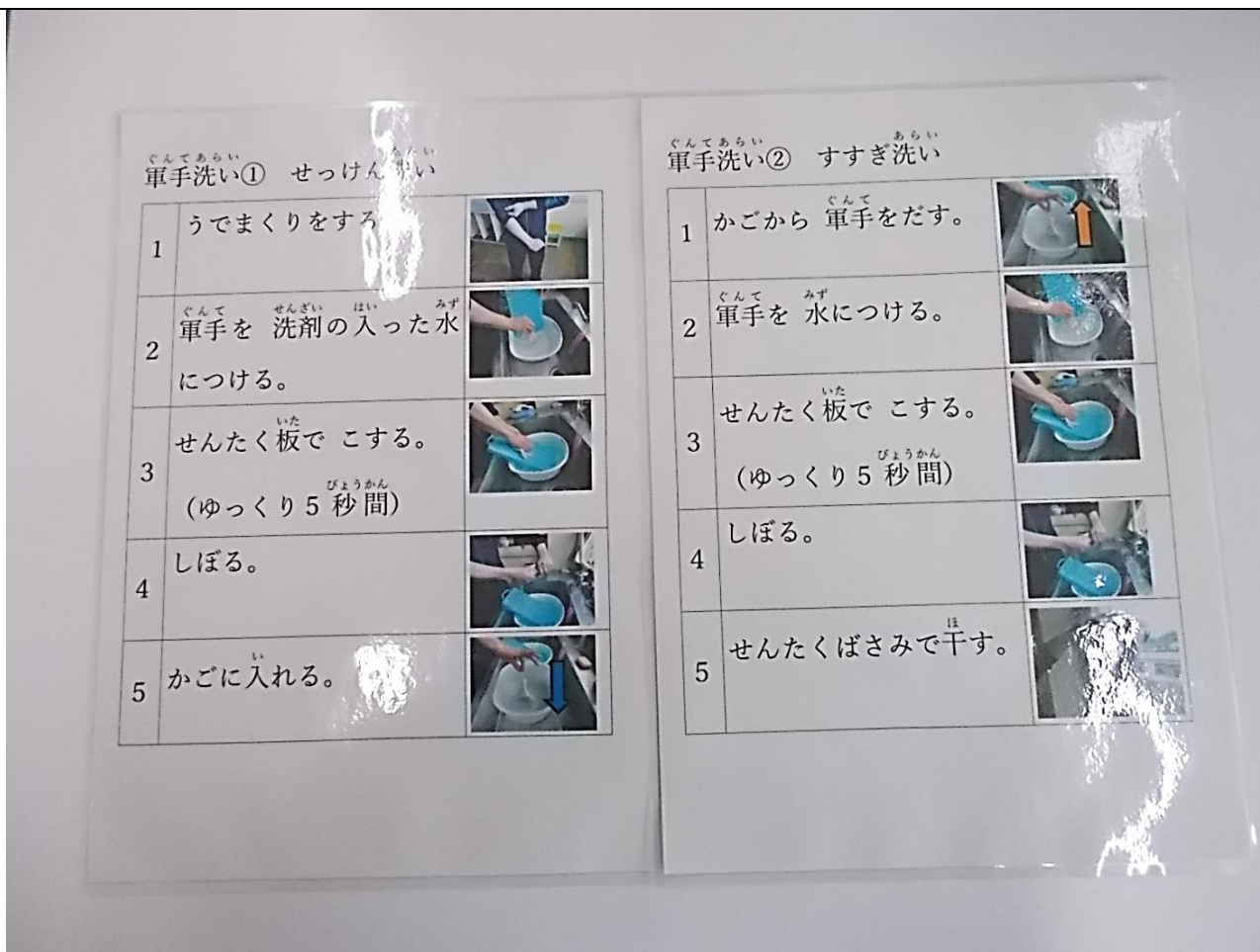
- 生徒がめざす段階によって、一人で行える活動を作るため2～3通りの支援教具を準備した。
- 行った後に決められた箱に入れるという手順を統一して、どの活動も行うようにした。

<効果>

支援教具を使うことによって、ひとりのできる活動が増えた。

教材教員名	軍手洗い手順表	分類	学習システム
		授業名	農園芸作業（中学部）
ねらい	・軍手の洗い方がわかるようにする。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・軍手を洗う際の説明時に使用。また、洗っている最中に見える場所に置く。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

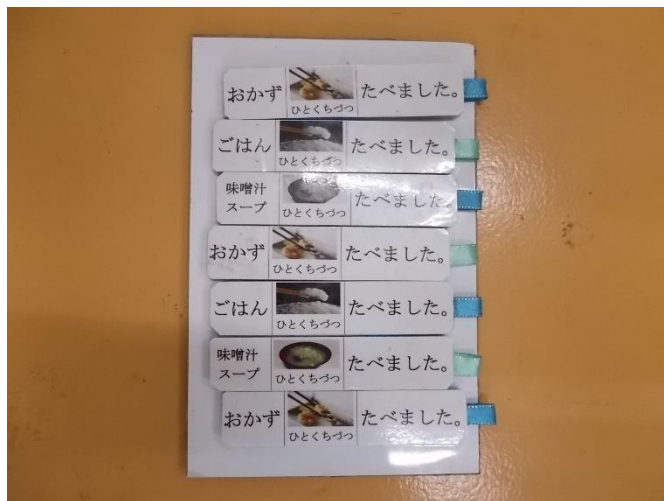
- ・農園芸作業は、急な天候の変化により、途中から室内での活動になる場合がある。そのため、残り時間の都合によっては「せっけん洗い」までしかできないこともあるため、あえて、2枚に分けている。

<効果>

手順書を見ながら作業を行うことができた。

教材教員名	イラスト付き手順カード	分類	学習システム
		授業名	日常生活
ねらい	・教員の言葉かけなしで着替えや歯磨きなどに取り組むことができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1～7まで順に着替えや歯磨きなどを行い、終わった順にカードを裏返していく。

<材料>

- ・カラーボード、ホワイトボード、児童の好きなキャラクター、マグネットシート、両面テープ、リボン

<工夫点>

- ・児童が意欲的に取り組めるように裏面のイラストは児童が好きなキャラクターを使用。
- ・めくりやすいように厚手のカラーボードやリボンを使用。

<効果>

- ・その都度言葉かけが必要だったが、教材を使用してからは言葉かけなしでも着替えられる時が増えた。
- ・途中で止まってしまった時も「めくってください。」と言葉かけするだけで再開できるようになった。

教材教具名	教室移動用写真カード	分類	学習システム
		授業名	教室移動時（小学部）
ねらい	・見通しを持って、ひとりで次の活動場所へ移動することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・次に行く場所の写真カードを対象児童に手渡す。
- ・移動先の教室にある、ポケットに渡されたカードを入れる。

<材料>

- ・写真、粘着シート付パネル、面テープ

<工夫点>

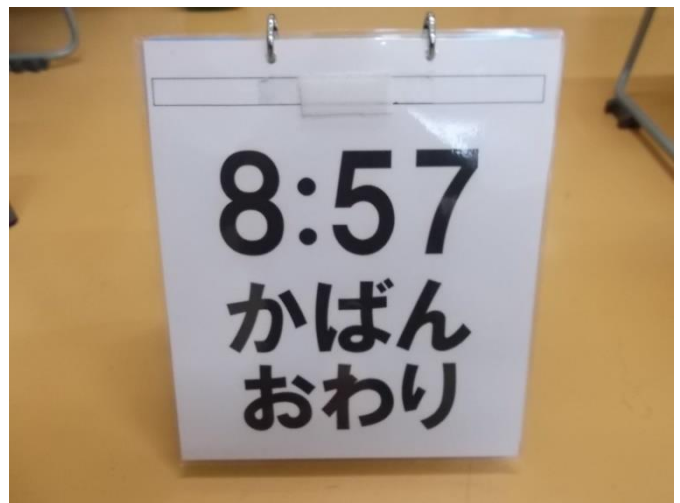
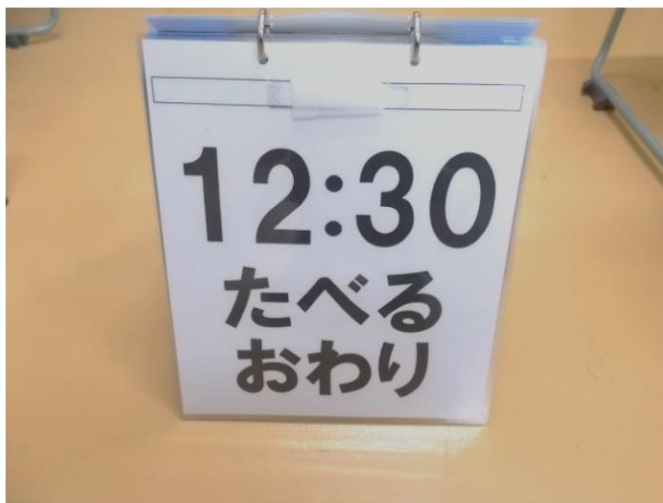
- ・児童が持ちやすい大きさ、厚さにした。

<効果>

- ・言葉かけの指示では混乱することが多かった児童が、写真カードを媒体とすることで理解が容易になり自発的に動くことができるようになった。

教材教員名	スケジュールカード	分類	学習システム
		授業名	日常生活全般（高等部）
ねらい	・活動や時間の見通しをもつ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・活動の際にカードを提示して、活動の終わりの時間を伝える。

<材料>

- ・ラミネートしたカード、ファイル

<工夫点>

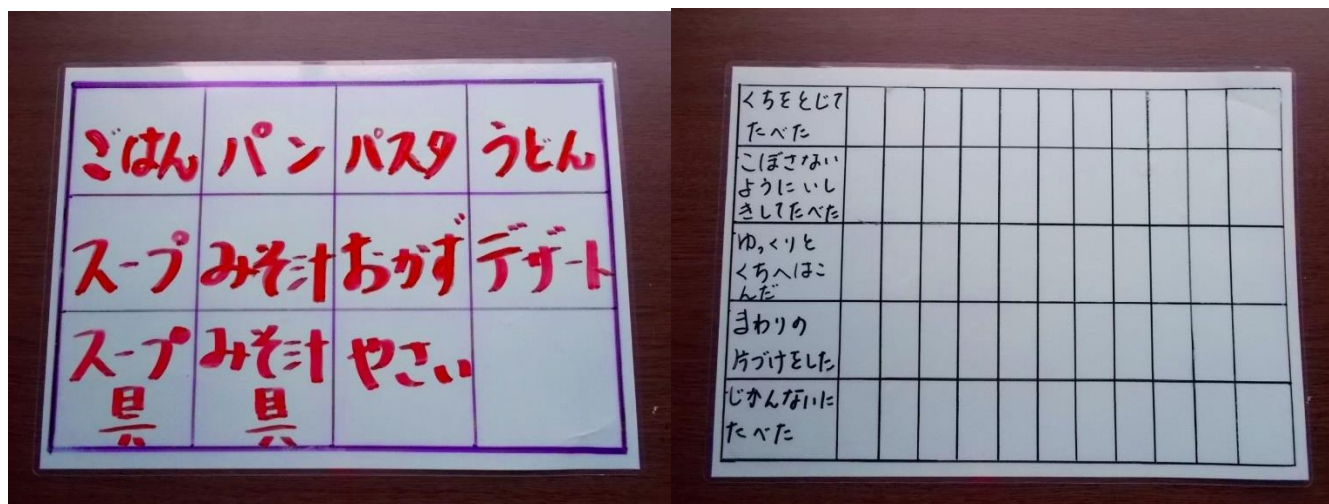
- ・めくりタイプにすることで見やすい場所に置くことができる。

<効果>

- ・見通しが持てることで、行動がスムーズになる。

教材教具名	コミュニケーションボード	分類	コミュニケーション
		授業名	給食（高等部）
ねらい	・給食時に取り分けてほしいものを介助者へ確実に伝えられる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・食事時にそばに置き、取り分けてほしいものを指さす。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

- ・指さしやすいように大きめに作った。

<効果>

- ・ほしいものを口頭で伝えようとしてむせてしまうことが減り、本人の意思が伝わりやすくなったことで食事の時のコミュニケーションが円滑になった。

教材教具名	コミュニケーションボード	分類	コミュニケーション
		授業名	日常生活、給食（小学部）
ねらい	・カードを使い適切にコミュニケーションが取れる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・カードの1枚出しから練習し、徐々に文章につなげていく。

<材料>

- ・ファイル（小）、マジックテープ、絵や写真カード

<工夫点>

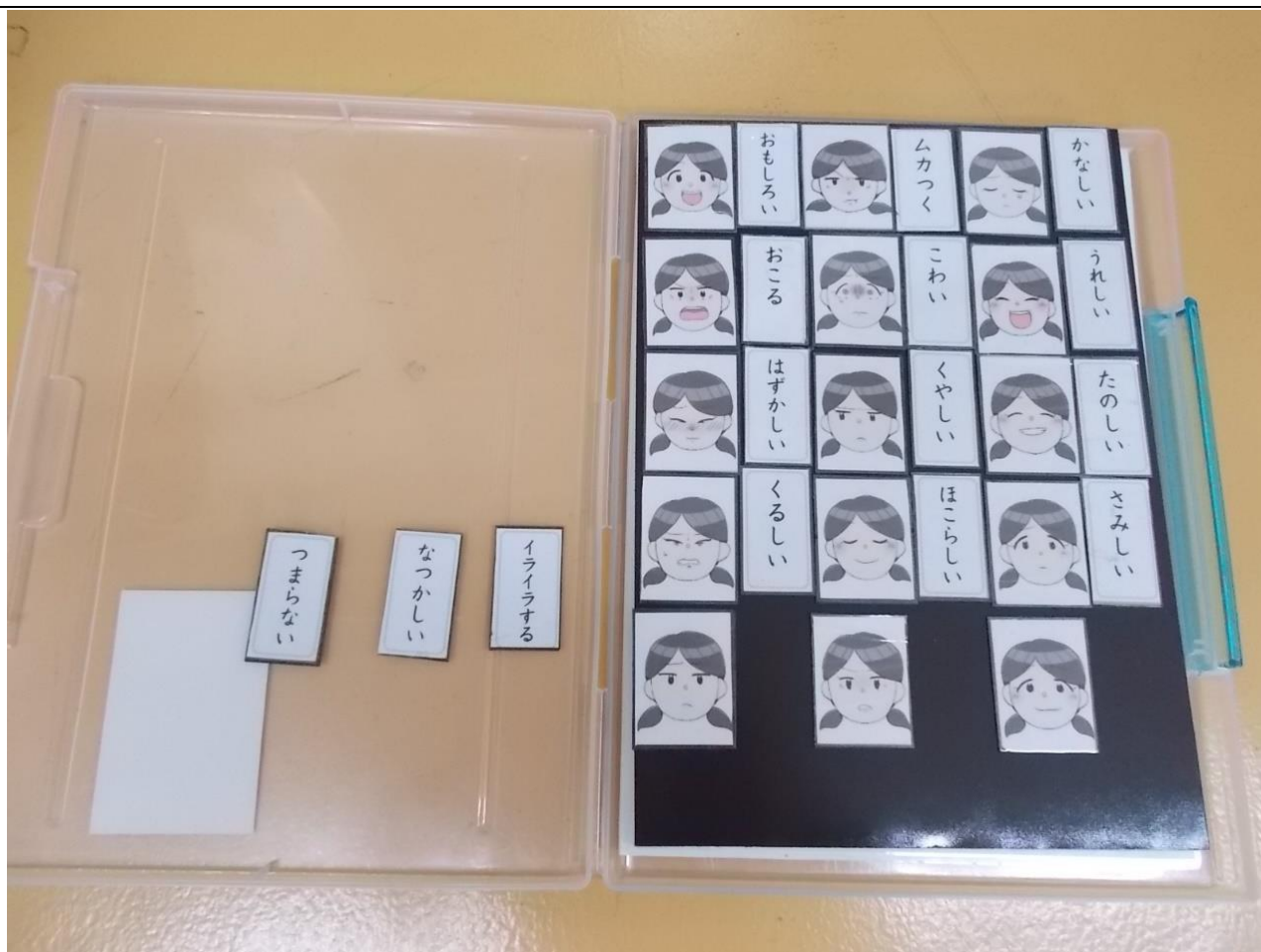
- ・他の子のカードと区別が必要な児童には、カードの淵の色を変えて自分カードがわかるようにした。

<効果>

- ・児童自ら適切に要求ができるようになった。

教材教具名	気持ちカード	分類	コミュニケーション
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	・表情と気持ちの理解。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・表情カードを提示して、ことばカードを選んだり、ことばカードを提示して表情カードを選んだりしてマッチングしていく。

<材料>

- ・マグネットシート、ラミネートしたカード

<工夫点>

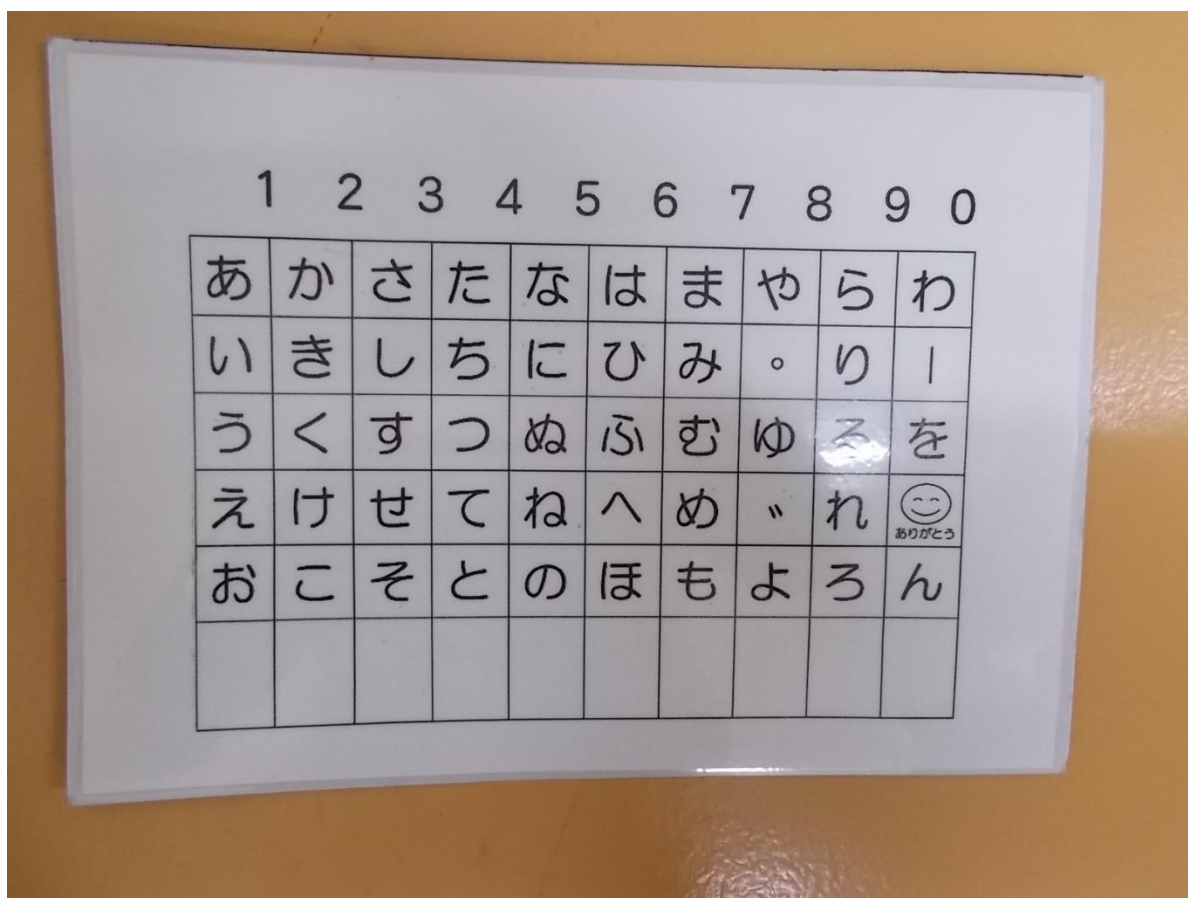
- ・カードタイプにすることで、繰り返し学習ができる。

<効果>

- ・表情と気持ちの理解につなげる。

教材教具名	50音ボード	分類	コミュニケーション
		授業名	いつでも
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 相手が聞き取りにくい言葉を指差して伝えることでコミュニケーションをスムーズにする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 発音が不明瞭で相手に伝わらないときに指差しをして伝える。

<材料>

- ラミネートフィルム、50音表

<工夫点>

- 数字も入れた。

<効果>

- 相手に伝わらずにイライラしたり、落ち込んだりすることが減った。

教材教具名	フィット椅子	分類	その他
		授業名	日常生活
ねらい	・ 挟まる刺激を感じながら落ち着いて座って過ごす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ 休み時間や授業の待ち時間に使用。

<材料>

- ・ ベニヤ、木材、プラダンボール

<工夫点>

- ・ 椅子の転倒防止にベニヤに固定した。

<効果>

- ・ 落ち着かず走り回っていた児童が、この椅子があることで落ち着いて過ごすことができた。

教材教具名	ペットボトル (水時計)	分類	その他
		授業名	日常生活 (小学部)
ねらい	・心の安定 (過ごしグッズの一種)		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・噛む、振る、ひっくり返す (ひっくり返して水の滴りを楽しむ)

<材料>

- ・硬めのペットボトル、ジョイント (塩ビ管+ビニールテープ)

<工夫点>

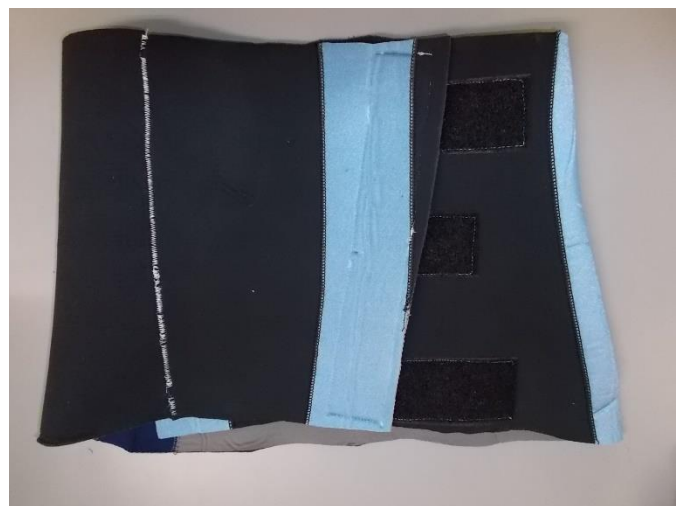
- ・ジョイントがないとこぼれてしまいます。

<効果>

- ・何も用意していないときと比べると、イライラ (の結果他害する) が緩和されている印象があります。

教材教員名	圧迫グッズ	分類	その他
		授業名	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹に圧迫刺激を入れ、感覚の欲求を満たす。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・腹部に巻いて、体幹に圧迫刺激を入れる。

<材料>

- ・マジックテープ
- ・中古のウエットスーツ

<工夫点>

- ・中古のウエットスーツを使用し、数百円で作成することができた。

<効果>

- ・感覚グッズとして、気に入って使用することができた。

教材教具名	キャスターカー	分類	その他
		授業名	
ねらい	・遊びながら足首を動かす運動を行う。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・キャスターカーに乗って、足で蹴り移動して遊ぶ。

<材料>

- ・キャスター ・ベニア ・ガムテープ ・牛乳パック ・持ち手

<工夫点>

- ・児童の身体の大きさに合わせ、蹴りだしやすい大きさを作成した。
- ・回転式のキャスターを使うことで、足で自由に方向を変えられるようにした。

<効果>

- ・好んで乗ることで、足首を動かす機会を作ることができた。

教材教具名	ブローイング ホース	分類	その他
		授業名	自立活動
ねらい	・ブローイングの練習		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ボールを中に入れ、吹く。
- ・強く吹く練習・・・ボールを飛ばさせる。
- ・呼気の調節の練習・・・ボールを落とさないように、決められた位置までボールを移動させる。

<材料>

- ・園芸用ホース ・発泡スチロール球

<工夫点>

- ・ボールが見えるように透明のホースを使用した。

<効果>

吹くこととボールが動くことにつながりがわかりやすく、吹く動きを引き出すことができた。

教材教員名	ピストル型スプーン	分類	その他
		授業名	給食指導
ねらい	・3指持ちをやりやすくし、操作が微細にできるようにする。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・食事の時間、または個別課題等の時間でのすくう練習に使用する。

<材料>

- ・スプーン ・自由樹脂

<工夫点>

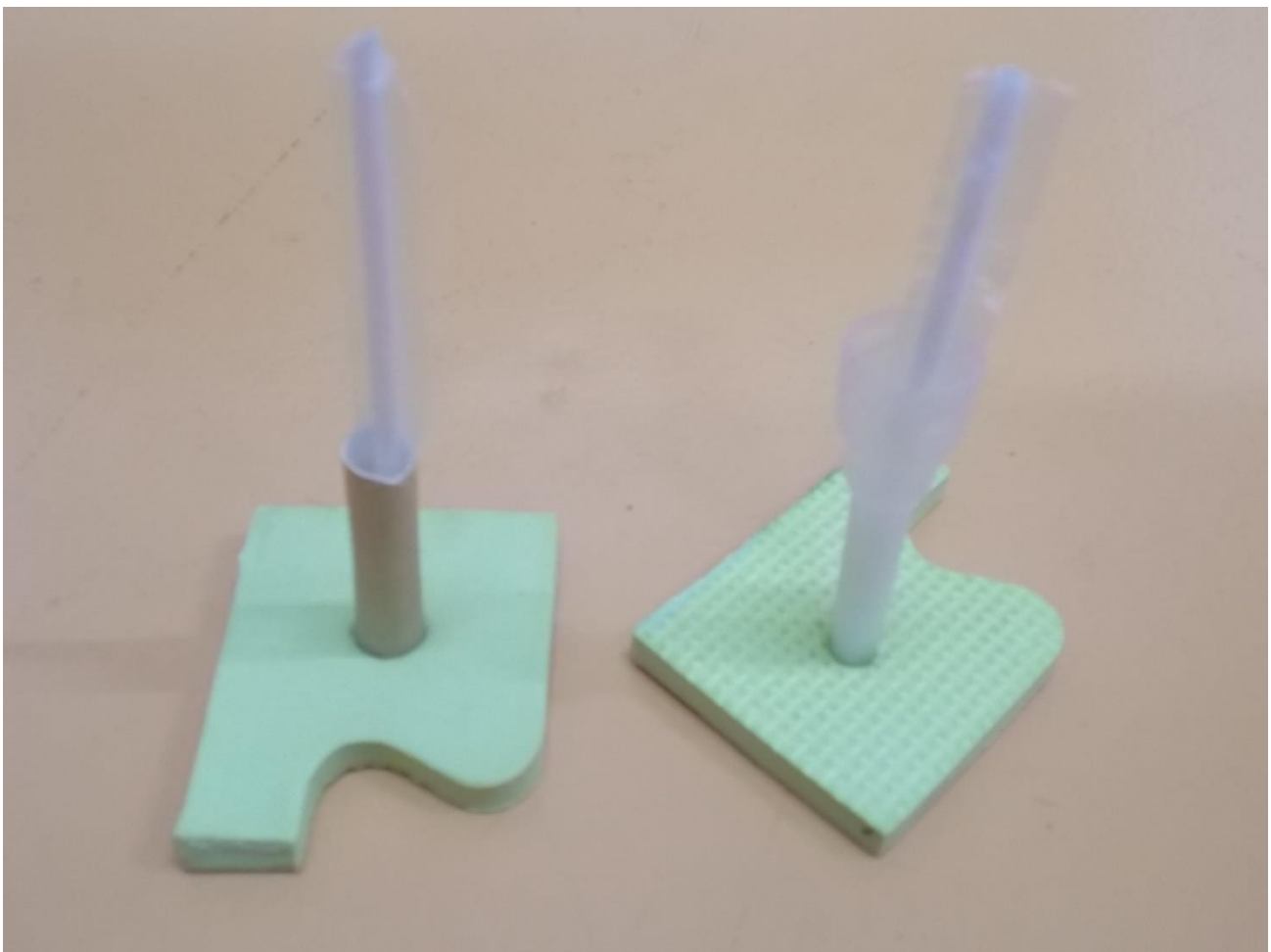
- ・児童の手の大きさや、できる動きに合わせて持ち手を作成した。

<効果>

- ・3指持ちが安定しすくい操作が細やかになり、こぼしが少なくなった。

教材教具名	ストローの袋開け	分類	その他
		授業名	給食
ねらい	・給食のストローの袋を自分で開けられるようにする		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・筒の穴にストローを押し込む。
- ・押し込むことでストローのビニールに穴が開き、取り出すことができる。

<材料>

- ・フロアマット、筒

<工夫点>

- ・ストローのメーカーによって袋の開けやすさが異なり、開けにくいタイプのものに対応するため作成した。

<効果>

ひとりでストローの袋をあけることができた。

教材教員名	ざらざらの下敷	分類	その他
		授業名	
ねらい	・筆圧を高めて、じっくり運筆をする		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・紙やノートの下に下敷を敷く

<材料>

- ・下敷 or ファイル ・紙やすり

<工夫点>

- ・カラフルな紙やすりを使用することで可愛くした。

<効果>

- ・筆圧の弱い生徒・児童が使用。紙やすりの抵抗を感じることで、鉛筆をゆっくり動かすことができた。

教材教具名	移動式パーテーション	分類	その他
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・視覚的環境を整えることで、課題に集中させる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・国数の個別課題の際に気が散りやすい方向にパーテーションを置く。授業のはじめと終わりに出し入れする。

<材料>

- ・段ボール ・プラ板 ・ガムテープ

<工夫点>

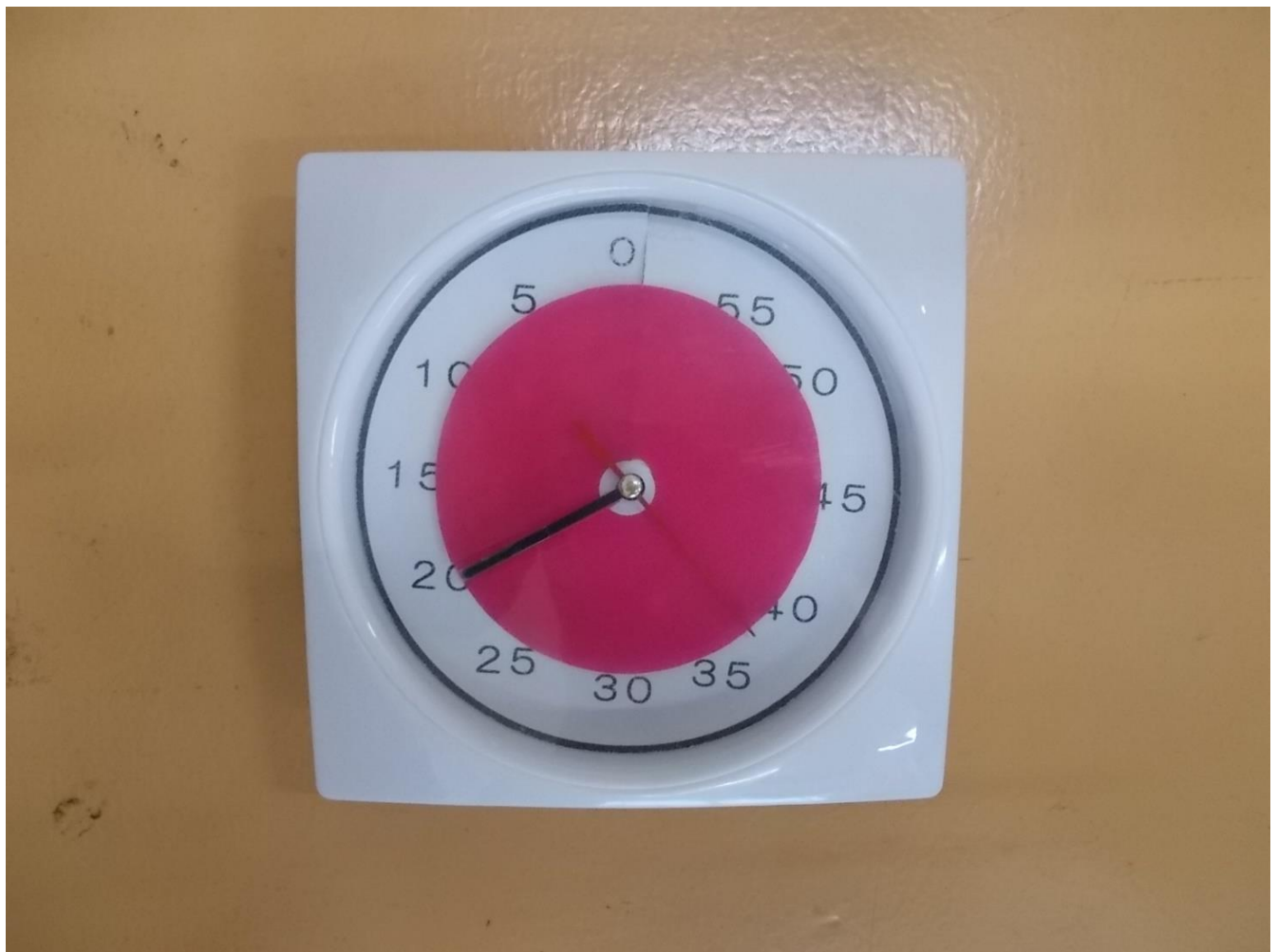
- ・移動や収納がしやすいように、同じサイズで作った。
- ・上側を半透明にして光を少し入れて、閉塞感を減らすことを狙った。

<効果>

- ・視覚的に過敏な生徒が、周囲に気を取られず課題に向かう姿勢が作れている。

教材教具名	手作りタイムタイマー	分類	その他
		授業名	授業全般
ねらい	・時間を視覚的に提示する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・活動の切り替えの時間を設定し、分針を合わせる。

<材料>

- ・クリアファイル、時計、円カッター（あると便利）

<工夫点>

- ・安価で手に入る100円均一の時計とクリアファイルを使用して作成したところ。

<効果>

- ・視覚的に時間を提示したことで、活動への見通しが持て、気持ちの切り替えがしやすくなった。

教材教員名	あと何分？	分類	その他
		授業名	日常生活
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に動いている時計を見ながら、残りの時間を考えることで時間感覚と時計の関係を体感させる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・マーカーで線を引き、長針がそこに到着するまで何分かを考えさせる。

<材料>

- ・時計、ホワイトボードマーカー

<工夫点>

- ・ホワイトボードマーカーを使うことで、何度でも書いたり消したりできる。

<効果>

- ・「〇〇分になったね」と確認しあうことで、時間の感覚がおおよそであるが身についてきた。

教材教具名	自分の声を聴こう	分類	その他
		授業名	
ねらい	・自分の声を耳元で聴くことで、自分の声や発音に注目する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・耳と口に当ててしゃべる

<材料>

- ・塩ビパイプ、ビニールテープ

<工夫点>

- ・大きめにすることで耳に当てやすくした。

<効果>

- ・聞きなれない自分の声を聴く驚きで、どんなふうに話そうかという意識をはぐくむことができる。